さくいん

DVD関連情報は当社ホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/dvd/index.html)

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

愛情点検 長年ご使用のDVD ビデオレコーダーの点検を！

こんな症状はありませんか
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	販売店名	
品番	DMR-E90H		☎（　　）　－

松下電器産業株式会社　AVCネットワーク事業グループ

〒571－8505　大阪府門真市松生町1番4号

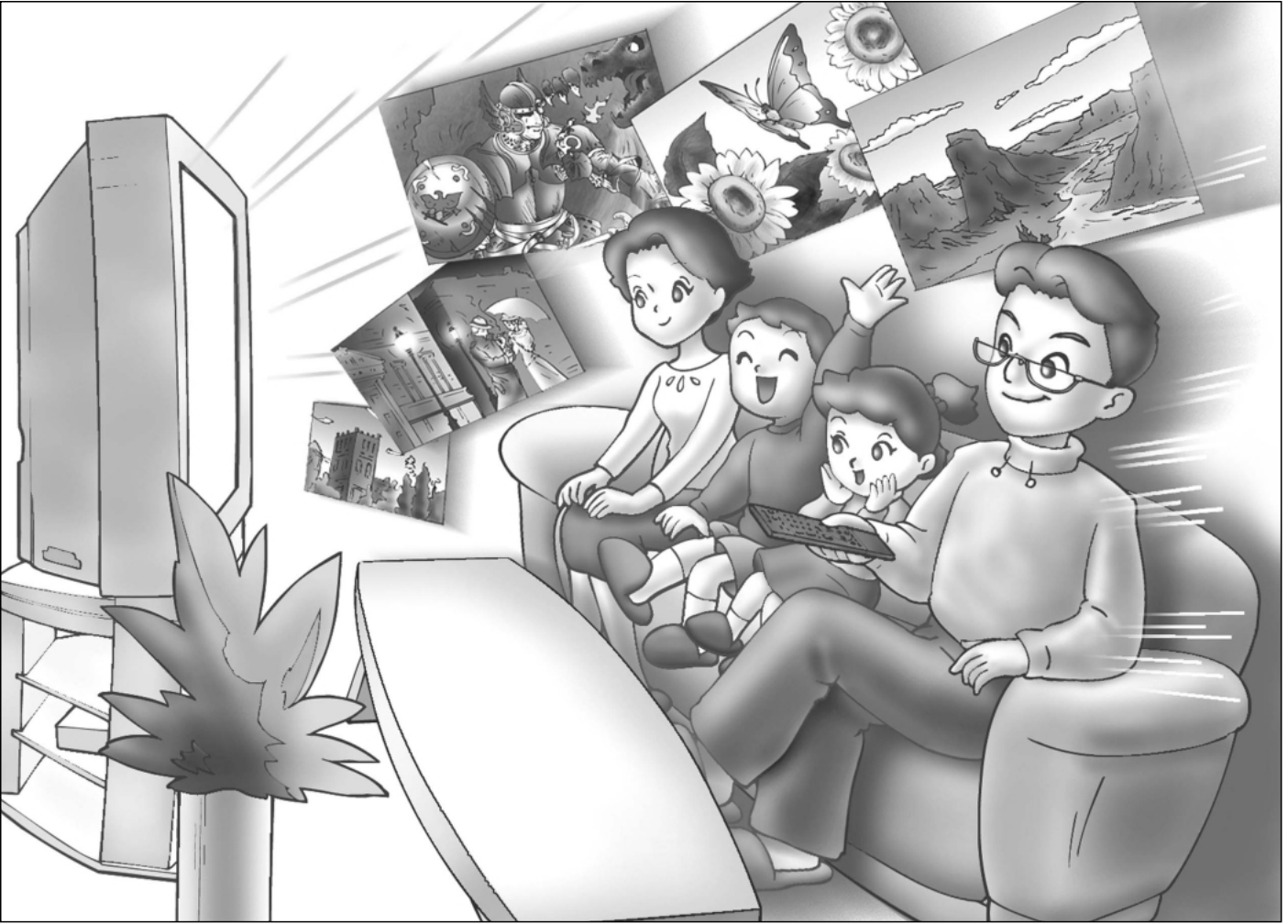
RQT7023-S

F0103MH0

Panasonic　DVD ビデオレコーダー　DMR-E90H　取扱説明書

Panasonic®

DVD ビデオレコーダー
取扱説明書

品番 DMR-E90H

このたびは、DVD ビデオレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

Gコード®

バージョンアップなどのサポートを受ける場合に必要ですので必ずユーザー登録をお願いいたします。インターネットまたは郵送での登録が可能です。詳しくは、同梱の「ユーザー登録カード」をご覧ください。

DVDビデオのリージョン番号について

発売地域ごとに、DVDビデオのソフトと再生可能機器に割り当てられた番号をリージョン番号と呼びます。（本機のリージョン番号は「2」です。）
本機は、「2」、「ALL」、「2」を含むもの

例）

が表示されたDVDビデオを再生できます。

上手に使って上手に節電

保証書別添付

RQT7023-S

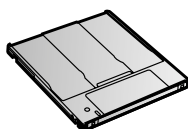
もくじ

特長

録画 HDDやディスクに録画し、

HDD

最大160時間
- 連続録画は6時間までです。
- 6時間をこえる場合、6時間ごとに分割されます。

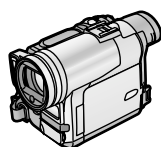
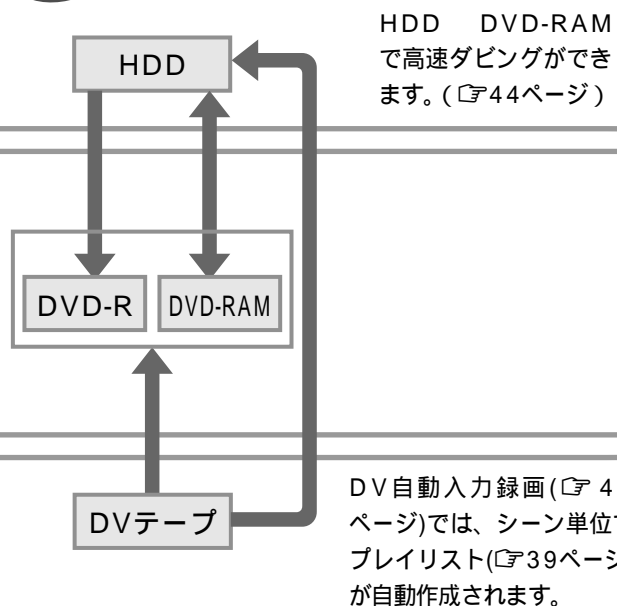
DVD-RAM DVD-R

最大6時間（EPモード使用時）
- 連続録画は6時間までです。
- 9.4GBのDVD-RAM（両面）※には最大12時間の録画ができます。

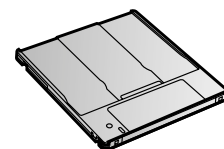
※両面へ連続した録画や再生はできません。

DVカメラ（別売）をつなぐ
（☞21、47ページ）
- パソコンとの接続はできません。

複製 番組やプレイリストをダビングできます。

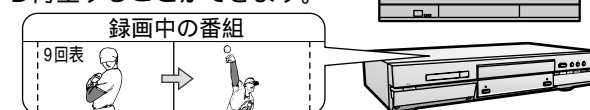
HDD↔DVD-RAMで**高速ダビング**ができます。（☞44ページ）

HDD / DVD-R / DVD-RAM / DVテープ

DV自動入力録画（☞47ページ）では、シーン単位で**プレイリスト**（☞39ページ）**が自動作成**されます。

保存 残したい番組だけディスクに保存できます。

DVD-RAM DVD-R

- **最大6時間分（9.4GBの両面RAMディスクには最大12時間分）の保存ができます。**
- **DVD-Rのファイナライズ時に、メニュー背景を9種類から選べます。**（☞54ページ）

便利 HDDやDVD-RAMでは、録画しながら再生できます。

追っかけ再生（☞33ページ）

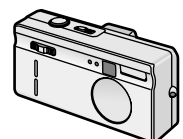
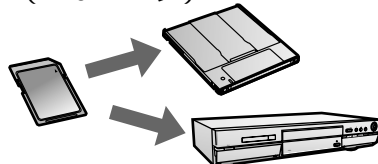
録画しながら、その録画番組を頭から再生することができます。

同時録画再生（☞33ページ）

録画しながら、録画済みの別番組を再生することができます。

タイムワープ（☞33、37ページ）

- 録画しながら、指定した時間だけ録画済の部分へ戻り、再生することができます。
- 再生中は、指定した時間だけ映像を飛ばして見ることができます。

静止画の表示や保存ができます

- デジタルカメラなどで撮影した静止画（☞13ページ）を、一覧で表示したり、次々と表示したりできます。（☞41ページ）

- 静止画をPCカードからDVD-RAMに複製できます。（HDDにも複製できます。）（☞62ページ）

- プリント枚数の設定もできます。（☞64ページ「プリント（DPOF）設定」）

ぴったり録画（☞32ページ）

録画時間を設定すると、ディスク残量に合わせて最適な画質で録画できます。

選べる録画画質（録画モード）

（☞31ページ）
画質モードには、画質を選べるXP、SP、LP、EPに加え、ディスク残量に合わせて効率良く録画できるFR(フレキシブル・レコーディング)モードも搭載。

リリーフ（代替）録画

（☞49、51ページ）
DVD-RAMやDVD-Rで番組の予約をした場合、ディスクの空き時間と録画にかかる時間とを比べ、録画が可能か自動で判断します。空き時間が少ない場合は、その予約番組をHDDに代替録画します。（HDDからDVD-RAMやDVD-Rへのリリーフ録画はできません）

オートリニューアル（自動更新）録画

（☞51ページ）
ある１つの番組を毎日や毎週などの繰り返し予約をする場合、古い番組に新しい番組を上書きして録画することができます。

DVDビデオを作る

- DVD-Rに録画し、ファイナライズを行うと、DVDビデオ規格に準拠したオリジナルのDVDビデオを作ることができます。（☞54ページ）
- DVDビデオに加えて、音楽CD、ビデオCDなど複数のディスクにも対応、ハイエンドのホームシアターから、音楽CDの再生までホームエンターテイメントの中心となって活躍します。

高画質・高音質記録

- 音声の記録には、ドルビーデジタル（2ch）方式を採用し、高音質の音声を記録することができます。
- 音声の記録にリニアPCMを使うこともできます。（録画モードがXPの場合のみ）
- 録画には高画質録画を可能にする、“ハイブリッドVBR”方式のエンコーダ・システムを採用。

高精細映像を再現するプログレッシブ再生※

1画面中の525本の走査線全てを順次走査することにより、従来のテレビ・ビデオ映像のインターレース方式（飛び越し走査方式）に比べて垂直解像度が高く、また、被写体が動いたときの画質劣化（輪郭部のギザギザ感）のない、高密度でチラツキのない高画質を実現します。
※プログレッシブ対応テレビとの接続が必要です。

見たい番組を素早く探す

録画した番組のリストから見たい番組を探すことができます。（「プログラムナビ再生」☞39ページ）

映像の編集が自在に

録画した番組を分割したり、録画した番組から好みのシーンを作成して再生したりできます。
- 「プログラム分割」（☞56ページ）
- 「プレイリストを作る」（☞59ページ）
- 「プレイリスト再生」（☞39ページ）
- 「プレイリストを編集する」（☞60ページ）

使える機能が一目でわかる機能選択画面

ディスクごとに録画や編集などの使える機能をまとめた機能選択画面で、使いたい機能を絵表示で探し、操作できます。（☞69ページ）

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときは、プラグを持ちまっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線、機器や電源プラグに触れない

接触禁止

- 感電の恐れがあります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造をしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

不安定な場所に設置しない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**

- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

- 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因となることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。
- 後面の内部冷却ファンをふさがないでください。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。
- たばこのけむりなども機器の故障の原因になることがあります。

ご使用について

長期間使わないときやお手入れのときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災の恐れがあります。
- ディスク保護のため、ディスクも取り出しておいてください。

ディスクトレイに指を入れ、挟まれないように注意する

指に注意

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

乾電池について

電池は正しく取り扱う

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

電池は誤った使い方をしない

- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **被覆のはがれた電池は使用しない**
- **乾電池の代用として充電式電池は使用しない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

ハードディスクについて

本機には、録画・再生用のハードディスク（以下「HDD」）**が内蔵されています。**
HDD自身や、HDDの内容が損なわれたり、動作が中断したり、ノイズが記録されたりする場合がありますので、設置時や使用時は以下のことにお気をつけください。

- 振動や衝撃を与えない
- 本機後面の冷却用ファンや側面の通風口をふさぐような狭いところに置かない
- 温度差の激しいところに置かない
  →温度差の激しいところに設置すると、「つゆつき」（☞右記）が起こる場合があります。本機内部に「つゆつき」が起こったまま使うと、HDDに傷が付き、故障の原因になります。室温の温度変化は、毎時20℃以下（1時間あたりの温度変化が20℃以内）に保つことをおすすめします。
- 湿度の高いところに置かない
- 水平以外にして置かない
- 電源が「入」のときは、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を設置してある場所のブレーカーを落としたり、本機を動かしたりしない
  →動かすときは、電源が「切」の状態（**[電源]**（**DVD**）を押し、表示窓から“ Bye ”が消えるのを確認する）で電源プラグをコンセントから抜き、2分以上たってから行ってください。

■HDDでは効率よく録画を行うために可変ビットレート方式で録画を行いますが、以下のようなことがおこる場合があります。

可変ビットレート方式では、HDDの残量の表示に比べて、録画できる残量が増減することがあります。

- HDDの残量表示が少ないときはあらかじめ不要な番組を消去し、残量に余裕のある状態で録画してください。
- 番組を消去しても、消去した時間分の残量が増えないことがあります。新たに録画するときには、残量に余裕のある状態で録画してください。

その他、本機ではHDDの容量の一部を、システム管理領域として使用しています。

■「つゆつき」とは

夏に、冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくとビンの表面に水滴ができます。
このような現象を「つゆつき」といいます。

■「つゆつき」が起こりやすい条件

以下のような場合は「つゆつき」をさけることができません。部屋の温度になじむまで（約2時間程度）、電源を「入」のままにしてください。

- 梅雨の時期
- 湯気が立ちこめるなど、部屋の湿度が高いとき
- 急激な温度変化が起こったとき
  →本機を寒いところから暖かいところ、または暖かいところから寒いところへ急に移動させたとき
  →冬場での急激な暖房時や、夏場の急激な冷房時
  →冷房の風が本機に直接あたっているとき
  （冷風が直接当たらないようにしてください）
  など

■停電などが起こったときは

録画・再生中の内容や、HDDの内容が損なわれる場合があります。

■大切な録画のために

HDDが故障すると、HDDに記録された内容が失われることがあります。保存しておきたい内容はDVD-RAMやDVD-Rに複製や移動をしておくことをおすすめします。

HDDの故障による録画・録音内容の損失など万一何らかの不具合により、録画・編集されなかった場合の内容の補償、録画・編集されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。（下記の様な操作を行うと不具合を生じる可能性があります。）

- 本機で録画・録音・編集したディスクを他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで動作させる
- 上記の動作を行ったディスクを再び本機で動作させる
- **他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで記録したディスクを本機で動作させる**

本書の読みかた

本書で用いている記号について

■ 使えるディスク
ディスクの種類（DVD-RAMや音楽CDなど）によって、使える機能が異なります。

ビデオCD以外のディスクで使える機能の表示例

HDD　RAM　DVD-R　DVD-V　CD　VCD

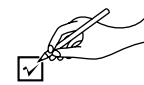
ハードディスク　DVD-RAM　DVD-R　DVDビデオ　音楽CD　ビデオCD

- ファイナライズ（☞54ページ）前のDVD-Rは DVD-R と表記し、ファイナライズ後には「DVDビデオ」となります。（DVD-V の表記をご参照ください。）
- PCカード（☞13ページ）で使える機能は、CARD と記載しています。

本書の説明について

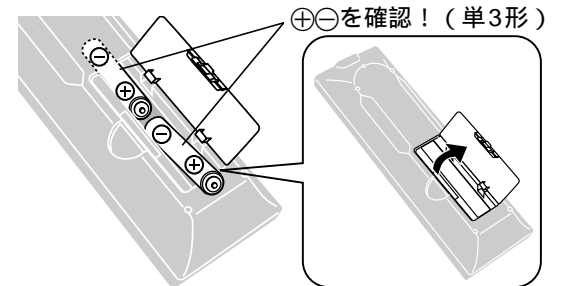
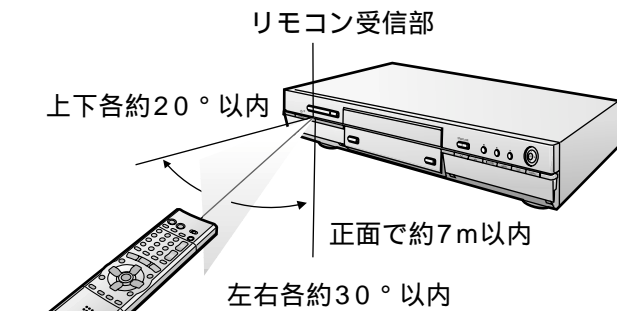
- **リモコン操作を中心に説明しています。**
- 本書で記載した接続（☞14～22ページ）や設定を行ったことを前提に説明を記載しています。
- 画面は一例です。ディスクの種類や操作状態によって異なることがあります。

■ 故障かな !? で困ったとき
「故障かな !?」（☞80～82ページ）の内容に関係する項目を絵表示で表しています。

付属品のご確認

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。買い替え時には【　】の品番をお知らせください。

- □ **リモコン（1個）**
  【EUR7615KC0】
- □ **リモコン用乾電池（単3形：2本）**
- □ **音声／映像コード（1本）**
  【VJA0788】
- □ **75Ω同軸ケーブル（1本）**
  【VJA1091】
- □ **電源コード（1本）**
  【VJA0536】
- □ **クリーニングクロス（1枚）**
  （本機前面ミラー部お手入れ用）
  【RFE0088-1】

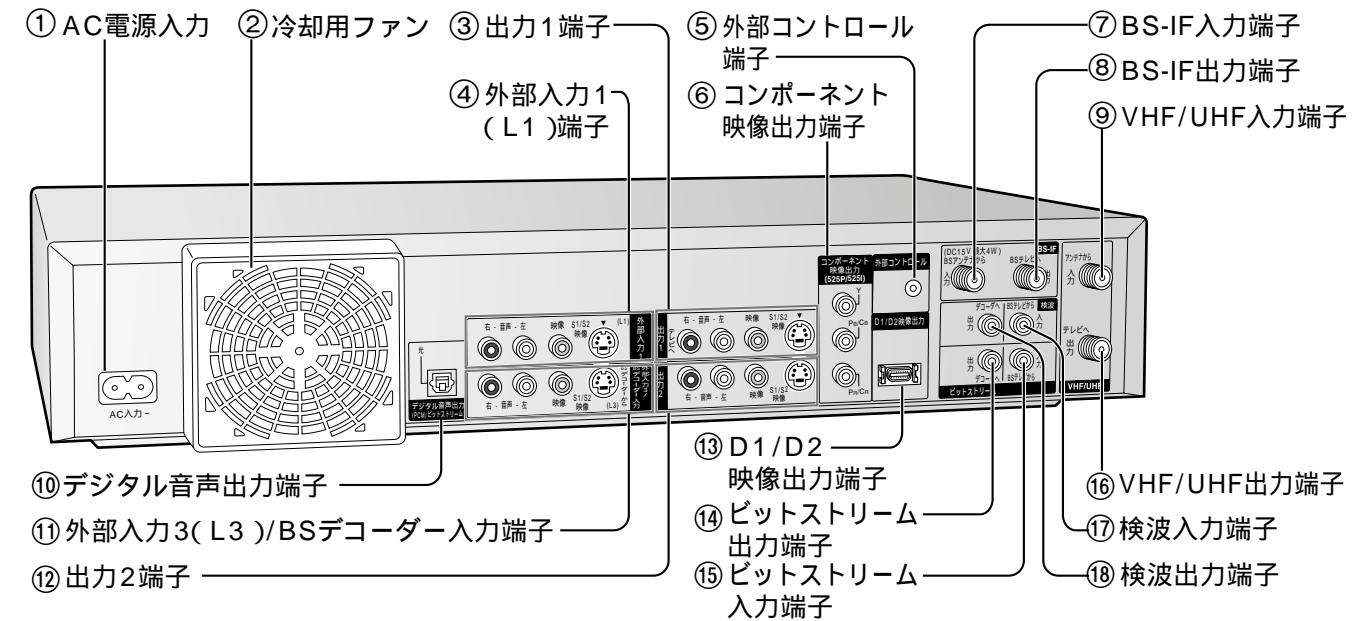
お願い
付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。

リモコンを準備する

リモコンの使用範囲

お願い

- 受信部とリモコンの間に障害物を置かない。
- 受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。

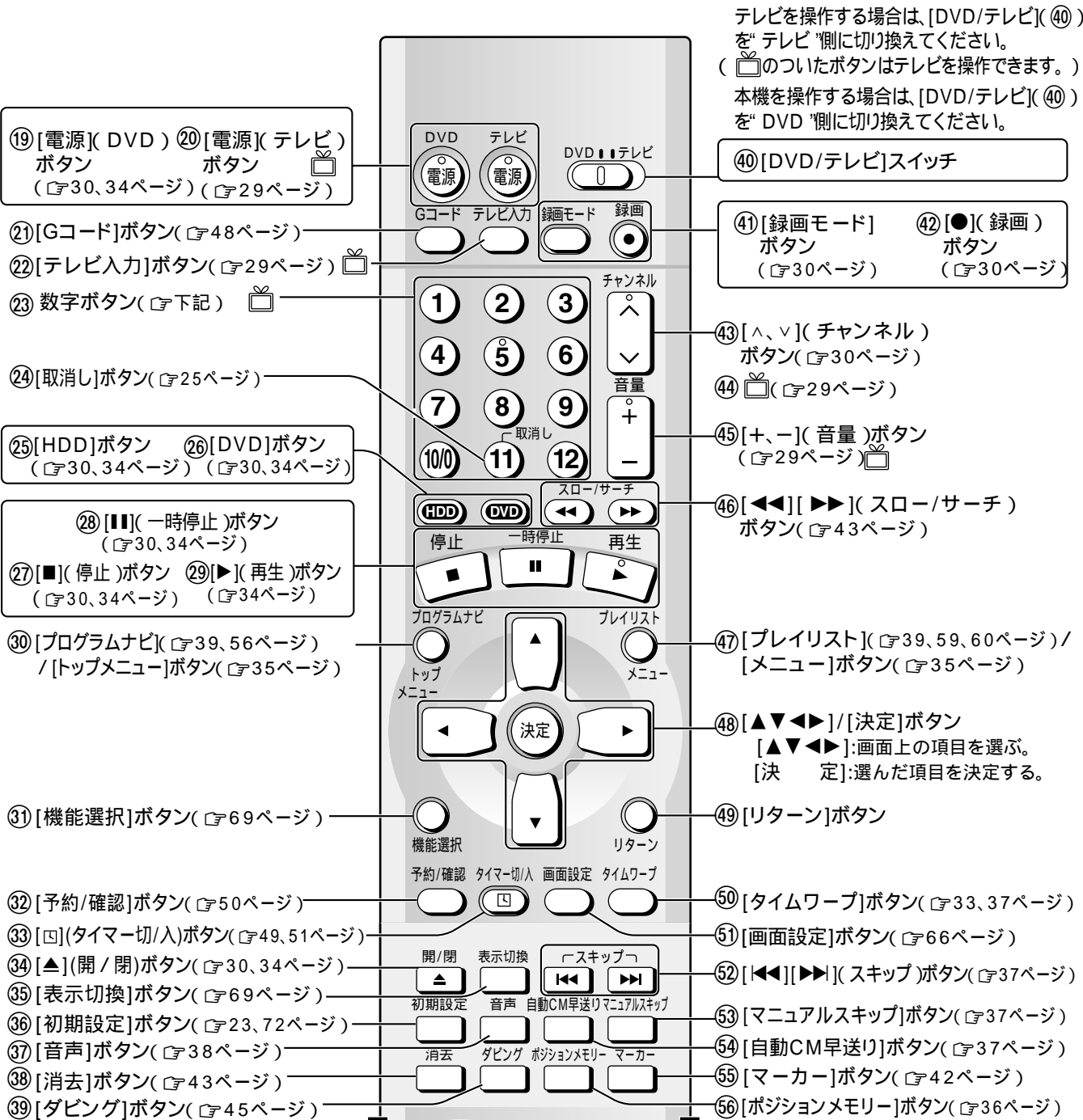
お知らせ
本体をラックなどに入れて使用するときは、ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの使用範囲が短くなることがあります。

各部のなまえ

本体（後面）

外部コントロール端子（⑤）は今後の新たなサービス導入時に使用する端子です。

各部のなまえ（つづき）

リモコン

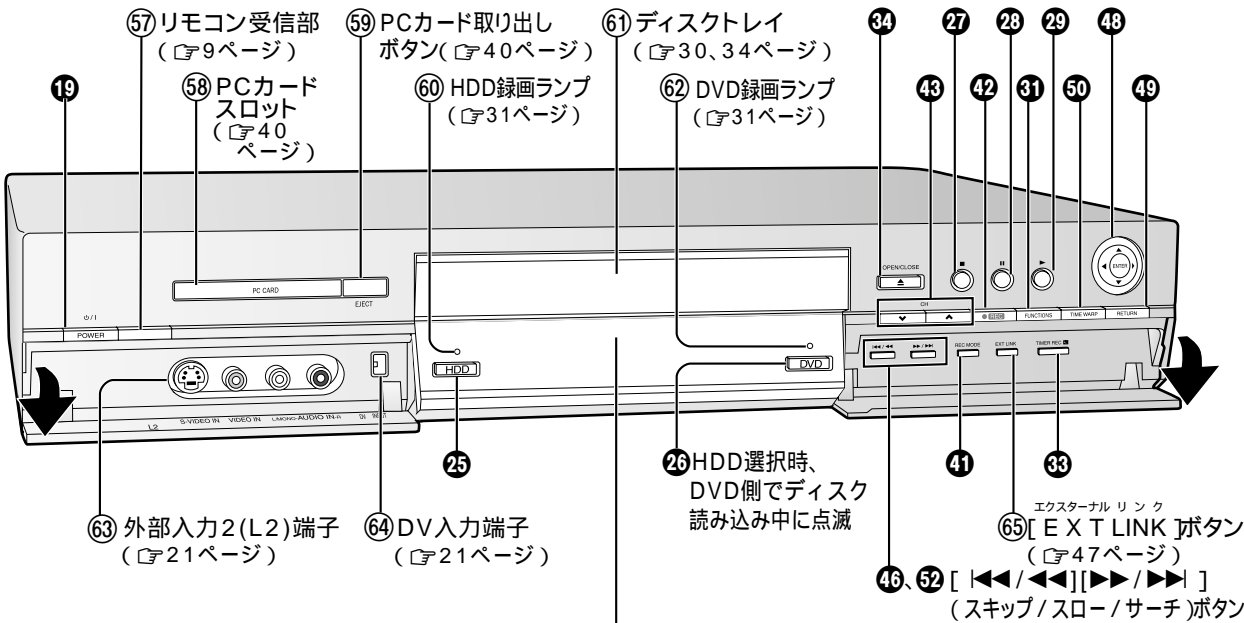
- テレビを操作する場合は、[DVD/テレビ]（㊵）を"テレビ"側に切り換えてください。
（📺のついたボタンはテレビを操作できます。）
- 本機を操作する場合は、[DVD/テレビ]（㊵）を"DVD"側に切り換えてください。

■ 数字ボタン（㉓）の入力方法

- チャンネル
「10」：[10/0]
「2」：[2]
- ディスク
「15」：[1] → [5]
「5」：[0] → [5]
- ハードディスクで項目を選ぶとき。 HDD
プレイリストのシーン一覧画面でページを選ぶとき。 RAM
静止画一覧画面で静止画を選ぶとき。 CARD HDD RAM
「15」：[0] → [1] → [5]　　「5」：[0] → [0] → [5]

お知らせ

プログラムナビやプレイリストで、画面で表示されていない番号を入力すると、最も近い番号の番組が選ばれます。（例えば、番組が50まであるプログラムナビのリスト画面で「80」を入力すると、番組50が表示されます。）

本体（前面）

⑲などのボタンはリモコンの⑲などと同じように働きます。

■ 表示窓

サークル表示

- **回転**：録画中
停止：録画が一時停止
- **回転**
追っかけ再生
または
同時録画再生中
- **回転**：再生中
停止：再生が一時停止
"PLAY"が点滅：
続き再生機能が働いているとき

お知らせ

本体にはハーフミラーを採用しているため、条件によっては表示窓が見にくい場合があります。

ディスクについて

録画・再生できるディスク

DVD RAM RAM4.7	DVD R R4.7
DVD-RAM [4.7GB／9.4GB (12 cm)] [2.8GB（8 cm)]	DVD-R [4.7GB for General Ver. 2.0]

- DVD-RAMやDVD-Rでも以下のものには対応していません。
  - 2.6GB/5.2GB DVD-RAM(12cm)
  - 3.95GB/4.7GB DVD-R for Authoring
  - ビデオレコーディング規格に準拠して記録されていないDVD-RAM。
  - 本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていないDVD-R。
- 本機はCPRM（☞85ページ）に対応しているため、一世代だけ録画が許された映像（一部のBSデジタル放送など）を4.7GB/9.4GB DVD-RAM(12cm)に録画できます。(DVD-Rや2.8GB DVD-RAM(8cm)には録画できません。)
- 本機との相性が確認されている当社製のディスク（☞75ページ）を使うことをおすすめします。
  それ以外は、十分に性能が発揮できない場合があります。
- ディスクに傷、汚れを付けないでください。(傷や指紋などにより、記録できなくなることがあります。)

DVD-RAMについて

- **本機で録画したDVD-RAMは、互換性のないDVDプレーヤー(当社製も含む)では再生できません。**
- 本機はカートリッジ付きとカートリッジなしのどちらにも対応しています。大切な録画時にはカートリッジ付きを使い、誤消去防止のため録画後にプロテクトを設定（☞76ページ）することをおすすめします。
- 録画される映像の横縦比は番組に合わせて「16：9」または「4：3」になります。

DVD-Rについて

- **ファイナライズ（☞54、84ページ）を行うと「DVDビデオ」として再生できます。本機で録画したDVD-Rを他の再生機器で再生するためにはファイナライズが必要です。**
- ファイナライズを行う前には、録画やタイトル入力ができます。
- すでに録画や編集をした部分には上書きできません。
- 録画停止時は管理情報を書き込むため、終了処理に約30秒かかります。
- ディスクの挿入や電源の入／切を伴う録画（精度の高い録画のための「調整」を行います）を繰り返すと、録画できなくなることがあります。
- 記録状態によって再生できない場合があります。
- 録画される映像の横縦比は録画する番組に関わりなく「4：3」になります。

DVD関連情報は当社ホームページをご覧ください。
(http://panasonic.jp/dvd/index.html)

再生のみできるディスク

DVD VIDEO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	COMPACT disc DIGITAL VIDEO
DVDビデオ	CD	ビデオCD

- DVDビデオ、ビデオCDの中には、ソフト制作者の意図により､本書の記載どおりに動作しないことがあります。詳しくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。
- CD-DAまたは、ビデオCDのフォーマットで記録され、録音終了時にファイナライズされた音楽用CD-RとCD-RWも再生できます。ただし、記録状態によって再生できない場合があります。
- CD-RやCD-RWには録画・録音できません。

DVDビデオのロゴについて

収録されている画面サイズ（横縦比）
（表示される画面サイズは、テレビの設定によっても変わります。）

ロゴ	内容
4:3	4：3の標準サイズ
LB	4：3の標準サイズ [上下に黒帯が入っている画面（レターボックス)]
16:9 LB	16：9のワイドサイズ 画面サイズが4：3のテレビではレターボックスで再生
16:9 PS	16：9のワイドサイズ 画面サイズが4：3のテレビではパン＆スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生

音声の種類

ロゴ	内容
DOLBY DIGITAL	ドルビーデジタル（☞85ページ） 本機では、このディスクを2チャンネルの音声で楽しめます。さらに、ドルビーデジタルデコーダー内蔵のアンプ（別売）に接続すると、マルチチャンネルの音声を楽しめます。
	DTS デジタルサラウンド（☞85ページ） DTSデコーダーを搭載した機器（別売）と接続するとDTSの音声を楽しめます。

対応していないディスク

- 一部のDVD-RAMやDVD-R
  （☞左記「録画・再生できるディスク」）
- PAL方式で記録されたディスク
- リージョン番号**「2」「ALL」以外の** DVDビデオ
- DVD-ROM ● DVD-RW ● DVD-Audio
- +RW ● CD-ROM ● CDV
- CD-G ● Photo-CD ● CVD
- SVCD ● SACD ● MV-Disc
- PD

など

PCカードについて

表示・保存できるPCカード

- SDメモリーカード※1
- マルチメディアカード※1
- コンパクトフラッシュ※1
- スマートメディア※1
- メモリースティック※1
- ATA Flashメモリーカード

※1 PCカードスタンダードに準拠したPCカードアダプター（別売または市販）が必要です。(☞75ページ「別売品のご紹介」)

- **対応フォーマット：**FAT12またはFAT16
- 本機は、TYPEⅡのPCカードに対応しています。TYPEⅡ以外のPCカードは、そう入しないでください。
- カード型のハードディスク（Micro Driveなど）には対応していません。
- PCカードは、使用前に本機でPCカードフォーマットすることをおすすめします。(☞64ページ「PCカードフォーマット」)
  ただし、本機でフォーマットすると、本機以外の機器で使用できない場合があります。
- 本機はデジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF☞85ページ）に準拠しています。(PCカードのみ)
- 指定されたメモリーカード以外は使用しないでください。
- PCカードによっては一部使用できない場合があります。(詳しくは当社ホームページをご覧ください。☞12ページ)

■ プロテクトについて

書き込み禁止スイッチのついたカードでは、スイッチを「LOCK」側にすると、書き込みや消去、フォーマットができなくなり、データを保護できます。

■ 表示窓のCARDについて

PCカードのそう入や取り出しは、本機の電源を切った状態で行ってください。
点滅中は、カードの読み込み、書き込みを行っています。電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。本体が正常に動作しない場合や、カードの内容が破壊されたりすることがあります。

静止画について

- デジタルカメラなどで記録したDCF※2準拠の静止画（JPEG）ファイルを表示できます。
- **画素数：**320×240～6144×4096
  （サブサンプリングは、4：2：2または4：2：0）
- **フォルダ数：**最大300（上位フォルダも含む）
  ファイル数：最大3000
  最大数より大きなフォルダやファイルは表示・複製・消去できません。
- 動画や音声、DCF規格に準拠していない静止画（MOTION JPEGなど）、JPEG形式以外の静止画（TIFF形式など）は表示できません。
- ファイル数やフォルダ数が多い場合、表示や複製、消去に時間がかかることがあります。
- 本機以外の機器でフォルダのタイトルを入力した場合は正しく表示されないことがあります。
- HDDに静止画を保存される場合は、PCカードまたはDVD-RAMに複製しておくことをおすすめします。(☞62ページ「複製」)

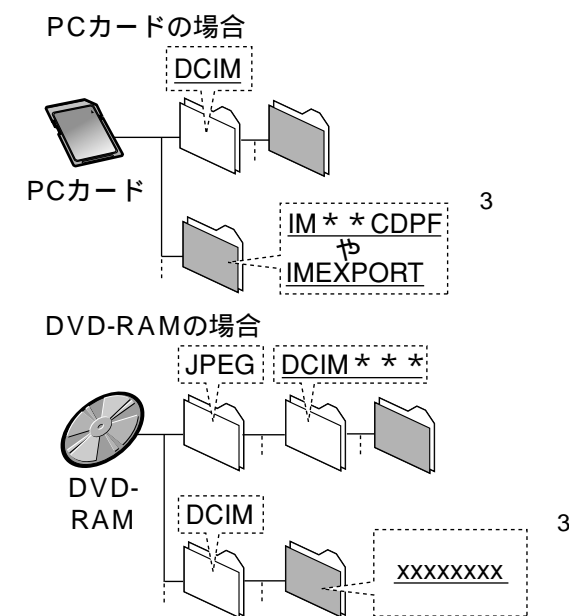
※2 Design rule for Camera File system：電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格

表示・保存できるフォルダ構造について

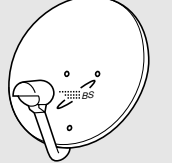
下記のように記録されたフォルダ（ ）内の静止画（ファイル名：xxxxxxxx.JPG）を表示・保存できます。
対応したフォルダよりも下位にあるフォルダ（そのフォルダ内の静止画も含む）は表示・保存できません。

：対応したフォルダ　＊＊：数字（☞下記）
：上位フォルダ　ｘｘ：半角文字

- **PCカードの場合**

- **DVD-RAMの場合**

お知らせ

- 下線部はフォルダ選択の切り換えができます。(☞62ページ)
- 他の機器で作成されたフォルダ（※3）には複製できません。(☞62ページ)
- DCIM000など、数字（＊）がすべて0の場合は表示できません。

テレビなどと接続する

くわしくは各ページをご参照ください。「 」内は機器に合わせて変更が必要な初期設定の項目です。

本機の映像を楽しむ

本機の映像を映すテレビを接続します。

	こんなテレビに接続します	ページ	接続の他に必要なこと	ページ
基本	**映像入力端子**の付いたテレビ	16 A	**「本機を設定する」を行ってください。**	24～28
さらによい映像を楽しむには	**S映像入力端子**の付いたテレビ	17 B	S映像入力端子が複数ある場合、**「ワイドモード」を機器に合わせて設定してください。**	70「設置」
	コンポーネントビデオ入力端子の付いたテレビ	17 C	プログレッシブ映像に対応したテレビに接続した場合は ● **「TVタイプ」を「プログレッシブ（525P）対応」に設定してください。** ●「プログレッシブ映像を楽しむ」をご覧ください。	28 29
	D映像入力端子の付いたテレビ	17 D		

衛星放送などを楽しむ

WOWOW、BSデジタル放送、CSデジタル放送やCATV放送（ケーブルテレビ）を楽しむことができます。

	こんな機器を接続します	ページ	接続の他に必要なこと	ページ
基本	**BSアンテナ**	18 E	**アンテナのタイプに合わせて「BSアンテナを設定する」を行ってください。**	22
さらに放送を楽しむには	**BSデコーダー**	18 F	**「外部入力3の端子設定」を「BSデコーダー」に設定してください。** 必要な設定を接続した機器で行ってください。	71「接続」
	BSデジタルチューナーや**BSデジタルチューナー内蔵テレビ**	19 G	外部入力端子3（L3）に機器を接続した場合は**「外部入力3の端子設定」を「ライン」に設定してください。** 必要な設定を接続した機器で行ってください。	71「接続」
	110度CSデジタル放送対応チューナー	19 G		
	CSデジタルチューナー	20 H		
	ホームターミナル	20 J		

迫力ある音声を楽しむ

ドルビーデジタルやDTSのデコーダーを搭載したアンプなどに接続すると迫力あるサラウンド音声を楽しむことができます。

	こんな機器を接続します	ページ	接続の他に必要なこと	ページ
デジタル	**アンプ（ドルビーデジタルやDTSのデコーダー搭載）**	21 K	**「PCMダウンサンプリング変換」、「Dolby Digital」と「DTS」を接続する機器に合わせて設定してください。** スピーカーの設定を接続した機器で行ってください。	71「音声」
アナログ	**アナログアンプ**や**ミニコンポ**	21 L	**「PCMダウンサンプリング変換」を「切」に設定してください。**	71「音声」
デジタル	**デジタルアンプ**や**ミニコンポ**	21 K	● **「PCMダウンサンプリング変換」を接続する機器に合わせて設定してください。** ● **「Dolby Digital」を「PCM」にしてください。** ● **「DTS」を「切」にしてください。**	71「音声」

ビデオなどを楽しむ

● ビデオの映像を本機に取り込んで、編集したり、保存用にディスクに録画したりできます。
● DV出力のあるビデオカメラは、前面のDV入力端子に接続することをおすすめします。

	こんな機器を接続します	ページ	接続の他に必要なこと	ページ
後面に	ビデオデッキなど	21 M	外部入力端子3（L3）に機器を接続した場合は**「外部入力3の端子設定」を「ライン」に設定してください。**	71「接続」
前面に	ビデオカメラなど	21 N	DV入力端子にDV機器を接続した場合は**「DV入力時の音声の設定」を音声に合わせて選んでください。**	71「音声」

すべての機器を接続後に電源コードを接続してください。☞22ページ「電源コードを接続する」 P

お願い

● 別売品の品番については75ページをご参照ください。
● 接続の前に、接続する機器と本機の電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
● 接続する機器の説明書もご参照ください。
● BS/CSアンテナの設置については、販売店にご相談ください。
● 110度CSデジタル放送を楽しむ場合、接続する機器や方法などについては、販売店にご相談ください。
● 有料番組などを視聴するときは、必ず接続した機器側で必要な設定を行ってください。（録画できない番組や、録画するために追加料金の必要な番組などもあります）

お知らせ

● 機器との接続は一例です。
● BSやCS、CATVの放送を見るには、放送会社との、（複数のBS放送を見るには放送局ごとに）受信契約が必要な場合があります。
● DVDに対応していないDTSデコーダーは使用できません。
● G、H では、接続した機器と連動して本機で予約録画する設定ができます。☞47ページ「EXT LINK録画」

MDなどに録音するには

■デジタル録音 K

光デジタルケーブルで録音機器と接続すると、デジタル信号でMDなどに録音できます。ただし、DVDの音声を録音する場合、制約があります。（☞右記）

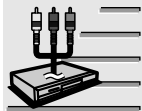
■アナログ録音 L

音声コードで録音機器と接続すると、アナログ信号に変換された音声をカセットテープやMDに録音できます。なお、デジタル録音のような制約はありません。

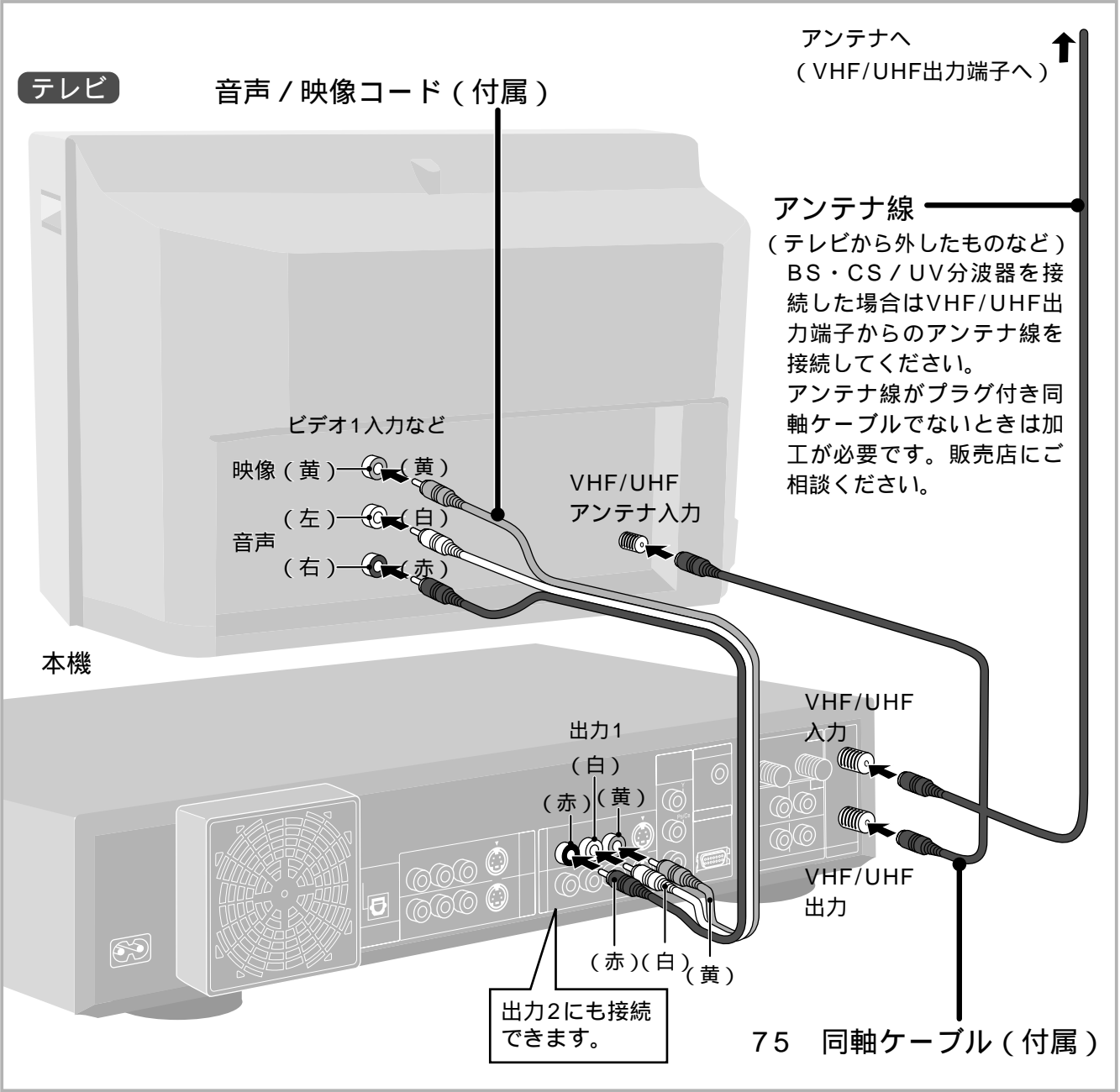
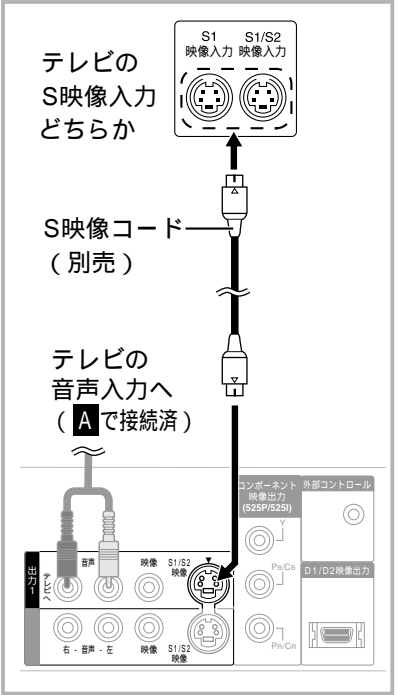
DVDの音声をデジタル録音するには

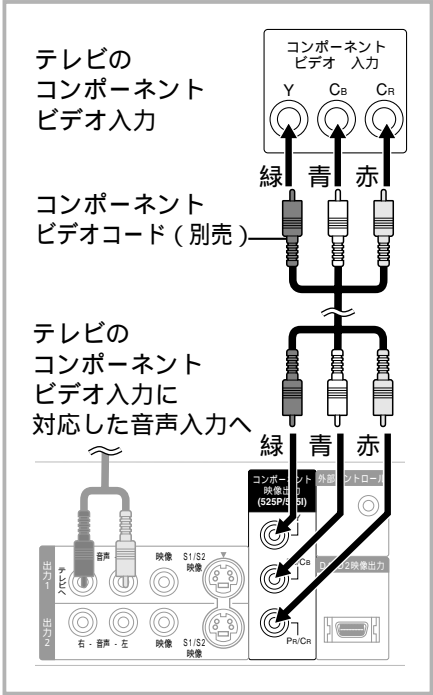
「デジタル出力」を以下のように設定してください。（☞71ページ「音声」）

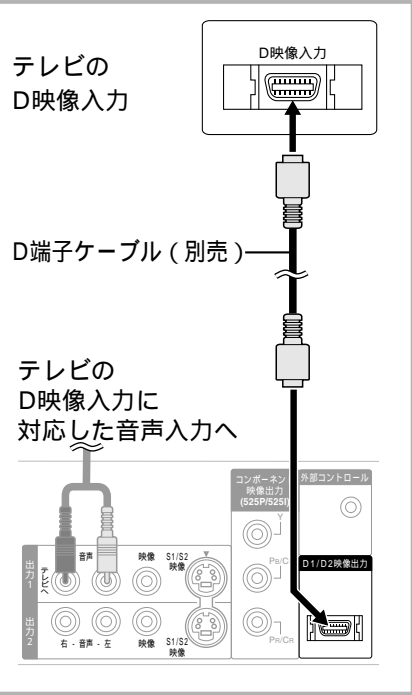
● “PCMダウンサンプリング変換” ：“入”
● “Dolby Digital” ：“PCM”
● “DTS” ：“切”

ただし、
● ディスクがデジタル録音を禁止していない
● 録音側の機器がサンプリング周波数48 kHzに対応していることが必要です。
● DTS信号は録音できません。

テレビと接続する

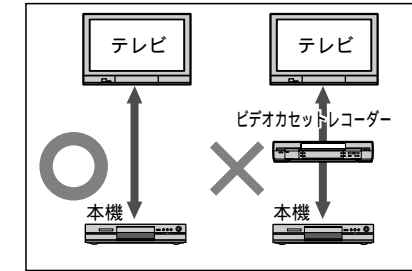
A 映像端子に接続する

よい映像で楽しみたい場合は、続けて B ～ D を行ってください。

B S端子と接続する

テレビにS映像入力端子が複数ある場合は、「ワイドモード」（☞70ページ「設置」）を端子に合わせて変更してください。（テレビ側で切り換えが必要な場合もあります。）

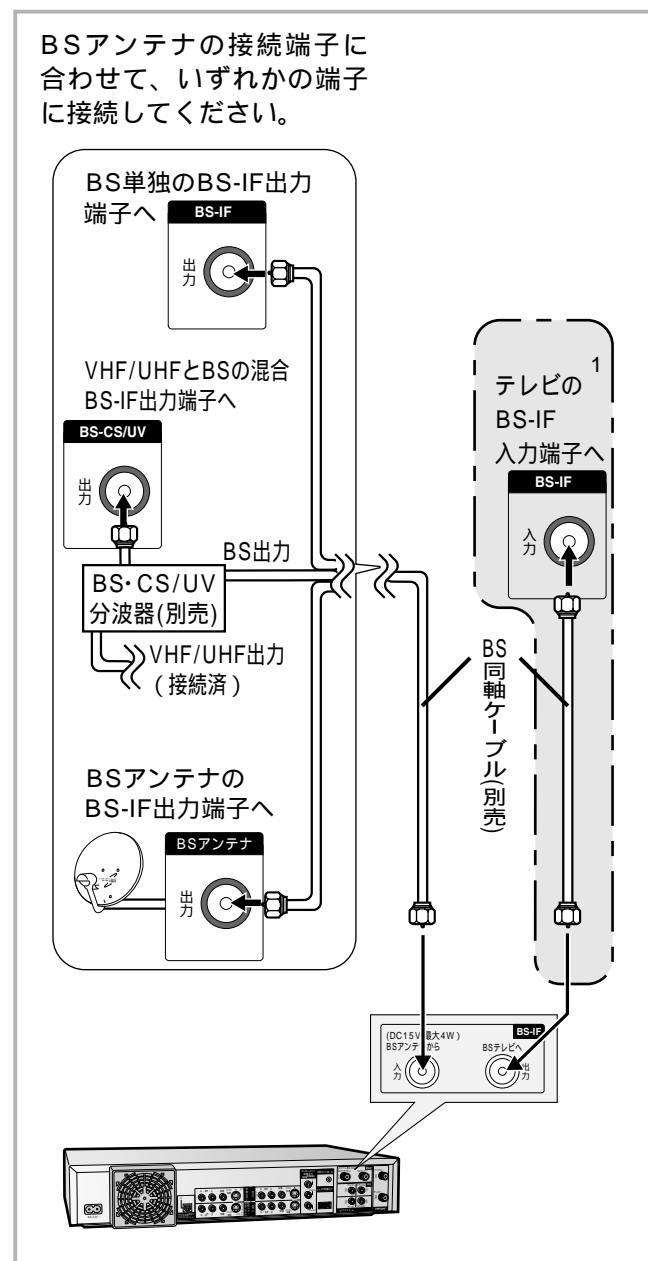
C コンポーネント端子と接続する

●同じ色の端子どうしを接続してください。
●ハイビジョンテレビに接続する場合は、DVDに対応した端子に接続してください。ハイビジョン方式（MUSE）の端子に接続すると、画面が乱れたり映らないことがあります。

D D端子と接続する

●D2やD5などと表示されていても接続できます。同じ形の端子どうしを接続してください。
●D1と表示されている場合は、本機のプログレッシブ映像を楽しむことはできません。（インターレース映像のみの出力となります。）

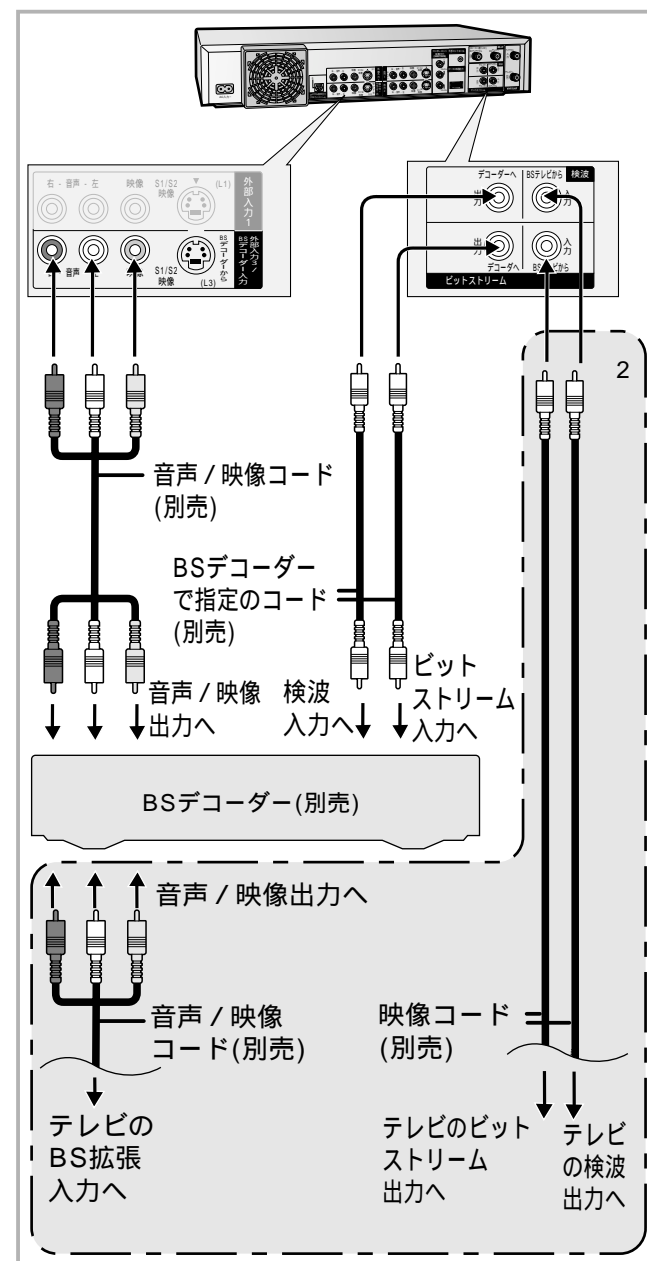
お願い

●ビデオカセットレコーダーやセレクター経由でテレビと接続しないでください。コピーガードの影響により、再生時に画面が乱れることがあります。（ビデオ内蔵テレビに接続するときには、ビデオ側でなく、テレビ側の入力端子に接続してください。）
●プログレッシブ映像に対応したテレビに接続した場合は、「プログレッシブ映像を楽しむ」（☞29ページ）をご参照ください。

衛星放送などを楽しむ

E BSアンテナと接続する

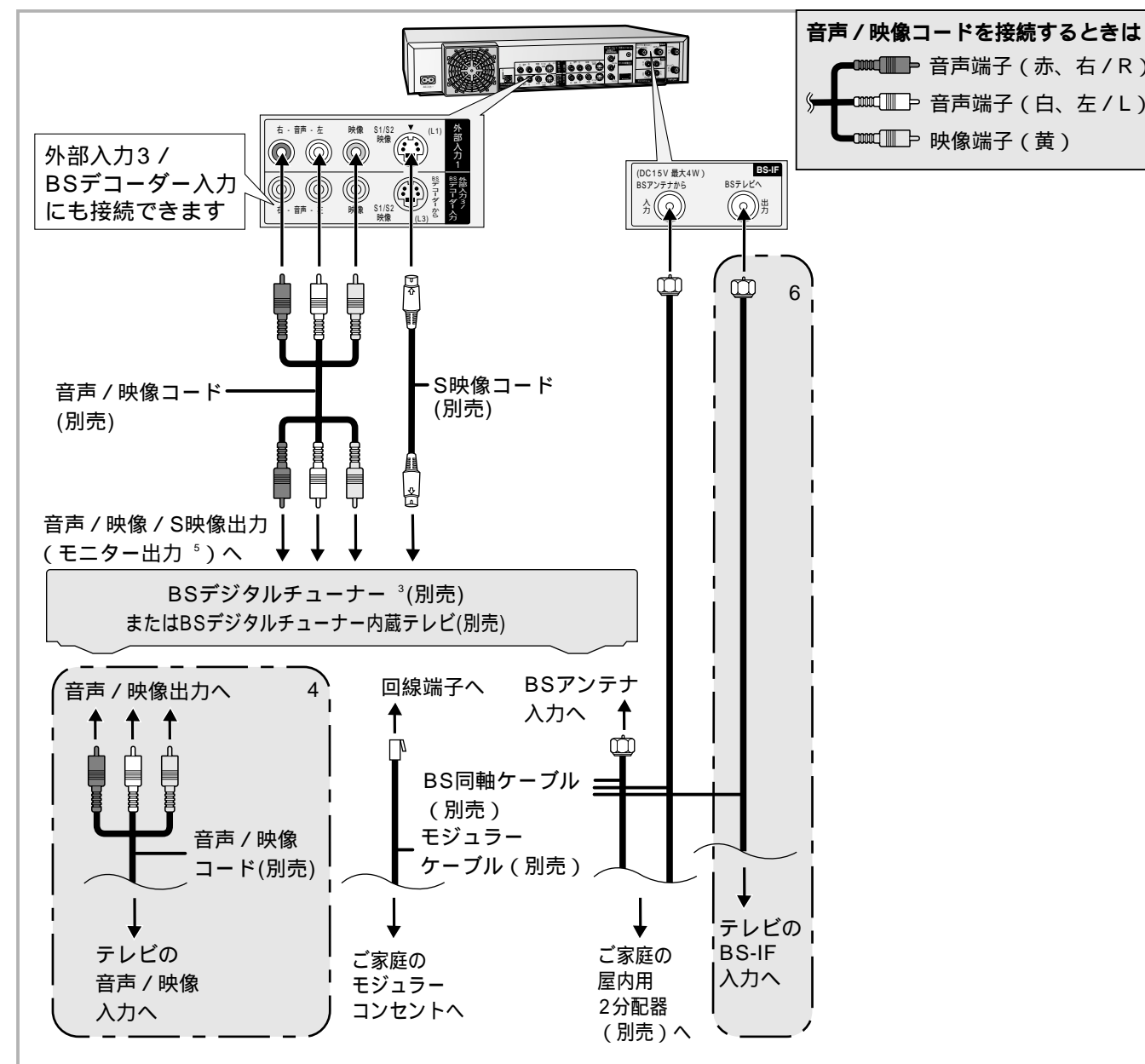
接続するテレビがBSアナログチューナー内蔵の場合、本機とテレビでどちらもBS放送を見られるように、本機経由でテレビにBSアンテナケーブルを接続します。

※1テレビがBSチューナー内蔵の場合のみ

F BSデコーダーに接続する

音声／映像コードを接続するときは
- 音声端子（赤、右／R）
- 音声端子（白、左／L）
- 映像端子（黄）

※2テレビがBSチューナー内蔵の場合のみ

お願い

BSチューナー内蔵テレビでBS放送をきれいに受信できないときは、**「BSアンテナ設定」**の**「BS電源」**を正しく設定してください。(☞22ページ「BSアンテナを設定する」)

G BSデジタルチューナー※3やBSデジタルチューナー内蔵テレビ、110度CSデジタル放送対応チューナーに接続する

※3 110度CSデジタル放送対応チューナー含む
※4 BSデジタルチューナーのみ
※5 BSデジタルチューナー内蔵テレビのみ
※6 テレビがアナログBSチューナー内蔵の場合のみ

お知らせ

本機はBSデジタルチューナーのIrシステムに対応しています。
- Irシステムの設定などは、接続する機器側で行ってください。
- IrシステムのEPG予約機能を使用する前に、本機の入力切り換えを、BSデジタルチューナーを接続した外部入力に切り換えてください。切り換え後は本機の電源を切ってください。
- 本機の予約録画待機中にIrシステムの予約録画を行った場合、本機の予約録画が開始されると、Irシステムの予約録画が途中で終了します。

■BSデジタルチューナー内蔵テレビに接続し、ディスクを再生するとき

本機の入力切換を、テレビのモニター出力が接続されている外部入力（上記の場合L1）以外に切り換えてください。モニター出力を接続した入力が選ばれている場合、音声にハウリング音（ピーなどの音）が入ることがあります。

■110度CSデジタル放送を楽しむ場合

- 本機のBS-IF入力とBS-IF出力は、110度CSデジタル放送には対応していません。
- 110度CSデジタル放送対応チューナーに接続する場合は、アンテナ、分配器、ブースターなどが110度CSデジタル放送に対応している必要があります。

衛星放送などを楽しむ（つづき）

H CSデジタルチューナーに接続する

お願い

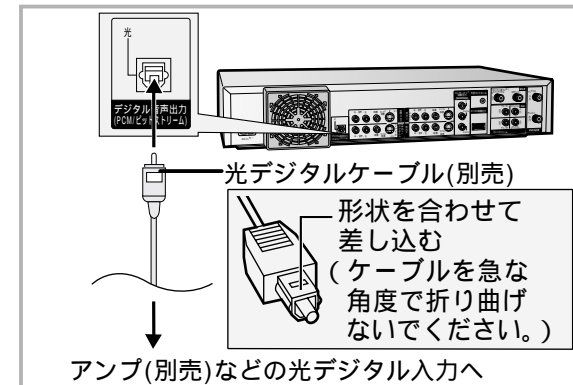
110度CSデジタル放送対応チューナーの接続は「G」（☞19ページ）をご参照ください。

J ホームターミナル (CATV) に接続する

お願い

ホームターミナルについては、CATV会社にご相談ください。

アンプなどと接続する

K 光デジタル入力に接続する

お願い

以下の場合、「PCMダウンサンプリング変換」で「入」を選んでください。（☞71ページ）

－ 接続する機器がサンプリング周波数 96 kHzに対応していない
－ 著作権保護のかかったディスクを再生する

L 音声入力に接続する

ビデオやビデオカメラなどと接続する

M 後面に接続する

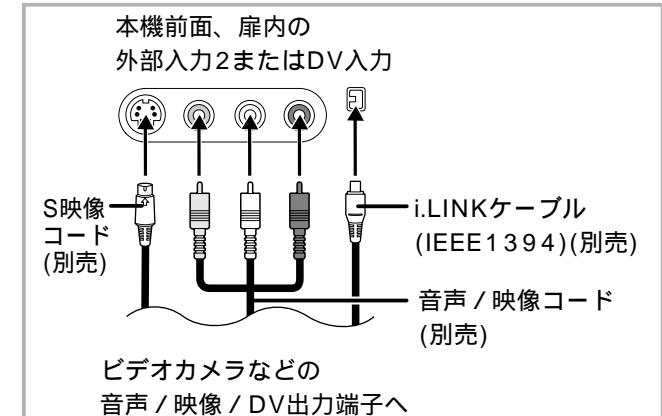
お願い

接続した機器の音声出力端子がモノラルの場合、ステレオーモノラル音声コード（別売）を使ってください。

N 前面に接続する

下記いずれかの接続を行ってください。

- i.LINKケーブル（別売）で接続
- S映像コードと音声／映像コードで接続
- 音声／映像コードで接続

お願い

接続した機器の音声出力端子がモノラルの場合、本機のL／MONO端子に接続してください。

お知らせ

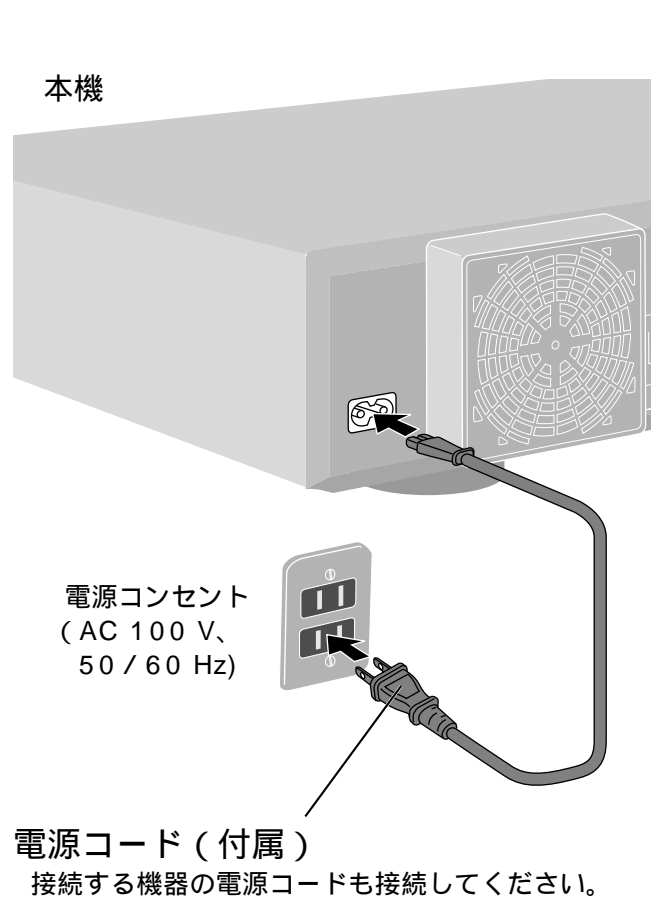
- 本機のDV入力はDV機器専用です。
- 接続した他の機器から本機を操作することはできません。
- DV入力経由で本機に接続できるDV機器（デジタルビデオカメラなど）は1台のみです。
- 接続するDV機器によっては、映像の圧縮方式が本機で採用のものと異なるものがあります。これらの機器からは録画やダビングはできません。

テレビなどと接続する（つづき）

P 電源コードを接続する

全ての機器との接続後、最後に電源コードを接続してください。

電源コード（付属）

● 接続する機器の電源コードも接続してください。

■ 接続が終了したら

時刻が合っていることを確認してください。
合っていないときは「時刻合わせ」（☞73ページ「設置」）で時刻を合わせてください。

■ 長期間使用しないときには

節電のため、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

待機時の消費電力

電源「切」時	約3.0 W※1
時刻表示点灯時	約3.5 W
時刻表示消灯時	約0.9 W※2

※1 VTRの省エネ法に定める計算式による待機時消費電力値を示す。
※2 FLディマー（☞71ページ「接続」）を「オート」に設定した場合。

本機を設定する

BS放送を楽しまないかたは、この設定は不要です。24ページ以降の設定を行ってください。

BSアンテナを設定する

BSアンテナを作動させるためには、接続に合わせたアンテナの電源供給方法を設定することが必要です。

準備
● テレビの電源を入れ、本機を接続した入力（「ビデオ1」など）に切り換える。
● [電源]（DVD）を押して、電源を「入」にする。

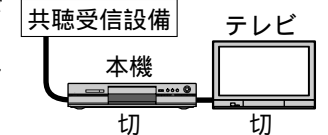
1 初期設定 押す

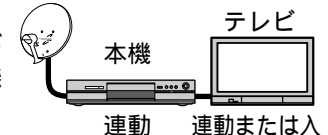
2 [▲▼] で "チャンネル" を選ぶ

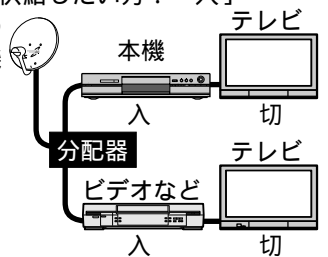
3 [▶]（カーソルボタン）と [▲▼] で "BSアンテナ設定" を選び、決定 押す

4 [▲▼] で "BS電源" を選び、[◀▶] で設定する

■共聴受信(マンションなど)の方：「切」
共聴受信設備で電源が供給されているため、本機からは電源を供給しません。

共聴受信設備 本機 テレビ 切 切

■BSアンテナを直接接続している方：「連動」
本機でBSチャンネルを選んだときや、テレビが「連動」の場合のみ、本機から電源を供給します。

本機 テレビ 連動 連動または入

■常に本機から電源を供給したい方：「入」
テレビやビデオなどの機器に関係なく、本機から電源を供給します。

本機 テレビ 入 切
分配器 ビデオなど テレビ 入 切

5 アンテナレベルを確認しながら、BSアンテナの向きを調節する

条件などにもよりますが、入力の値が "40" 以上になっていることがめやすです。
「MAX」に近付くように調節してください。（「MAX」とは、BSアンテナの向きを調整している間で、受信状態のいちばん良かったときのレベルです。）

例）

● レベルが "0" のときはBSアンテナの接続を確認してください。
● 映りが悪いときはBSアンテナの向きを変えてください。（正しい方向から少しでもずれると受信できません。）

■ウェザーポジション
"オン" にすると受信状態に合わせて画面上の細かいノイズをおさえます。

■BSチャンネル
選んだチャンネルのアンテナレベルを確認できます。

■BSシステム
通常は "デコーダー（自動）" にしてください。
St.GIGA（セント・ギガ）※と受信契約をし、その音声を楽しむ場合は "デコーダー（入）" に設定します。
※本機では独立音声を聞くことはできません。デコーダー側で音声を切り換えてください。

6 リターン 押す

■ ひとつ前の画面に戻るには

[リターン]を押す

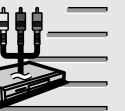
■ 設定を終了するには

[初期設定]を押す

■「Aモード音声」と「Bモード音声」について

● Aモード音声
通常の番組の音声で、テレビ音声と独立音声の両方が放送されます。

● Bモード音声
音楽番組などで、より高音質のテレビ音声のみが放送されます。(受信時テレビ画面に "B" と表示)

■St. GIGA（セント・ギガ）
St. GIGAはBSチャンネル（WOWOW）の「独立音声」で行われている音声のみの有料放送です。
放送を楽しむには、St. GIGAの受信契約と、別売のBSデコーダーが必要です。

本機を設定する（つづき）

お買い上げ時には、チャンネルは設定されていません。まず、**「市外局番でチャンネルを設定する」**を行なってください。
市外局番での設定を行なっても、以下のようなことがおこる場合には、**「市外局番を使わずにチャンネルを設定する」**を行なってください。
- Gコード予約ができない（ガイドチャンネルが設定されていない）
- 映るはずのチャンネルが飛ばされている
- 同じ放送局が複数設定される
- 映りの悪いチャンネルを削除したい
- 選局の順番を入れ換えたい

市外局番でチャンネルを設定する

準備
- テレビの電源を入れ、本機を接続した入力（「ビデオ1」など）に切り換える。
- **[電源]（DVD）**を押して、電源を「入」にする。

1 初期設定 **押す**

2 **[▲▼] で“チャンネル”を選ぶ**

3 **[▶]（カーソルボタン）と [▲▼] で「市外局番チャンネル設定」を選び、** 決定 **押す**

4 **数字ボタンで市外局番を入力する**
（「市外局番チャンネル一覧」 ☞26ページ）
- 市外局番が「市外局番チャンネル一覧」に記載されていない場合は、普段ご覧になる放送局が最も多く含まれる市外局番を入力してください。
- 間違えたときは、[◀]または[取消し]を押して再度入力してください。
- 市外局番に変更があった場合にも、「市外局番チャンネル一覧」の番号を入力してください。

5 決定 **押す**

設定（オートサーチ）が始まります。（約1分）
- ガイドチャンネルも設定されます。

6 「オートサーチを終了しました。」と表示されたら
リターン **押す**

[DVD／テレビ]を「DVD」にし、[∧、∨]**（チャンネル）**が動作するか確認してください。
お使いになるテレビと同様のチャンネルを切り換えることができれば設定完了です。

■ ひとつ前の画面に戻るには
[リターン]を押す

■ 設定を終了するには
[初期設定]を押す

■ 設定をお買い上げ時の設定に戻すとき
手順❹で“000000”を入力する。

お知らせ
- 市外局番でのチャンネル設定を行い、新たに受信したチャンネルは、チャンネルポジション13〜20（愛媛県では14〜20）に追加登録されます。
- 「市外局番チャンネル設定」を行い、新たに受信したチャンネルではガイドチャンネルは設定されませんので、「市外局番を使わずにチャンネルを設定する」で設定してください。

市外局番を使わずにチャンネルを設定する

1 初期設定 **押す**

2 **[▲▼] で“チャンネル”を選ぶ**

3 **[▶]（カーソルボタン）と [▲▼] で「マニュアルチャンネル設定」を選び、** 決定 **押す**

4 **[◀▶] で“Po”を選び、[▲▼] でチャンネルポジションを選ぶ**
- [▼] を押すごとに、下記のように変わります。（[▲] を押すと逆向きに変わります。）

VHF/UHFチャンネル(Po)
↓
BSチャンネル(CH)
↓
CATVチャンネル(CH)
↓
外部入力チャンネル(入力)
↓
拡張チャンネル(Po)

例）
VHF／UHFチャンネルを合わせる

[取消し] を押すと、チャンネルを削除できます。（表示が“−−”になります。）

5 **[◀▶] で“CH”を選び、[▲▼] で受信チャンネルを合わせる**
- [▲] または [▼] を押し続けると10ずつ変わります。

6 **[◀▶] で“表示”を選び、[▲▼] で表示チャンネルを合わせる**
- 表示窓やテレビ画面に表示させたい数字に合わせてください。
- [▲] または [▼] を押し続けると10ずつ変わります。

7 **[◀▶] で“ガイド”を選び、[▲▼] でガイドチャンネルを合わせる**
- 「市外局番チャンネル一覧表」（☞26ページ）「BS放送のガイドチャンネルについて」（☞右記）を見ながら合わせてください。
- [▲] または [▼] を押し続けると10ずつ変わります。

手順❹〜❼を繰り返すと別のチャンネルの設定、変更や取り消しができます。

8 リターン **押す**

■ ひとつ前の画面に戻るには
[リターン]を押す

■ 設定を終了するには
[初期設定]を押す

受信した映像を調整する

ノイズがあるときや、色が付いていないときなどに調整します。
手順❹で、チャンネルポジションを選んだあと、

① **3秒以上** 決定 **押す**

② **[◀▶] で“入”を選ぶ**

③ **[◀▶] で調整する**
[▶]：
色が付いていないとき
[◀]：
しま模様が出るとき

④ リターン **押す**

お知らせ
- 「BSチャンネル」、「拡張チャンネル」、「外部入力チャンネル」は調整できません。
- 電波の受信状態によっては、調整しきれない場合があります。

■チャンネルの種類について
チャンネルポジション
選局の順番を表示するもので、受信するチャンネルを表示します。
受信チャンネル
新聞のテレビ番組欄に使われている、放送局からの電波を受信するチャンネルです。
表示チャンネル
表示窓やテレビ画面に表示されるチャンネルです。

ガイドチャンネル
Gコード予約をするために放送局につけられたチャンネルです。ガイドチャンネルが設定されていないと、Gコード予約が正しく設定できません。
拡張チャンネル
将来のシステムに対応するもので、現在は使用しません。

■BS放送のガイドチャンネルについて
CATVによっては、BS放送をVHF/UHFチャンネルに置き換えて放送しているところがあります。
BS放送のガイドチャンネルが正しく設定されていない場合は、以下のように合わせてください。

放送局名	ガイドチャンネル
BS 1	71
BS 3	72
BS 5 WOWOW	73
BS 7 NHK衛星第一	74
BS 9 ハイビジョン放送※	75
BS 11 NHK衛星第二	76
BS 13	77
BS 15	78

※本機ではハイビジョン放送（BS9）を見ることはできません。

本機を設定する（つづき）

新たに開局した放送局やCATV放送のガイドチャンネルについては、販売店やCATV会社にご確認ください。

市外局番チャンネル一覧

地域	都市名	市外局番	チャンネルポジションと放送局名・受信チャンネル・表示チャンネル・ガイドチャンネル																							
			1				2				3				4				5				6			
			放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH
北海道	札幌	011	北海道放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80	テレビ北海道	17	17	17	札幌テレビ	5	5	5				
	旭川	0166					NHK教育	2	2	90					テレビ北海道	33	33	17								
	北見	0157					NHK教育	2	2	90																
	帯広	0155	北海道テレビ	34	34	35									NHK総合	4	4	80					北海道放送	6	6	1
	釧路/室蘭	0154/0143					NHK教育	2	2	90					テレビ北海道	29	29	17								
	函館	0138	テレビ北海道	21	21	17	北海道文化	27	27	27	北海道テレビ	35	35	35	NHK総合	4	4	80					北海道放送	6	6	1
東北	青森	017	青森放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80					NHK教育	5	5	90				
	八戸	0178													青森朝日	31	31	34								
	盛岡	019	東北放送	1	1	1	めんこい	33	33	33	テレビ岩手	35	35	35	NHK総合	4	4	80	岩手朝日	31	31	20	岩手放送	6	6	6
	仙台	022	東北放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80					NHK教育	5	5	90				
	秋田	018					NHK教育	2	2	90									秋田朝日	31	31	31				
	大館	0186	青森放送	1	1	1									NHK総合	4	4	80	秋田朝日	59	59	31	秋田放送	6	6	11
	山形	023													NHK教育	4	4	90	山形さくらんぼ	30	30	30	テレビュー山形	36	36	36
	鶴岡	0235	山形放送	1	1	10					NHK総合	3	3	80					山形さくらんぼ	24	24	30	NHK教育	6	6	90
	福島	024	東北放送	1	1	1	NHK教育	2	2	90					テレビュー福島	31	31	31					福島中央	33	33	33
	会津若松	0242	NHK総合	1	1	80					NHK教育	3	3	90	テレビュー福島	47	47	31					福島テレビ	6	6	11
	いわき	0246					テレビュー福島	32	32	31					NHK総合	4	4	80					福島中央	34	34	33
関東	水戸	029	NHK総合	44	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	46	3	90	日本テレビ	42	4	4	放送大学	16	16	16	TBSテレビ	40	6	6
	宇都宮	028	NHK総合	29	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	27	3	90	日本テレビ	25	4	4	とちぎテレビ	31	31	23	TBSテレビ	23	6	6
	前橋	027	NHK総合	52	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	50	3	90	日本テレビ	54	4	4	群馬テレビ	48	48	48	TBSテレビ	56	6	6
	さいたま	048	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16	TBSテレビ	6	6	6
	千葉	043	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16	TBSテレビ	6	6	6
	東京	03	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16	TBSテレビ	6	6	6
	横浜	045	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16	TBSテレビ	6	6	6
甲信越・北陸	新潟	025									新潟テレビ21	21	21	21	テレビ新潟	29	29	29	新潟放送	5	5	5				
	富山	0764	北日本放送	1	1	1	北陸放送	6	6	6	NHK総合	3	3	80	石川テレビ	37	37	37					チューリップ	32	32	32
	金沢	076	北日本放送	1	1	1					富山テレビ	34	34	34	NHK総合	4	4	80					北陸放送	6	6	6
	福井	0776									NHK教育	3	3	90									北陸放送	6	6	6
	甲府	055	NHK総合	1	1	80					NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	山梨放送	5	5	5	テレビ山梨	37	37	37
	長野	026					NHK総合	2	2	80					長野朝日	20	20	20					テレビ信州	30	30	30
	飯田	0265	長野朝日	44	44	20					NHK教育	3	3	90	NHK総合	4	4	80					信越放送	6	6	11
中部	岐阜	058	東海テレビ	1	1	1					NHK総合	39	3	80					中部日本放送	5	5	5	テレビ愛知	25	25	25
	静岡	054					NHK教育	2	2	90					静岡第一	31	31	31					静岡朝日	33	33	33
	浜松	053	東海テレビ	1	1	1	静岡第一	30	30	31					NHK総合	4	4	80	中部日本放送	5	5	5	静岡放送	6	6	11
	名古屋	052	東海テレビ	1	1	1					NHK総合	3	3	80					中部日本放送	5	5	5	岐阜放送	37	37	37
	津	059	東海テレビ	1	1	1	テレビ愛知	25	25	25	NHK総合	31	3	80	毎日テレビ	4	4	4	中部日本放送	5	5	5	ABCテレビ	6	6	6
関西	大津	077					NHK総合	28	28	80					毎日テレビ	36	4	4					ABCテレビ	38	6	6
	京都	075					NHK総合	32	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日テレビ	4	4	4					ABCテレビ	6	6	6
	大阪	06					NHK総合	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日テレビ	4	4	4					ABCテレビ	6	6	6
	神戸	078					NHK総合	28	2	80	サンテレビ	36	36	36	毎日テレビ	18	4	4	テレビ大阪	19	19	19	ABCテレビ	20	6	6
	奈良	0742					NHK総合	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日テレビ	4	4	4	NHK奈良	51	51	ー	ABCテレビ	6	6	6
	和歌山	073					NHK総合	32	2	80					毎日テレビ	42	4	4	テレビ和歌山	30	30	30	ABCテレビ	44	6	6
中国	鳥取	0857	日本海テレビ	1	1	1					NHK総合	3	3	80	NHK教育	4	4	90								
	松江	0852	日本海テレビ	30	30	1																	NHK総合	6	6	80
	浜田	0855					NHK総合	2	2	80	日本海テレビ	54	54	1					山陰放送	5	5	10				
	岡山	086	岡山放送	35	35	35	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育	3	3	90					NHK総合	5	5	80				
	広島	082	テレビ新広島	31	31	31					NHK総合	3	3	80	中国放送	4	4	4								
	福山	0849	テレビ新広島	54	54	31					NHK教育	3	3	90					NHK総合	5	5	80				
	山口	083	NHK教育	1	1	90	九州朝日	2	2	1	テレビQ	23	23	19	山口朝日	28	28	28	大分放送	5	5	5				
四国	徳島	088	四国放送	1	1	1	テレビ大阪	19	19	19	NHK総合	3	3	80	毎日テレビ	4	4	4	テレビ和歌山	55	55	30	ABCテレビ	6	6	6
	高松	087	テレビせとうち	19	19	23					NHK教育	39	39	90	毎日テレビ	4	4	4	NHK総合	37	37	80	ABCテレビ	6	6	6
	松山※	089	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育	2	2	90	広島テレビ	12	12	12	広島ホーム	35	35	35	テレビ新広島	31	31	31	NHK総合	6	6	80
	新居浜※	0897	テレビせとうち	23	23	23	NHK総合	2	2	80	広島テレビ	12	12	12	NHK教育	4	4	90	テレビ新広島	31	31	31	南海放送	6	6	10
	高知	0888													NHK総合	4	4	80					NHK教育	6	6	90
九州・沖縄	福岡	092	九州朝日	1	1	1	サガテレビ	36	36	36	NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	テレビQ	19	19	19	NHK教育	6	6	90
	北九州	093					九州朝日	2	2	1	福岡放送	35	35	37	サガテレビ	36	36	36	テレビQ	23	23	19	NHK総合	6	6	80
	佐賀	0952	九州朝日	57	57	1	NHK教育	40	40	90	福岡放送	52	52	37	サガテレビ	36	36	36	テレビQ	14	14	19	テレビ熊本	34	34	34
	長崎	095	NHK教育	1	1	90	九州朝日	57	57	1	NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	長崎放送	5	5	5	テレビ熊本	34	34	34
	熊本	096	九州朝日	1	1	1	NHK教育	2	2	90	熊本朝日	16	16	16	熊本県民	22	22	22	長崎放送	5	5	5	テレビ熊本	34	34	34
	大分	097	九州朝日	1	1	1					NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	大分放送	5	5	5	南海放送	10	10	10
	宮崎	0985	南日本放送	1	1	1					テレビ宮崎	35	35	35												
	延岡	0982					NHK教育	2	2	90					NHK総合	4	4	80					宮崎放送	6	6	10
	鹿児島	099	南日本放送	1	1	1	テレビ熊本	34	34	34	NHK総合	3	3	80	テレビ宮崎	35	35	35	NHK教育	5	5	90	宮崎放送	10	10	10
	阿久根	0996	鹿児島読売	17	17	30	テレビ熊本	34	34	34					鹿児島放送	23	23	32					鹿児島テレビ	35	35	38
	那覇	098	琉球朝日	28	28	28	NHK総合	2	2	80																

都市名	市外局番	チャンネルポジションと放送局名・受信チャンネル・表示チャンネル・ガイドチャンネル																							
		7				8				9				10				11				12			
		放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH
札幌	011					北海道文化	27	27	27					北海道テレビ	35	35	35					NHK教育	12	12	90
旭川	0166	札幌テレビ	7	7	5	北海道文化	37	37	27	NHK総合	9	9	80	北海道テレビ	39	39	35	北海道放送	11	11	1				
北見	0157	札幌テレビ	7	7	5	北海道文化	59	59	27	NHK総合	9	9	80	北海道テレビ	61	61	35	北海道放送	53	53	1				
帯広	0155					北海道文化	32	32	27					札幌テレビ	10	10	5					NHK教育	12	12	90
釧路/室蘭	0154/0143	札幌テレビ	7	7	5	北海道文化	41	41	27	NHK総合	9	9	80	北海道テレビ	39	39	35	北海道放送	11	11	1				
函館	0138													NHK教育	10	10	90					札幌テレビ	12	12	5
青森	017					北海道文化	27	27	27					青森朝日	34	34	34	北海道テレビ	35	35	35	青森テレビ	38	38	38
八戸	0178	NHK教育	7	7	90					NHK総合	9	9	80					青森放送	11	11	1	青森テレビ	33	33	38
盛岡	019	宮城テレビ	34	34	34	NHK教育	8	8	90					東日本放送	32	32	32					仙台放送	12	12	12
仙台	022	東日本放送	32	32	32					宮城テレビ	34	34	34									仙台放送	12	12	12
秋田	018									NHK総合	9	9	80					秋田放送	11	11	11	秋田テレビ	37	37	37
大館	0186					NHK教育	8	8	90													秋田テレビ	57	57	37
山形	023					NHK総合	8	8	80					山形放送	10	10	10					山形テレビ	38	38	38
鶴岡	0235					テレビュー山形	22	22	36													山形テレビ	39	39	38
福島	024	東日本放送	32	32	32	宮城テレビ	34	34	34	NHK総合	9	9	80	福島放送	35	35	35	福島テレビ	11	11	11	仙台放送	12	12	12
会津若松	0242	東日本放送	32	32	32	福島中央	37	37	33	宮城テレビ	34	34	34	福島放送	41	41	35					仙台放送	12	12	12
いわき	0246					福島テレビ	8	8	11					NHK教育	10	10	90					福島放送	36	36	35
水戸	029					フジテレビ	38	8	8	千葉テレビ	39	46	46	テレビ朝日	36	10	10					テレビ東京	32	12	12
宇都宮	028					フジテレビ	21	8	8					テレビ朝日	19	10	10					テレビ東京	17	12	12
前橋	027	放送大学	40	16	16	フジテレビ	58	8	8	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ朝日	60	10	10					テレビ東京	62	12	12
さいたま	048	テレビ埼玉	38	38	38	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	群馬テレビ	48	48	48	テレビ東京	12	12	12
千葉	043	TVKテレビ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ東京	12	12	12
東京	03	TVKテレビ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ東京	12	12	12
横浜	045	TVKテレビ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8					テレビ朝日	10	10	10					テレビ東京	12	12	12
新潟	025					NHK総合	8	8	80					新潟総合	35	35	35					NHK教育	12	12	90
富山	0764													NHK教育	10	10	90					富山テレビ	34	34	34
金沢	076	北陸朝日	25	25	25	NHK教育	8	8	90					テレビ金沢	33	33	33					石川テレビ	37	37	37
福井	0776									NHK総合	9	9	80					福井放送	11	11	11	福井テレビ	39	39	39
甲府	055	TBSテレビ	6	6	6	フジテレビ	8	8	8					テレビ朝日	10	10	10					テレビ東京	12	12	12
長野	026									NHK教育	9	9	90	長野放送	38	38	38	信越放送	11	11	11				
飯田	0265					テレビ信州	42	42	30					長野放送	40	40	38								
岐阜	058	岐阜放送	37	37	37	三重テレビ	33	33	33	NHK教育	9	9	90					名古屋テレビ	11	11	11	中京テレビ	35	35	35
静岡	054									NHK総合	9	9	80					静岡放送	11	11	11	テレビ静岡	35	35	35
浜松	053	テレビ愛知	25	25	25	NHK教育	8	8	90					静岡朝日	28	28	33					テレビ静岡	34	34	35
名古屋	052	中京テレビ	35	35	35	三重テレビ	33	33	33	NHK教育	9	9	90					名古屋テレビ	11	11	11	テレビ愛知	25	25	25
津	059	三重テレビ	33	33	33	関西テレビ	8	8	8	NHK教育	9	9	90	読売テレビ	10	10	10	名古屋テレビ	11	11	11	中京テレビ	35	35	35
大津	077	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	40	8	8	びわ湖放送	30	30	30	読売テレビ	42	10	10					NHK教育	46	46	90
京都	075	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10					NHK教育	12	12	90
大阪	06	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10					NHK教育	12	12	90
神戸	078					関西テレビ	22	8	8					読売テレビ	24	10	10					NHK教育	26	12	90
奈良	0742	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10	奈良テレビ	55	55	55	NHK教育	12	12	90
和歌山	073					関西テレビ	46	8	8					読売テレビ	48	10	10					NHK教育	26	12	90
鳥取	0857													山陰放送	22	22	10					山陰中央	24	24	34
松江	0852					山陰中央	34	34	34					山陰放送	10	10	10					NHK教育	12	12	90
浜田	0855					山陰中央	58	58	34	NHK教育	9	9	90												
岡山	086	瀬戸内海放送	25	25	33					西日本放送	9	9	9					山陽放送	11	11	11				
広島	082	NHK教育	7	7	90					広島ホーム	35	35	35									広島テレビ	12	12	12
福山	0849	中国放送	7	7	4					広島ホーム	57	57	35					広島テレビ	11	11	12				
山口	083	テレビ山口	38	38	38	RKB毎日	8	8	4	NHK総合	9	9	80	テレビ西日本	10	10	9	山口放送	11	11	11	福岡放送	35	35	37
徳島	088	サンテレビ	36	36	36	関西テレビ	8	8	8					読売テレビ	10	10	10					NHK教育	38	12	90
高松	087	瀬戸内海放送	33	33	33	関西テレビ	8	8	8	西日本放送	9	9	9	読売テレビ	10	10	10	山陽放送	29	29	11	岡山放送	31	31	35
松山※	089	瀬戸内海放送	33	33	33	あいテレビ	29	29	29	西日本放送	9	9	9	南海放送	10	10	10	山陽放送	11	11	11	愛媛放送	37	37	37
新居浜※	0897	瀬戸内海放送	33	33	33	あいテレビ	27	27	29	西日本放送	9	9	9	広島ホーム	35	35	35	山陽放送	11	11	11	愛媛放送	36	36	37
高知	0888					高知放送	8	8	8					テレビ高知	38	38	38	高知さんさん	40	40	40				
福岡	092									テレビ西日本	9	9	9					熊本放送	11	11	11	福岡放送	37	37	37
北九州	093					RKB毎日	8	8	4					テレビ西日本	10	10	9	熊本放送	11	11	11	NHK教育	12	12	90
佐賀	0952	長崎放送	5	5	5	RKB毎日	48	48	4	NHK総合	38	38	80	テレビ西日本	60	60	9	熊本放送	11	11	11	テレビ長崎	37	37	37
長崎	095	長崎国際	25	25	25	テレビ西日本	9	9	9	長崎文化	27	27	27	熊本放送	11	11	11	テレビ長崎	37	37	37	熊本県民	22	22	22
熊本	096	テレビ長崎	37	37	37	サガテレビ	36	36	36	NHK総合	9	9	80	テレビQ	19	19	19	熊本放送	11	11	11	RKB毎日	4	4	4
大分	097	テレビ大分	36	36	36	福岡放送	37	37	37	大分朝日	24	24	24	テレビQ	19	19	19	テレビ西日本	9	9	9	NHK教育	12	12	90
宮崎	0985	鹿児島放送	32	32	32	NHK総合	8	8	80	鹿児島テレビ	38	38	38	宮崎放送	10	10	10					NHK教育	12	12	90
延岡	0982					テレビ宮崎	39	39	35																
鹿児島	099	鹿児島放送	32	32	32	熊本県民	22	22	22	鹿児島テレビ	38	38	38	熊本朝日	16	16	16	鹿児島読売	30	30	30				
阿久根	0996	熊本県民	22	22	22	NHK総合	8	8	80	熊本朝日	16	16	16	南日本放送	10	10	1	熊本放送	11	11	11	NHK教育	12	12	90
那覇	098					沖縄テレビ	8	8	8					琉球放送	10	10	10					NHK教育	12	12	90

(※)『松山』『新居浜』では、チャンネルポジション13に「愛媛朝日」が設定されます。

●松山：受信CH…25　表示CH…25　ガイドCH…25、●新居浜：受信CH…14　表示CH…14　ガイドCH…25

テレビに合わせて設定する

画面横縦比と映像入力方式を設定する

❶ 押す

❷ [▲▼] で “接続” を選ぶ

❸ [▶] (カーソルボタン) と [▲▼] で「TVアスペクト」を選び、
決定 押す

❹ [▲▼] で テレビ画面の横縦比を選び、
決定 押す

❺ [▶] (カーソルボタン) と [▲▼] で「TVタイプ」を選び、
決定 押す

❻ [▲▼] で テレビの映像入力方式を選び、
 押す

■ ひとつ前の画面に戻るには

[リターン]を押す

■ 設定を終了するには

[初期設定]を押す

お知らせ

テレビ画面に映し出される映像は上記の設定以外にも影響を受けます。
映像が正しく映らない場合に、下記を確認してください。

- 「ワイドモード」(☞70ページ「設置」)
- 「DVD-Video」、「DVD-RAM」(☞71ページ「接続」)
- 「映像メニュー」(☞67ページ)
- テレビの映像設定
- 再生する映像がディスクで指定されている場合

さらに、プログレッシブ対応テレビに接続した場合には「プログレッシブ映像を楽しむ」(☞29ページ)も確認してください。

プログレッシブ映像を楽しむ

マクロビジョン方式のコピーガードシステムと、DVDのプログレッシブ映像に対応した525P映像入力端子が付いているテレビに接続し、以下の設定を行ってください。

- **「TVタイプ」**:「プログレッシブ (525P) 対応」(☞28ページ手順❻)
- **「プログレッシブ」**:「入」(☞67ページ「映像メニュー」)

プログレッシブ対応テレビでの映像について

プログレッシブ映像の画角(横縦比)は、規格で16：9に規定されています。
DVDビデオの映画ソフトなどの16：9の素材では正しい画角で表示されますが、4：3の素材(☞下記「お知らせ」)では、左右方向に引き伸ばされて表示されます。

■正しい画角で映像を見るためには

- プログレッシブ映像の画角を調節できるテレビの場合、テレビ側の機能を使って画角を調節してください。
- プログレッシブ映像の画角を調節できないテレビの場合、「プログレッシブ」を「切」にしてください。(☞67ページ「映像メニュー」)

お知らせ

4：3の素材には、このようなものがあります。

- 一般のテレビ放送(一部のワイド放送を除く)や、それらを録画したディスクの映像。
- ジャケットなどに画面の横縦比が4：3と明示されているDVDビデオの映像。
- DVD-RやビデオCDの映像。

■プログレッシブ対応テレビのご紹介(当社製のみ)

テレビタイプ	品　番 (TH-)			
BSデジタル ハイビジョン	36DH200	36D20	32D20	28D10
	36DH100	36D10	32D10	
	36D100	32D100	28D30	
	36D30	32D30	28D20	
ハイビジョン	36HG1	36FH1	32FH10	28HW3
	36FH10	32HG1	32FH1	28HW2
プログレッシブ ワイド	36FP50	32FP50	32FP10	28FP20
	36FP30	32FP30	32FS10	28FP15
	36FP25	32FP25	28FP50	28FS10
	36FP20	32FP20	28FP30	
	36FP15	32FP15	28FP25	
プログレッシブ	33FP2	29FP5	29FP3	29FP2
DVDビデオ内蔵 ワイド液晶	15DT2	15LV1		
	15DTX1			
ワイド液晶	22LT1	15LT1		
4：3液晶	20TA3	17TA3	14TA3	
プラズマ ディスプレイ	50PHD3	42PM30	42PXS10	37PM20
	50PH50	42PM20	37PAS10	37PM2
	50PXS10	42PM2	37PD10	
	42PD2	42PX10	37PD2	
	42PM50	42PAS10	37PM50	
リアプロジェクター	47FP10	48FH10		
液晶プロジェクター	AE300	AE200	AE100	

2003年3月現在

本機のリモコンでテレビを操作する

テレビのメーカー番号を設定すると、本機のリモコンで各社テレビの基本操作ができます。接続したテレビのメーカーに合わせて、メーカー番号を切り換えてください。

を押しながら、

数字ボタン(0、1〜9)で
メーカー番号(2ケタ)を押す

メーカー名	番号	メーカー名	番号
アイワ	18	日立	05、20
三洋	07、16	富士通ゼネラル	09
シャープ	02、11、21	フナイ	19
ソニー	03、17	松下	01、10
東芝	04		22、23
パイオニア	13	三菱	08、12
ビクター	14	NEC	06、15

「松下」など、メーカー番号が複数ある場合は、番号を入力してみてテレビを操作できる番号を選んでください。

[DVD／テレビ]を「テレビ」にし、リモコンをテレビに向け、[電源](テレビ)、[テレビ入力]、[∧、∨](チャンネル)、[+、−](音量)、数字ボタン(0、1〜9)などが動作するか確認してください。
切り換えることができれば設定完了です。

お願い

- 本機のリモコンで正しく操作できない場合は、テレビに付属のリモコンをお使いください。
- リモコンの電池を交換して、テレビを操作できなくなった場合は、メーカー番号を設定しなおしてください。

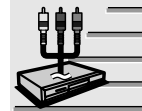
今すぐ再生を設定する

今すぐ再生は、**[▶](再生)**や**[プログラムナビ]**を押したときに、テレビの入力を「ビデオ1」に自動的に切り換える機能です。(上記メーカー番号表中で、下線がついた番号のテレビで働きます。)

準備 本機をテレビの「ビデオ1」入力に接続してください。(テレビの他の入力では働きません。)

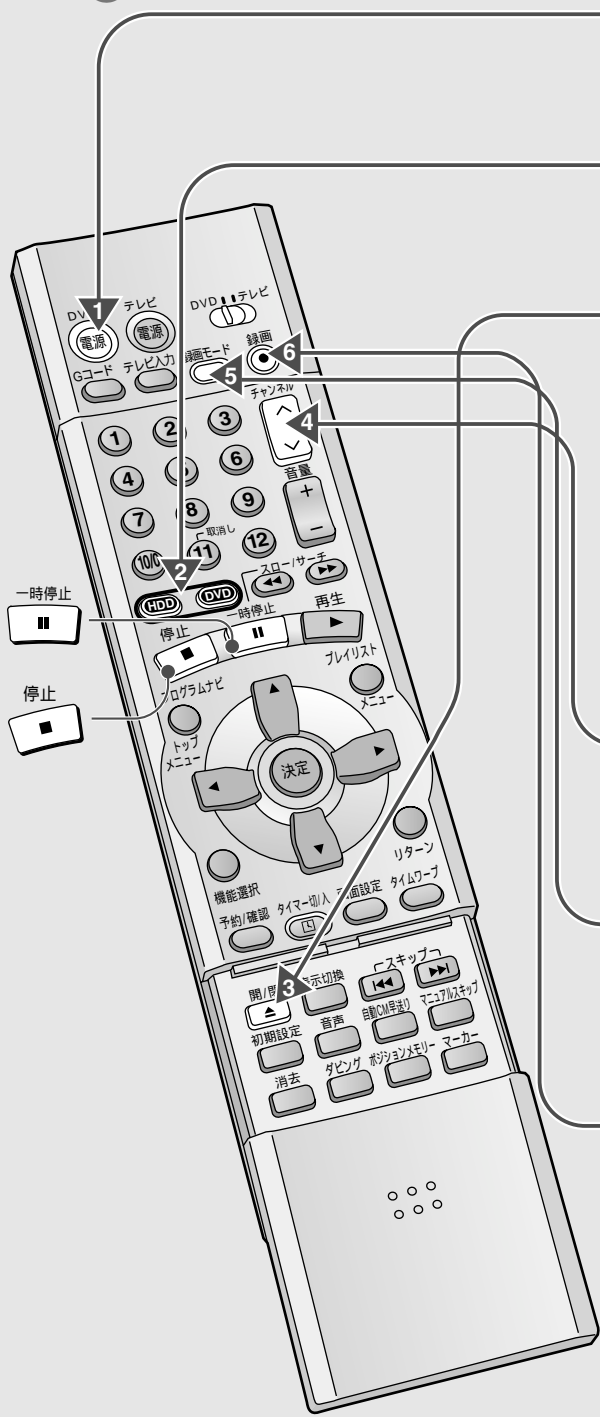
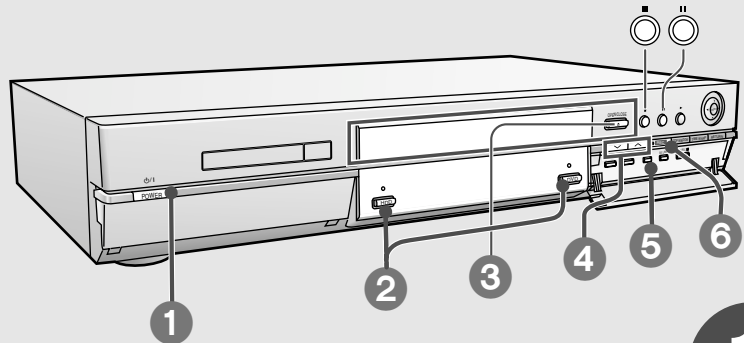
リモコンをテレビに向け、

リモコンの 再生 ▶ **を押しながら、** **押す**

操作するたびに、
今すぐ再生　切 ←→ 入(テレビの入力が「ビデオ1」に切り換わります。)

接続・設定
テレビに合わせて設定する

番組を録画する

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

予約録画の待機中でも録画はできますが、予約録画の開始時刻になると予約録画が実行され、それまで行っていた録画は停止します。(☞48〜51ページ「予約して録画する」)

- 録画中は、チャンネルや録画モードの変更はできません。(一時停止中は変更できますが、別番組として録画されます。)
- ディスクプロテクト(☞54ページ)やカートリッジプロテクト(☞76ページ)を設定している場合、解除してください。RAM
- HDDには最大250番組、ディスクには最大99番組録画できます。(1番組の連続録画は最大6時間です)
- 本機で初めて使用するDVD-RAMは、精度よく録画できるようにフォーマットすることをおすすめします。(☞54ページ「フォーマット」) RAM
- DVD-Rに録画する場合は制約があります。(☞12ページ「DVD-Rについて」) DVD-R

1 電源を入れる

DVD 電源

2 ドライブを選ぶ

HDD DVD

(☞84ページ「ドライブ」)

- 本体の、HDDまたはDVDのボタンが点灯します。
- HDD(ハードディスクドライブ)とDVDドライブに同時に録画することはできません。

"DVD"を選んだ場合のみ

3 ディスクを入れる

開/閉

または

つめを合わせる

矢印を奥に

開/閉

もう一度押すと閉まります。

- ラベル面(両面ディスクでは、録画したい側のラベル面)を上にして入れてください。
- 両面ディスクは、両面に連続して録画をすることはできません。いったんディスクを取り出し、裏返してください。
- 8 cm DVD-RAMの場合、カートリッジからディスクを取り出し、みぞに合わせてディスクを入れてください。
- HDD選択中にディスクを入れると、DVD側でディスク読み込み中に本体の「DVD」ボタンが点滅します。

4 チャンネルを選ぶ

チャンネル

例) DVD-RAM

4チャンネルを選んだ場合

5 録画モードを選ぶ

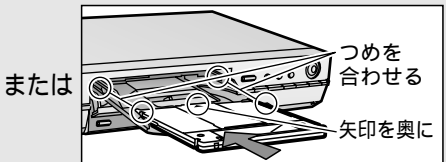
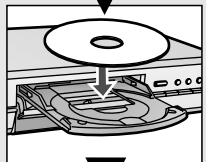
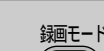
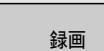
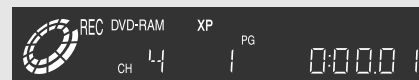
録画モード

押すたびに
XP→SP→LP→EP

XPを選んだ場合

- 録画モードと録画時間のめやす(☞右記)
- 音声をLPCMで録画するには(XP時のみ):「記録音声モードの設定〔XP時〕」(☞71ページで「LPCM」を選ぶ。ただし、画質は少し下がります。)

6 録画を始める

録画

録画開始した位置から停止した位置までを1番組として記録します。

本体の、HDDまたはDVDの録画ランプが点灯します。録画日などは、番組リスト(☞39ページ)に記録されます。

■ 停止する

停止 押す

■ 一時停止する

一時停止 押す

もう一度押すと録画を再開します。

- DVD-Rに録画した場合、他の再生機器で再生するにはファイナライズ(☞54ページ)が必要です。
- 二重放送の音声を、DVD-Rに録音したり、LPCMで録音したりする場合、「主音声」または「副音声」の一方しか録音できません。「DVD-R、LPCM 二重放送音声記録の設定」(☞71ページ)でどちらかを選べます。

手順❶〜❸の説明は、特に必要のない限り、32ページ以降では記載していません。

お知らせ

- 録画はHDDまたはディスクの空きスペースに行います。上書きはされません。
- 録画中にもう一方のドライブで再生を楽しむことができます。(編集はできません。)
- 録画するドライブの残量がないときは、不要な番組を消す(HDDとDVD-RAMのみ)か、新しいディスクをお使いください。(☞56ページ「プログラム消去」)

■ 録画モードと録画時間のめやす

単位:時間

記録媒体 / 録画モード	HDD (120 GB)	DVD-RAM 片面 (4.7 GB)	DVD-RAM 両面 (9.4 GB)	DVD-R (4.7 GB)
XP(高画質)	約 26	約 1	約 2	約 1
SP(標 準)	約 52	約 2	約 4	約 2
LP(長時間)	約 104	約 4	約 8	約 4
EP(長時間)	約 160	約 6	約 12	約 6

- "FR(フレキシブルレコーディングモード)"は予約録画時、ダビング時に設定できます。
  - **-HDDに予約録画やぴったり録画を行う場合**
    未使用のDVD-RAM/R(4.7GB)にダビングする場合でもディスクに収まるよう録画モードを自動的に設定します。
  - **-DVD-RAM/Rに予約録画やぴったり録画を行う場合**
    ディスクの空き容量を計算して、ディスクに収まるように録画モードを自動的に設定します。例えば、未使用のDVD-RAMディスクに90分の録画をする場合、「XP」から「SP」の間で画質を調整します。
  - **-ダビング時には**
    ダビング元の録画モードの映像が、ダビング先の空き容量に収まるよう録画モードを自動的に設定します。
- 選択したドライブに、静止画が記録されている場合は上記の表より録画時間が増減することがあります。

■ 番組の録画・複製・移動について

本機では、録画機器の著作権保護技術であるCPRM(☞85ページ)を採用しています。番組に録画制限があると、録画・複製・移動ができない場合があります。

録画制限	録画・複製・移動できる媒体
なし(録画回数に制限がない)	録画→HDD 複製→RAM / DVD-R
	録画→RAM 複製→HDD
	録画→DVD-R 複製→✕ 複製できません。
あり(一世代だけ録画が許されている)	録画→HDD 移動→RAM
	録画→RAM 複製→HDD ※
	録画→✕ DVD-Rには録画できません。
あり(録画できない)	録画→どの媒体にも、録画・複製できません。

移動:番組を他の記録媒体に移すことです。移動元の番組は消去されます。
※ HDDに複製できますが、再生はできません。

番組を録画する（つづき）

設定した時間に合わせた画質で録画する（ぴったり録画）

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

設定した時間（ディスクの残量内）に合わせて自動的に最適な画質で録画できます。

停止中

❶ 機能選択 **押す**

機能選択画面（☞69ページ）が表示されます。

❷ **［▲▼◀▶］で** ぴったり録画 **を選び、** 決定 **押す**

❸ **［◀▶］で“時間”または“分”を選び、［▲▼］で録画時間を変更する**

❹ **録画を始めたい場面で、［▲▼◀▶］で「録画開始」を選び、** 決定 **押す**

録画が始まります。

お知らせ

- 録画中に［**表示切換**］を押すと、残りの録画時間を表示します
- 一時停止中に、チャンネルや録画モードの変更はできません。
- 一時停止を繰り返すと、残りの録画時間が短くなる場合があります。
- 6時間をこえて設定することはできません。

録画中にテレビ番組を見る

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

録画中の映像に影響はありません。

❶ DVD▮▮テレビ **“テレビ”**にする

テレビに向けて

❷ テレビ入力 押し、テレビの入力を**「テレビ」**にする

❸ チャンネル 押し、チャンネルを選ぶ

- **数字ボタン（1〜12）**で選ぶこともできます。
  例）「5」： ⑤

録画しながら再生する

録画中の番組を先頭から見る（追っかけ再生）

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

録画を続けながら、番組の先頭から再生することができます。

録画中

 再生 **押す**

■ 再生や録画を停止するには

1.［■］（停止）を押す
再生のみ停止します。

約2秒以上たったあとで

2.［■］（停止）を押す
録画が停止します。
予約録画を停止するには、［⏲］（タイマー切／入）を押す

お知らせ

- 早送り中、音声は出ません。
- 録画を開始して、約2秒間は追っかけ再生できません。
- 早送りして、録画中の数秒前の映像まで追いついた場合でも、［■］（停止）を押すまで追っかけ続けます。

録画中に他の番組を見る（同時録画再生）

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

録画を続けながら、同じドライブ内のすでに録画してある別番組を再生することができます。

録画中

❶ プログラムナビ **押す**

番組リスト（「プログラムナビ再生」☞39ページ）が表示されます。

❷ **［▲▼］で番組を選び、** 決定 **押す**

■ 再生や録画を停止するには

1.［■］（停止）を押す
再生のみ停止します。

約2秒以上たったあとで

2.［■］（停止）を押す
録画が停止します。
予約録画を停止するには、［⏲］（タイマー切／入）を押す

お知らせ

- 早送り中、音声は出ません。
- 同時録画再生中は番組の編集（☞56ページ）はできません。

録画中に場面を探して見る（タイムワープ）

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

録画を続けながら、録画中の番組や録画済の番組で見たい場面を探して見ることができます。

録画中

❶   タイムワープ **押す**

- 30秒前に戻って再生を始めます。録画画面に再生画面を重ねて表示し、再生画面の音声を出力します。
- 3秒以上押すと、録画画面に再生画面を重ねて表示しつづけることができます。

5秒以内に

❷ **［▲▼］で、再生する位置を設定し、** 決定 **押す**

例）5分戻る

［▲▼］を押すたびに1分ずつ（押し続けると10分ずつ）送り［▲］、戻し［▼］します。（HDD：最大999分、DVD-RAM：最大360分）

5秒以上たつと、自動的に再生画面が全面に表示されます。

■ 再生や録画を停止するには

1.［■］（停止）を押す
再生のみ停止します。

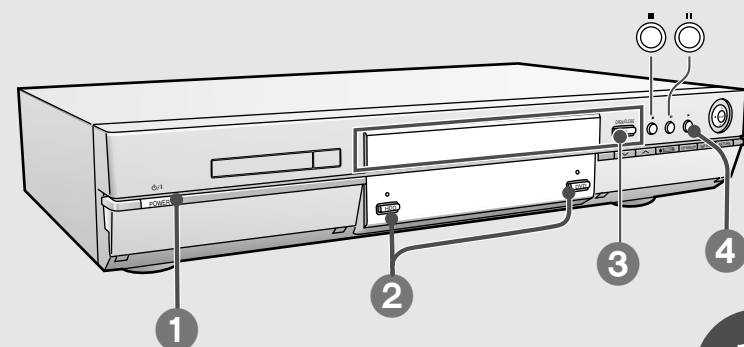
約2秒以上たったあとで

2.［■］（停止）を押す
録画が停止します。
予約録画を停止するには、［⏲］（タイマー切／入）を押す

お知らせ

- 「TVタイプ」を「プログレッシブ（525P）対応」（☞71ページ「接続」）に設定している場合、録画画面と再生画面は同時に表示されません。
- 3秒以上［**タイムワープ**］を押して録画画面に再生画面を重ねて表示しつづける場合は、手順❷は働きません。再生画面には30秒前の映像が表示されます。

再生する

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

■ **HDD（ハードディスク）について**
初めて本機を使用する場合、HDDには何も録画されていません。あらかじめ番組などを録画してから再生をお楽しみください。

1 電源を入れる

DVD 電源

2 ドライブを選ぶ

HDD DVD

（☞84ページ「ドライブ」）

- 本体の、HDDまたはDVDのボタンが点灯します。
- HDD（ハードディスクドライブ）とDVDで同時に再生することはできません。

"DVD"を選んだ場合のみ

3 ディスクを入れる

開/閉 ⏏

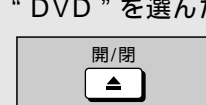
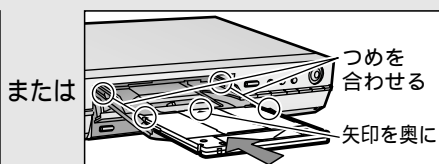
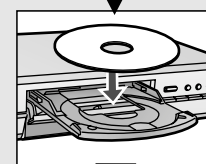
または

開/閉 ⏏

もう一度押すと閉まります。

- ラベル面（両面ディスクでは、再生したい側のラベル面）を上にして入れてください。
- 両面ディスクは、両面に連続して再生をすることはできません。いったんディスクを取り出し、裏返してください。
- 8 cm DVD-RAMの場合、カートリッジからディスクを取り出し、みぞに合わせてディスクを入れてください。
- HDD選択中にディスクを入れると、DVD側でディスク読み込み中に本体の「DVD」ボタンが点滅します。
- カートリッジのプロテクト（☞76ページ）を設定している場合、[⏏]（開／閉）を押すと、自動的に再生が始まります。 RAM

4 再生を始める

再生 ▶

（読み込みには多少時間がかかります）

- 続き再生メモリー機能（☞36ページ）がはたらいていない場合は、最も新しい番組を再生します。
- ディスク先頭（番組1やチャプター1、タイトル1など）から再生したい場合は、「機能選択を使って操作する」（☞69ページ）で「頭から再生」を選んでください。

表示窓（例：DVD-RAM）

点灯

■ **停止する**

停止 ■ **押す**

■ **一時停止する**

一時停止 ⏸ **押す**

もう一度押すと再生を再開します。

お知らせ

- 再生中、他のドライブを選ぶと、再生は停止します。DVDビデオの場合、他のドライブを選ぶとメニュー画面で設定した内容が元に戻る場合があります。
- ディスクが入っているときは、DVDドライブを選び、[▶]（**再生**）を押すと自動的に電源が入り、再生が始まります。
- [■]（**停止**）を押すと右のような画面が表示されることがあります。このとき、もう一度[■]（**停止**）を押すと、本機のチューナーを使ってテレビを見ることができます。
- 音声のみのトラックを含むディスクを再生した場合、直前に再生していたディスクの映像がそのまま表示されることがあります。
- DVDビデオ再生時は、テレビ放送などに比べて音量が小さく感じられます。再生したときにテレビの音量を上げた場合は、突然大きな音が出ることがあります。**テレビ放送に切り換える前に元の音量に戻してください。**

メニュー画面が表示されたら DVD-V VCD

VCD

DVD ▮▮ テレビ　"**DVD**"にし、リモコンの**数字ボタン（0、1〜9）を押す**

例）「5」：[**0**] → [**5**]
「15」：[**1**] → [**5**]

DVD-V

[▲▼◀▶] で項目を選び、決定 押す

- リモコンの**数字ボタン（0、1〜9）**で項目を選べるディスクもあります。

■ **再生中、メニュー画面に戻すには**

トップメニュー や メニュー DVD-V または リターン VCD を押す。

お願い

メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは[■]（**停止**）を押して停止させてください。

お知らせ

- 画面に"⃠"が表示されたときは、ディスクまたは本機で禁止されているため、その操作はできません。
- 操作方法はディスクによって異なることがあります。

手順❶〜❸の説明は、特に必要のない限り、36ページ以降では記載していません。

再生する（つづき）

止めた位置から再生する（続き再生メモリー機能）

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

再生中 停止 を押すと、止めた位置が記憶されます。

本体表示窓の“PLAY”が点滅中に 再生 を押すと、止めた位置から再生します。

お知らせ

止めた位置は、電源を切ると消去されます。HDD以外では、トレイを開けると解除されます。

■ 続き再生機能を解除するには

“PLAY”の点滅が消えるまで数回 [■]（停止）を押す

■ 電源を切った後でも続き再生を行うには

再生中
1. ［ポジションメモリー］を押す
電源を切った後、
2. ［電源］（DVD）を押して電源を「入」にし、[▶]（再生）を押す

［ポジションメモリー］を押した位置から再生が始まり、記憶された位置は、この時点で消去されます。

ポジションメモリーについて RAM

- ディスクプロテクト（☞54ページ）やカートリッジのプロテクト（☞76ページ）を設定している場合、位置を設定できません。
- 設定後、プロテクトを設定した場合は、ディスクを取り出しても消去されません。プロテクトを解除した後一度再生すると消去されます。

録画したDVD-Rを他の機器で再生する

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

本機で録画したDVD-Rにファイナライズを行う（☞54ページ）と、DVD-R再生に対応した機器で再生ができます。
本機で入力したタイトルは、メニューに表示されます。

本機でファイナライズされたDVD-Rは、当社のDVD-R対応のDVDプレーヤーで再生可能となりますが、すべての再生を保証するものではありません。ご使用いただくDVDプレーヤー、DVD-Rディスクや記録状態などによっては再生できない場合があります。この場合、DVD-Rディスクは本機でお楽しみください。録画したDVD-Rの再生互換などのDVD関連情報は当社ホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/dvd/index.html)

番組やCMを飛ばして再生する

番組や場面、曲を飛びこす（スキップ）

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

再生中または一時停止中

スキップ ⏮ ⏭ **押す**

押した回数だけ番組、場面や曲を飛びこします。

お知らせ

- メニュー付きディスクの場合、押すとメニュー画面に戻ることがあります。
- マーカー（☞42ページ）が記録されている場合はマーカー位置へ飛びこします。 HDD RAM DVD-R

番組や場面、曲の番号を指定して再生する

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

再生中

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ **押す**

HDD
例）「5」： [0] → [0] → [5]
「15」： [0] → [1] → [5]

HDD 以外
例）「5」： [0] → [5]
「15」： [1] → [5]

選んだ番組や場面、曲から再生が始まります。

お知らせ

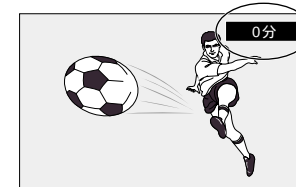
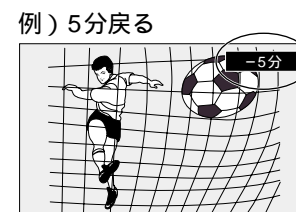
- 停止中（テレビ画面に右のマークが出ているとき）でのみ働くディスクもあります。
- ディスクや再生状態によって指定したとおりに働かないことがあります。

お好みの時間だけ飛ばして再生する（タイムワープ）

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

再生中

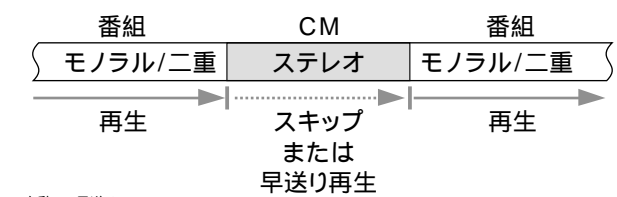
押す

例）5分戻る

[▲▼]を押すたびに1分ずつ（押し続けると10分ずつ）送り[▲]、戻し[▼]します。（HDD：最大999分、DVD-RAM、DVD-R：最大360分）

CMを飛ばして再生する（自動CM早送り）

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

録画された番組が「モノラル放送」または「二重放送（2カ国語放送など）」で、CMが「ステレオ放送」のときに、働きます（HDD：最大450個、DVD-RAM：最大49個）。

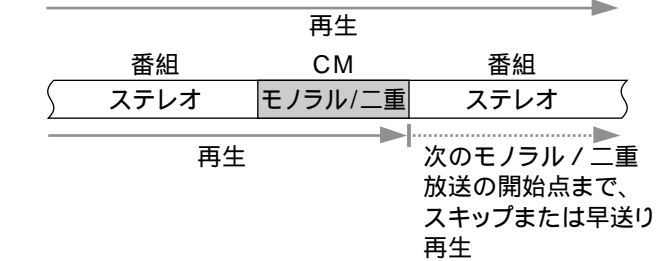
番組	CM	番組
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重
再生	スキップ または 早送り再生	再生

自動CM早送り **押して、**

「自動CM早送り 入」を表示する

押すたびに、
自動CM早送り 切 ⟷ 自動CM早送り 入

お知らせ

- 電源を切ると自動CM早送りを解除します。
- CM中に押したときは、そのCMの間は正しく働きません。
- 番組やCMの前後が少し切れることがあります。
- CMが5分未満の場合はスキップ、5分以上ある場合は早送り再生（10倍速）になります。
- **次のような場合は、正しく働きません。**
  - 本機で録画していないディスク
  - 外部入力から録画した番組
  - 「高速」以外の録音モードで、HDDからDVDへダビングした番組
  - 番組とCMが以下のように構成されているディスク

番組	CM	番組
ステレオ	ステレオ	ステレオ
再生		

番組	CM	番組
ステレオ	モノラル/二重	ステレオ
再生		次のモノラル／二重放送の開始点まで、スキップまたは早送り再生

約30秒飛ばして再生する（マニュアルスキップ）

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

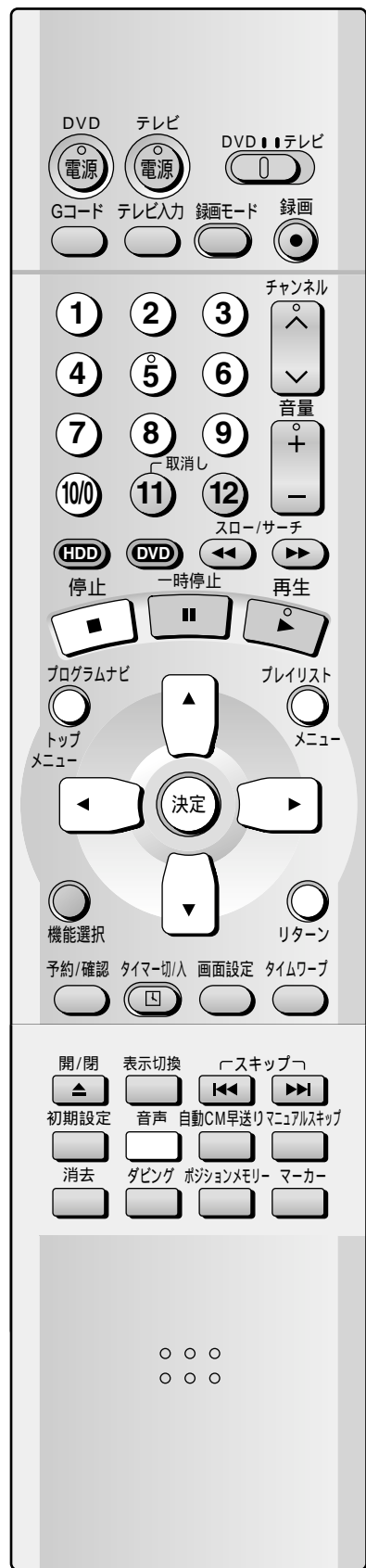
自動CM早送りが働かないときなどに使うと便利です。

再生中

マニュアルスキップ **押す**

押すたびに、約30秒飛ばして再生します。

再生する（つづき） 再生 番組やCMを飛ばして再生する

DVD テレビ 電源 電源 DVD テレビ
Gコード テレビ入力 録画モード 録画
チャンネル
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12
音量 取消し スロー/サーチ
HDD DVD 停止 一時停止 再生
プログラムナビ プレイリスト
トップメニュー メニュー 決定
機能選択 リターン
予約/確認 タイマー切/入 画面設定 タイムワープ
開/閉 表示切換 スキップ
初期設定 音声 自動CM早送り マニュアルスキップ
消去 ダビング ポジションメモリー マーカー

音声の種類を切り換える

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

本機で受信中または再生中の音声は、ステレオ放送のときは「ステレオ」音声が、二重放送のときは「主音声」が自動的に選ばれます。(2カ国語オート再生)
複数の音声が収録されているDVDビデオの音声を切り換えることもできます。

音声 **押す**

押すたびに、以下のように切り換わります。

音声の種類	テレビ画面		出力される音声
	受信中	再生中	
ステレオ	ステレオLR	音声LR	ステレオ
	ステレオL	音声L	左
	ステレオ R	音声 R	右
二重（2カ国語など）	二重LR	音声LR	主＋副
	二重L	音声L	主
	二重 R	音声 R	副

- モノラル音声を受信、再生する場合、切り換えに関係なくすべてモノラルとなります。
- DVDビデオの音声はディスクに収録されている音声が切り換わります。
- 外部入力から二重音声を録音する場合、本機で再生した場合に音声を正しく切り換えられるように、接続する機器側で主音声と副音声を同時に出力してください。

お知らせ

- 電源を切ると解除されます。
- 音声を切り換えても、録画中の音声には影響しません。
- 以下の場合は音声が切り換えられません。
  ①DVDドライブ選択時、DVD-Rがディスクトレイにある場合。
  ②「記録音声モードの設定[XP時]」(☞71ページ)で「LPCM」に設定され、録画モード「XP」が選択されている場合。
  ①や②で二重音声を録音するときには、録音時の音声をあらかじめ選んでください。
  「DVD-R、LPCM二重放送音声記録の設定(☞71ページ「音声」)」
- 本機では、BS放送の独立音声を聞くことはできません。
- 録画や再生の条件によっては2カ国語オート再生が正しくはたらかないことがあります。
- 音響機器と光デジタルケーブルのみで接続した場合、「Dolby Digital」が「Bitstream」になっていると二重音声などを切り換えできません。以下のどちらかの方法で切り換えられるようになります。
  - 「Dolby Digital」を「PCM」にする(☞71ページ「音声」)
  - 音声コード(別売)も音響機器に接続(☞21ページ「音声入力に接続する」)し、音響機器側で入力を切り換える。

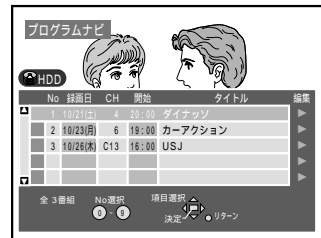
プログラムナビ再生

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

録画した番組のリスト(プログラムナビ)から、番組を選んで再生することができます。

再生中、停止中

1 プログラムナビ **押す**

リスト背景では、現在選択中の番組を再生します。

2 **[▲▼]で番組を選び、** 決定 **押す**

- リストが消え、背景画面を続けて再生します。
- 番組リストでは、入力したタイトルのすべては表示されません。
- **数字ボタン(0、1〜9)**で選ぶこともできます。

HDD
例)「5」: [0] → [0] → [5]
「15」: [0] → [1] → [5]

HDD 以外
例)「5」: [0] → [5]
「15」: [1] → [5]

■ 再生をやめるには

[■](停止)を押す

■ 番組リストを消すには

[リターン]を押す

■ 番組リストの絵表示について

:プロテクトを設定
:コピー(ダビング)禁止指示がある番組(CATV放送など)
X :再生できない番組
:録画中
:HDDに代替して録画された番組 HDD (☞49、51ページ「リリーフ録画」)
:録画が一世代のみ許された番組 HDD

プレイリスト再生

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

プレイリストを作っていない場合は再生できません。「プレイリストを作る」を行ってください。(☞59ページ)

プレイリストを再生する

停止中

1 プレイリスト **押す**

2 **[▲▼]で プレイリストを選び、** 決定 **押す**

再生が始まります。
- プレイリスト一覧では、入力したタイトルのすべては表示されません。
- **数字ボタン(0、1〜9)**で選ぶこともできます。
  例)「05」: [0] → [5]、「15」: [1] → [5]

■ 再生をやめるには

[■](停止)を押す
プレイリスト一覧が表示されます。

■ プレイリストを消すには

[リターン]を押す

プレイリストのシーンを再生する

停止中

1 プレイリスト **押す**

2 **[▲▼] で 再生したいシーンを含むプレイリストを選び、[▶](カーソルボタン)を押す**

3 **[▲▼] で "シーン再生" を選び、** 決定 **押す**

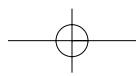
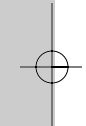
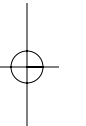
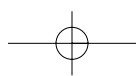
4 **[▲▼◀▶] で シーンを選び、** 決定 **押す**

再生が始まります。
- 10以上シーンがある場合は、**[▲▼◀▶]**で"◀前頁"または"次頁▶"を選び、**[決定]**を押すと前または次のページを表示します。
- **数字ボタン(0、1〜9)**でページを選ぶこともできます。
  例)「5」: [0] → [0] → [5]
  「15」: [0] → [1] → [5]

■ 再生をやめるには

[■](停止)を押す
シーン一覧が表示されます。

■ プレイリストのシーン一覧を消すには

[リターン]を押す

静止画再生

CARD HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

PCカードの出し入れ

PCカードのそう入や取り出しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

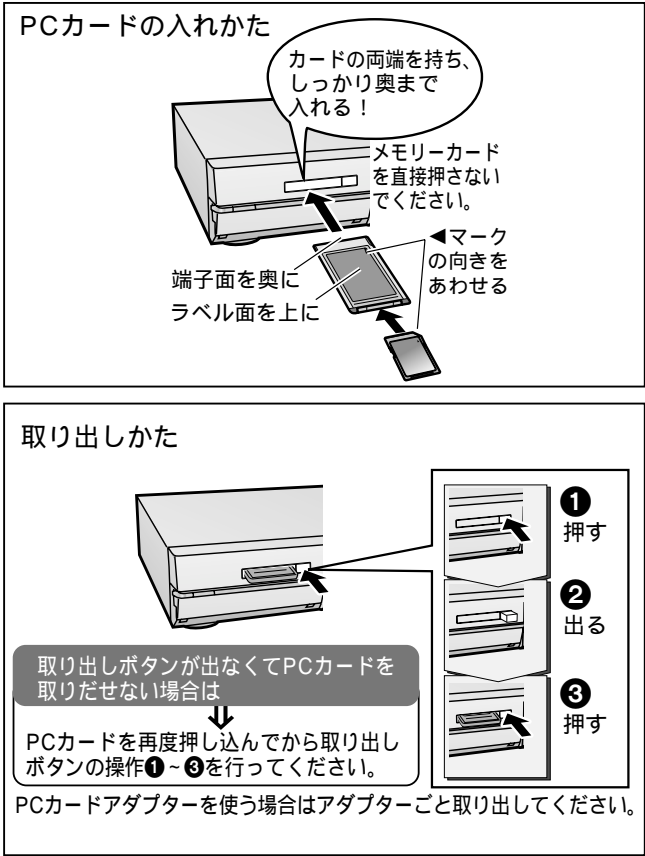
表示窓のCARD点滅中は、カードの読み込み、書き込みを行っています。電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。本体が正常に動作しない場合や、カードの内容が破壊されたりすることがあります。

PCカードの入れかた

取り出しかた

取り出しボタンが出なくてPCカードを取りだせない場合は

PCカードを再度押し込んでから取り出しボタンの操作❶〜❸を行ってください。

PCカードアダプターを使う場合はアダプターごと取り出してください。

お知らせ

- 静止画選択画面の表示中は、ディスクの取り出しはできません。
- フォルダー覧画面に表示される“画像”や“ファイル”の数字は、選択されたフォルダ内での数です。下位にあるフォルダは含みません。

静止画を一覧で表示する（アルバム表示）

PCカードやHDD、DVD-RAMで選択されたフォルダ内の静止画を一覧で表示したり、一枚ずつ表示したりできます。

停止中

❶ 機能選択 押す

❷ [▲▼◀▶] で“静止画（JPEG）”を選び、決定 押す

❸ **表示する静止画のフォルダを選択する**

1. [▲▼] で“入力選択”を選び、[決定]を押す

ドライブ内のフォルダー覧を表示します。

2. [◀] と [▲▼] でドライブを選び、[▶]（カーソルボタン）を押す
3. [▲▼] で静止画のフォルダを選び、[決定]を押す

❹ [▲▼] で“アルバム表示”を選び、決定 押す

フォルダ内の静止画一覧を表示します。

■ 静止画を一枚ずつ表示するには

[▲▼◀▶] で静止画を選び、[決定] を押す

- 10以上静止画がある場合は、[▲▼◀▶] で“◀前頁”または“次頁▶”を選び、[決定] を押すと前または次のページを表示します。
- **数字ボタン（0、1〜9）**でページを選ぶこともできます。
  例)「5」: [0] → [0] → [5]
  「15」: [0] → [1] → [5]

■ 静止画の表示をやめるには

[リターン]を押す

- 静止画一覧（最初に選択した画面）が表示されます。

■ 前後の静止画を選ぶには

静止画表示中、
[◀▶] を押す
[▶]：後の静止画　**[◀]**：前の静止画
- 押すたびに切り換わります。

静止画を次々と表示する（スライドショー）

選択されたフォルダ内の静止画を、一定の間隔で次々と表示します。表示する間隔を1秒単位で変えることができます。

停止中

❶ 機能選択 押す

❷ [▲▼◀▶] で“静止画（JPEG）”を選び、決定 押す

❸ **表示する静止画のフォルダを選択する**

1. [▲▼] で“入力選択”を選び、[決定]を押す

ドライブ内のフォルダー覧を表示します。

2. [◀] と [▲▼] でドライブを選び、[▶]（カーソルボタン）を押す
3. [▲▼] で静止画のフォルダを選び、[決定]を押す

❹ [▲▼] で“スライドショー”を選び、決定 押す

フォルダ内の静止画を番号順に表示します。

■ 表示間隔を変えるには

1. 手順❸のあと [▲▼] で“設定”を選び、[決定]を押す
2. [▲▼] で“スライドショー間隔”を選ぶ
3. [◀▶] で表示する間隔（0秒〜30秒）を設定する（1秒単位で設定できます。）
4. [決定] を押す

■ スライドショーをやめるには

[リターン]を押す
メニュー選択画面が表示されます。

■ 前後の静止画を選ぶには

静止画表示中、
[◀▶] を押す
[▶]：後の静止画　**[◀]**：前の静止画
- 押すたびに切り換わります。

こんなこともできます

■ 静止画を消去する（実行すると元に戻すことはできません。）

静止画表示中、
1. [消去] を押す
2. “消去”を選び、[決定]を押す

■ 画像を回転させる

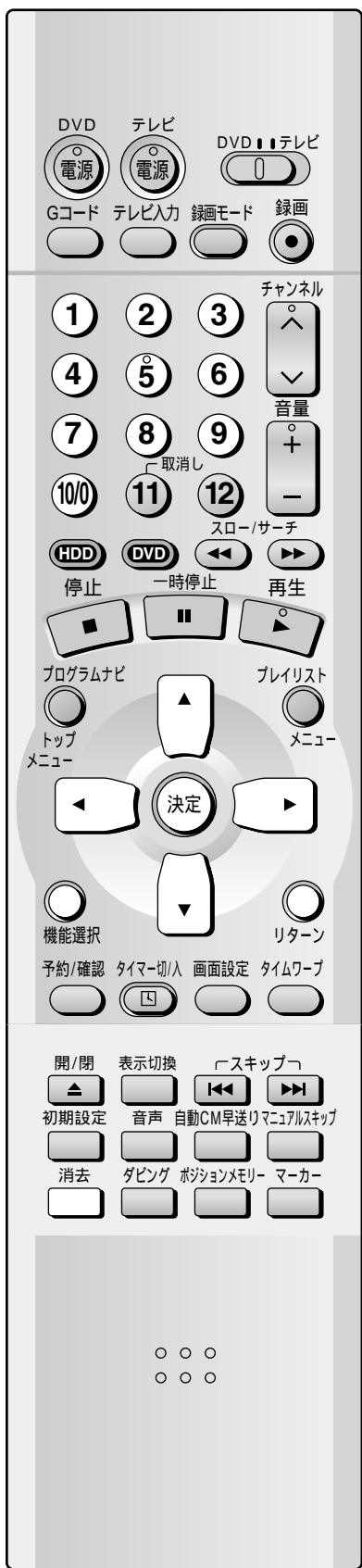
静止画表示中、
1. [決定] を押す
2. [▲▼] で“右90°回転”または“左90°回転”を選び、[決定] を押す

- 静止画全体を回転させて表示します。
- 「回転」の情報は保存されません。

■ 静止画の情報を見る

静止画表示中、
[決定]を押す
“日付”や“フォルダ（番号）”－“ファイル（番号）”、“枚数”が表示されます。

■ フォルダにタイトルを付ける

手順❸のあと、タイトルを入力できます。
☞58ページ「タイトルを入力する」
- 本機で付けたフォルダのタイトルは、本機でのみ表示されます。

いろいろな再生

指定した位置から再生する（マーカー）

再び楽しみたい位置にマーカーを付け、後でそこから再生できます。
HDD RAM DVD-R（最大999カ所）
DVD-V CD VCD（最大5カ所）

マーカーを付ける

再生中
マーカーを付けたい位置で、マーカー **押す**
または 画面設定の画面でマーカーを付けることもできます。下記手順❹で、[◀▶]で"＊"を選び、マーカーを付けたい位置で[決定]を押す

マーカーを付けたところから再生するには

❶ 画面設定 **押す**
画面設定（☞66ページ）の画面が表示されます。
❷ **[▲▼]で"再生"を選び、[▶]を押す**
❸ **[▲▼]で"マーカー"を選ぶ**
例）DVD-RAM
1—10 1＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
❹ **[◀▶]で数字を選び、決定 押す**
● マーカーを付けた位置から再生されます。

HDD RAM DVD-R
（11カ所以上マーカーがある場合のみ）
1. [◀▶]で、"1-10"を選び、[▲▼]で"11-20"を選ぶ
2. [▶]（カーソルボタン）を押す

■ **マーカーを取り消すには**
手順❹で、[◀▶]で数字を選び、[取消し]を押す
■ **画面を消すには**
[リターン]を押す

お知らせ
● 下記の場合は、マーカーは設定できません。
- 表示窓に経過時間が表示されないとき
- プレイリスト再生中（☞39ページ） HDD RAM
- ディスクプロテクト（☞54ページ）やカートリッジのプロテクト（☞76ページ）が設定されている場合 RAM
● DVDビデオ、CDやビデオCDでは、ディスクを取り出すと、マーカーは消去されます。
● ファイナライズを行うとマーカーは消えます。 DVD-R
● マーカーを付けた位置によっては、字幕が表示されないことがあります。
● マーカー番号はディスクの時間経過順に並べ替えられます。追加や取り消しを行うと、付けたときの番号と、呼び出したときの番号が異なることがあります。 HDD RAM DVD-R
● モノラル放送／二重放送からステレオ放送に切り換わったときも自動的にマーカーが記録されます。 HDD RAM

再生中の番組やプレイリストを消去する

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

番組やプレイリスト、プレイリストのシーンを再生中に消すことができます。

実行すると元に戻すことができません。消してよいか確認してから消去してください。

再生中
❶ 消去 **押す**
確認画面が表示されます。
❷ **[◀]で"消去"または"はい"を選び、決定 押す**

お知らせ
● 同時録画再生中には、働きません。
● 番組を消去してもディスクの残量は増えません。 DVD-R

早送り・早戻しする

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

再生中
スロー/サーチ ◀◀ ▶▶ **押す**（本体では約1秒以上押し続ける）

● 押すたびに速くなります。（5段階）
● **[▶]（再生）**を押すと、通常の再生に戻ります。
● CD以外では早送り1速時のみ音声が聞こえます。音声は消すこともできます。（「早送り時の音声」☞71ページ「音声」）

順不同に再生する（ランダム再生）

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

準備 [DVD]を押して、"DVD"を選ぶ。

停止中
❶ 機能選択 **押す**
❷ **[▲▼◀▶]で"ランダム再生"を選び、決定 押す**
❸ 再生 **押す**

■ **ランダム再生を解除する**
1. **ランダム再生画面**を表示するまで **[■]（停止）**を数回押す
2. **[機能選択]**または**[リターン]**を押す

お好みの順に再生する（プログラム再生）

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

最大100トラック（曲）をお好みの順に再生します。
準備 [DVD]を押して、"DVD"を選ぶ。
停止中
❶ 機能選択 **押す**
❷ **[▲▼◀▶]で"プログラム再生"を選び、決定 押す**
❸ **数字ボタン（0、1～9）でトラックを選ぶ**
トラックの合計時間

例）「5」： [0] → [5]「15」： [1] → [5]
■ **カーソルボタンでトラックを選ぶ**
1. **[決定]**を押す
2. **[▲▼]**で、トラックを選ぶ
"ALL"を選ぶと、全曲を登録します。
3. **[決定]**を押す
続けてトラックを選ぶときは、手順❸を繰り返してください。

❹ 再生 **押す**
プログラム再生が始まります。

■ **プログラム再生画面のページを前後に移動する**
[◀◀]または[▶▶]を押す
■ **プログラムを1つずつ取り消す**
1. **[▲▼]**で、取り消すトラックを選ぶ
2. **[▲▼◀▶]**で、**"クリア"**を選び、**[決定]**を押す
● **[取消し]**を押しても取り消せます。
■ **プログラムを全て取り消す**
1. **[▲▼◀▶]**で、**"オールクリア"**を選ぶ
2. **[決定]**を押す
■ **プログラム再生を解除する**
1. **プログラム再生画面**を表示するまで **[■]（停止）**を数回押す
2. **[機能選択]** または **[リターン]** を押す
登録内容は、電源を切ったり、トレイを開けたり、ドライブをHDDに切り換えたりしても解除されます。

動画をスロー再生する

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

一時停止中
スロー/サーチ ◀◀ ▶▶ **押す**（本体では約1秒以上押し続ける）

● 押すたびに速くなります。（5段階）
● **[▶]（再生）**を押すと、通常の再生に戻ります。
● 戻り方向の操作はできません。 VCD

番組やプレイリストを　複製する（ダビング）

HDD　RAM　DVD-R　DVD-V　CD　VCD

- 番組やプレイリストをもう一方のドライブに複製（ダビング）できます。
- ダビングしたプレイリストは番組となります。
- HDDには最大250番組、DVD-RAMやDVD-Rには最大99番組、ダビングできます。

準備 ●**[HDD]**を押して、“**HDD**”を選ぶ。
- 「ダビング時のアスペクト設定」で映像の表示方法を選べます。（☞70ページ「映像」）
- 録画モード「高速」以外で、二重放送の音声をダビングする場合「DVD-RAMダビング音声の設定」で音声の選択が選べます。（二重放送の音声をDVD-Rにダビングする場合やLPCMで音声をダビングする場合、設定は「DVD-R、LPCM二重放送音声記録の設定」が優先されます）（☞71ページ「音声」）

❶ 停止中 機能選択 押す

❷ [▲▼◀▶] で“ダビング”を選び 決定 押す

例）HDDからDVD-RAMへダビングする場合

ダビングリスト表示欄

❸ ダビング方向を選ぶ

①「ダビング方向」選択中、**[決定]** を押す
② **[▲▼]** でダビング方向を選び、**[決定]** を押す

❹ ダビングする内容を選ぶ

① **[▲▼]** でダビングリスト表示欄を選び、**[決定]** を押す
ダビングリストが表示されます。

②**[▲▼]** でリスト中の“ーー ーー：ーー”を選び、**[決定]** を押す
ダビング選択画面が表示されます。

③ **[◀▶]** で“プログラム選択”または“プレイリスト選択”を選ぶ

④ **[▲▼]** でダビングする番組またはプレイリストを選び、**[決定]** を押す
- **数字ボタン（0、1〜9）**でも選ぶことができます。
例）**プレイリストやHDDの番組**
「5」：**[0]** → **[0]** → **[5]**
「15」：**[0]** → **[1]** → **[5]**
DVD-RAMの番組
「5」：**[0]** → **[5]**
「15」：**[1]** → **[5]**
- 手順❹-②〜❹-④を繰り返すと、複数登録できます。（ダビングリストの“合計”の数値が“残量”をこえないようにしてください。）

⑤ **[リターン]** を押す
手順❷に戻ります。

❺ 録画モードを選ぶ

①[▲▼] で「録画モード」を選び、**[決定]** を押す
②[▲▼] で設定したい録画モードを選び、**[決定]** を押す

ダビング方向	録画モードの選択					
	高速	XP※2	SP※2	LP※2	EP※2	FR※2
HDD→RAM	可※1	可	可	可	可	可
HDD→DVD-R	不可	可	可	可	可	可
RAM→HDD	可※3	不可	不可	不可	不可	不可

※1 録画制限のある番組やプレイリストでは選べません。
※2 「自動CM早送り設定」（☞下記）が選べます。
※3 プレイリストは選べません。

❻ 手順❷の画面表示中 [▲▼] で“ダビング開始”を選び、決定 押す

ダビング開始の確認画面が表示されます。**[◀▶]** で“**はい**”を選び、**[決定]** を押すとダビングがはじまります。

■ ダビングをやめるには

[リターン]を約3秒間押し続ける
- 「高速」でダビング中に停止すると、ダビング先の番組は消去されます。その他の録画モードではダビングを停止したところまでが1番組になります。

■ リストの追加や消去をするには

ダビングリスト（手順❹ー②）**表示中、**
1. **[▲▼] でリストを選び、[▶]（カーソルボタン）**を押す
2. **[▲▼]** で項目を選び、**[決定]** を押す

- “**追加**”を選んだ場合、手順 ❹ー③と手順 ❹ー④を行ってください。選んだ番組の上に追加されます。
- “**消去**”または“**全消去**”を選んだ場合、確認画面が表示されます。**[◀▶]** で“**はい**”または“**いいえ**”を選び、**[決定]** を押してください。

ダビングリスト画面に戻ります。

■ 自動CM早送り設定について

（HDD → RAM DVD-R のみ）

「入」を選ぶとCMを飛ばして録画します。
- CMによっては、自動CM早送り設定が正しく働かないことがあり、番組内容を消去してしまう場合があります。録画制限のある番組などでは、あらかじめCMを消去しておくことをおすすめします。（☞56ページ「部分消去」）
- CMが5分以上ある場合は働きません。
- プレイリストには働きません。

お知らせ
- ダビングリストの内容は電源を切っても保持されます。DVD側では[⏏]を押すと消去されます。ただし、番組やプレイリストを消去すると、ダビングリストがすべて消去されます。
- ダビング中は予約録画の実行ができません。
- ダビング元の録画モードより高画質の録画モードを選んでも、ダビング元の画質よりもよい画質を得ることはできません。（ダビング時の画質劣化を防ぐ効果はあります。）
- 番組のダビング時には、その番組から作られたプレイリストはダビングされません。
- 番組の設定（プロテクトなど）はダビング先に反映されます。（「高速」以外の録画モードに設定した場合、マーカーは反映されません。）
- 番組中やプレイリスト中の静止画（ダビング選択画面に ☒ と表示）はダビングできません。 RAM

録画の制限について

録画回数に制限のある番組を録画したりダビングしたりするには、媒体（ドライブ・ディスク）と番組の組み合わせにより、制限のある場合があります。

録画制限	複製・移動できる媒体
なし（録画回数に制限がない）	HDD 複製→ RAM DVD-R
	RAM 複製→ HDD
	DVD-R 複製→ ✕ 複製できません。
あり（一世代だけ録画が許されている）	HDD 移動→ RAM
	RAM 複製→ HDD ※3
	✕ DVD-Rには録画できません。

※3 HDDに複製できますが、再生はできません。
- 録画制限のある番組をHDDからDVD-RAMにダビングすると、「移動（番組を他の記録媒体に移すこと）」します。移動元の番組（その番組から作られたプレイリストのシーンを含む）は消去されます。ダビングリストでは録画制限のある番組が入ると、“ ⇨ ”（移動）が表示され、ダビングするときはメッセージ画面が表示されます。
- 録画制限のある番組とプレイリストは同じダビングリストに登録できません。
- 録画制限のある番組から作られたプレイリストはダビングできません。

ワンタッチダビング（HDD→DVD）

HDDで再生中の番組やプレイリストを、ダビング画面を表示しなくてもDVDにダビングできます。

準備 **[HDD]**を押して、“**HDD**”を選ぶ。

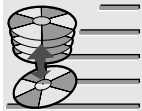
❶ 再生中または一時停止中 ダビング 押す

確認画面が表示されます。

❷ [◀▶] で“はい”を選び、決定 押す

■ ダビングをやめるには

[リターン]を約3秒間押し続ける
- ダビング中に停止すると、ダビング先の番組は消去されます。「高速」以外の録画モードではダビングを停止したところまでが1番組になります。

お知らせ
- 番組リスト画面やプレイリスト一覧の表示中にも働きます。（☞39ページ）
- DVD-RAMでは録画モード「高速」で、DVD-Rではダビング元の録画モードでダビングします。ただし、以下の場合は自動的に「FR」に切り換わります。
-ダビング元の録画モードでディスクに収まらない場合
-プレイリストをダビングする場合
- 「自動CM早送り設定」は使えません。
- ダビング中は予約録画の実行ができません。
- 録画制限のある番組（その番組から作られたプレイリストも含む）はダビングできません。

接続した機器から録画する

ビデオからダビングする

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

外部入力に接続（☞21ページ「ビデオやビデオカメラと接続する」）したビデオやビデオカメラからの映像や音声を録画することができます。

準備
- 後面の外部入力3に接続しているときは、「外部入力３の端子設定」を「ライン」にする。（☞71ページ「接続」）
- ＤＶ機器と接続する場合は、DV入力に接続することをおすすめします。その場合、本機と接続機器の電源を切り、DV入力に接続後、DV機器の電源を入力してください。

停止中

❶   チャンネル **押し、**

接続した外部入力（L1、L2、L3、DV）**を選ぶ**

❷ 録画モード **押し、**

録画モード（XP、SP、LP、EP）**を選ぶ**

❸ 接続した機器で再生を始める

❹ 録画を始めたい場面で、

録画 **押す**

録画が始まります。

■不要な場面を飛ばすには

不要な場面になったら、**[❚❚]（一時停止）**を押す
（もう一度押すと、録画が再開されます。）

■録画を停止するには

[■]（停止）を押す

お知らせ
- 手順❷、❹のかわりに「ぴったり録画」（☞32ページ）を使うと、ビデオの映像を最後まで録画する設定ができます。
- ＤＶ機器によっては、映像や音声が正しく入力されない場合があります。
- ＤＶ機器に接続する場合に記録される音声の種類は、「DV入力の音声の設定」（☞71ページ「音声」）で選べます。

市販のビデオやＤＶＤのソフトのほとんどは、録画禁止処理がされています。

本機では録画禁止処理のされたソフトは録画できません。

DV 入力自動録画

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

本機前面のDV入力端子にDV機器などを接続（☞21ページ「前面に接続する」）して録画すると、番組とプレイリストが自動的に作成（☞59ページ）されます。

準備
- 本機と接続機器の電源を切り、本機のDV入力端子に機器を接続してからそれらの電源を入れる（☞21ページ N）
- 録画したい映像の先頭部分を一時停止状態で表示しておく。

停止中

❶ 録画モード **押し、**

録画モード（XP、SP、LP、EP）**を選ぶ**

❷ 機能選択 **押す**

❸ [▲▼◀▶] で "DV入力自動録画" を選び、

決定 **押す**

DV入力自動録画画面が表示されます。
- 動作中の接続機器は自動的に一時停止の状態になります。

❹ [◀▶] で "録画開始" を選び、

決定 **押す**

録画が始まります。

■ 録画を止めるには

[■]（停止）を押す

■ 録画が最後まで完了すると

自動録画の終了を知らせる画面が表示されます。**[決定]** を押してください。

お知らせ
- 録画が始まらない場合や中断される場合は、接続と接続機器の設定などを確かめてください。
- 録画中は、追っかけ再生や同時録画再生ができません。
- 接続機器のモデル名は、正しく表示されない場合があります。
- "DV接続を認識できません。" とテレビ画面に表示された場合は、DV機器の電源を入れなおしてください。
- 接続したDV機器からの映像がテレビ画面に表示されていない場合は、本機で録画できません。
- 接続した機器を録画中に操作すると、録画が中断される場合があります。
- 接続したDV機器のテープ上のタイムコードが連続していない場合、正しく録画できない場合があります。
- DV機器で撮影時、録画ボタンが押された場合など、映像が連続していない部分にはマーカーが自動的に記録され、プレイリスト自動作成時にシーンの切れ目となります。
- 接続したDV機器のテープ上の日付けや時刻情報は記録されません。
- 記録される音声の種類は、「DV入力時の音声の設定」（☞71ページ「音声」）で選べます。

接続する機器によっては、" DV機器を認識できません。" などと表示され、DV入力自動録画がうまく働かないことがあります。
その場合、「DV自動入力録画」ではなく「ビデオからダビングする」（☞46ページ）**を行ってください。**
DV機器との互換性については、当社ホームページ（☞12ページ）で「DMR-E90H」のサイトをご覧ください。

CS放送などと連動して録画する（EXT LINK録画）

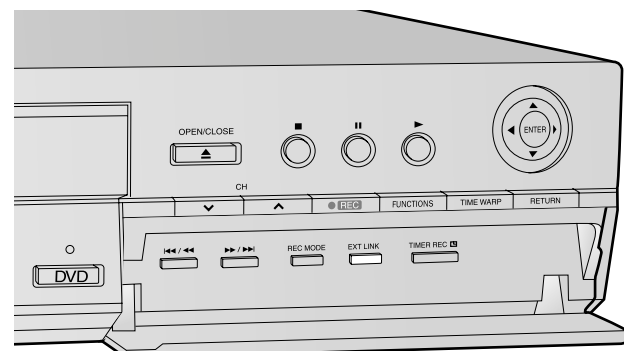
HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

後面の外部入力1（L1）に接続（☞20ページ H）したCSチューナーなどが予約待機の設定できる機器の場合、放送開始と連動して、録画を始めることができます。

準備 接続した機器を予約待機にする。

本体のみ

停止中

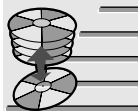
押す

本体表示窓に " EXT Link " と " ⏲ " が表示された後、電源が切れ、EXT LINK録画の待機状態になります。
- 現在選ばれているドライブに録画されます。

■EXT LINK録画の待機状態を解除するには

[EXT LINK] を押す。
本体表示窓の " EXT Link " と " ⏲ " が消えます。

■EXT LINK録画を停止するには

[EXT LINK] を押す。

お知らせ
- 接続した機器からの入力信号を検知して録画を開始するため、番組の始まりが録画されないことがあります。
- EXT LINK録画の待機状態では、予約録画やドライブの切り換え、番組などの編集はできません。

予約して録画する

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

Gコードを使って予約する（Gコード予約）

番組のGコードを入力するだけで簡単に予約できます。
（最大32番組。毎日・毎週予約は1番組として数えます。）

Gコード
テレビ番組欄で記載されている最大8ケタの数字

準備
- 本機の時刻（☞73ページ「時刻合わせ」）、ガイドチャンネル（☞25ページ）が正しいことを確認する。
- ディスクプロテクト（☞54ページ）やカートリッジのプロテクト（☞76ページ）を設定している場合、解除してください。 RAM

❶ Gコード 押す

Gコード入力画面が表示されます。

❷ 数字ボタン（0、1〜9）でGコードを入力する

間違えたときは、[◀] を押してください。

❸ 決定 押す

残量表示

- 予約内容確認画面が表示されます。
- 内容を確認してください。必要に応じて［◀▶］で項目を選び、［▲▼］で内容を変更してください。
- 録画モード（☞31ページ）は［録画モード］を押しても変更できます。

■ 録画先を選択するには
[◀▶]で「録画先」を選び、[▲▼] で“HDD”または“DVD”を選ぶ

■ 番組のタイトルを入力するには
[◀▶]で「タイトル入力」を選び、[決定] を押す
（☞58ページ「タイトルを入力する」）
漢字、ひらがな、全角カナ、全角記号：最大22文字
半角英数：最大44文字

■ “CH”の項目が“G−−”となっているとき

[▲▼] を押して“CH”(予約チャンネル) を合わせ、[決定] を押す
ガイドチャンネルが設定され、予約が完了します。

❹ 決定 押す

予約内容一覧画面が表示されます。

続けて予約する場合は、手順❶〜❹を行ってください。

❺ リターン 押す

予約内容一覧画面が消え、予約待機状態になります。
（本体表示窓に“ ◷ ”が点灯）

電源は切れません。節電のため、[電源](DVD)を押して電源を「切」にすることをおすすめします。

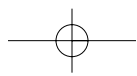
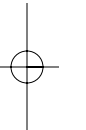
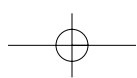
■ 予約待機状態を設定／解除するには
[◷]（タイマー切／入） を押す
押すたびに切り換わります
“◷”が点灯（設定）⟷“◷”が消灯（解除）

■ 予約録画を停止するには
[◷]（タイマー切／入） を押す
（“◷”が消灯）

■ 本体表示窓に“PROG FULL”と表示されたら
すでに32番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。（☞52ページ）

■ 予約の確認や変更、取り消しをする ☞52ページ

お知らせ
- Gコード予約した番組は、実際の放送よりも多少長めに録画される場合があります。
- 録画モードを選ばなかった場合、録画モードは本体で選ばれているモードで予約されます。（ただし、本体で「XP」が選ばれているときは「FR」で予約されます。）
- 予約録画の待機中に録画や再生を行っている場合、録画時刻になると、予約録画が実行されます。
- 複数の番組を連続して録画する場合は、2番目以降の番組の始まりが、HDD、DVD-RAMでは数秒間、DVD-Rでは約30秒間録画されません。
- 開始時刻、終了時刻は、[▲]または[▼]を押し続けると30分単位で変わります。
- 編集やダビング、市外局番チャンネル設定（☞24ページ）のオートサーチ実行中には予約録画は実行できません。（「予約録画待機状態ですが、この動作を実行している間、予約録画は実行されません。」と表示されます）
- 予約録画中は、電源「切」でも本体の録画ランプ（☞11ページ）が点灯します。

リリーフ（代替）録画
録画先に“DVD”が選ばれていると、録画する番組がディスクに入るか、録画開始前に判別します。番組が入りきらない場合、自動的に録画先を“HDD”に変更します。
- HDDの残量が少ない場合、録画できる分のみHDDに録画されます。
- トレイにディスクがないか、録画できないディスクが入っている場合も、HDDへ録画先を変更します。
- 録画モードは変更されません。
- 録画された番組はプログラムナビの番組リスト（☞39ページ）で確認できます。

Gコードを使わずに予約する（テレビ画面予約）

予約日や録画時間などを、テレビ画面を見ながら設定できます。（最大32番組）

❶ 予約/確認 押す

予約内容一覧画面が表示されます。

❷ [▲▼] で"新規予約"を選び、決定 押す

● 予約内容確認画面が表示されます。

❸ [◀▶] で項目を選び、[▲▼] で内容を設定する

残量表示

● 日付や時間、チャンネルは**数字ボタン（0、1～9）**でも入力できます。
● 録画モード（☞31ページ）は［**録画モード**］を押しても変更できます。

■予約する曜日や日の設定

［▲▼］を押すたびに、下記のように変わります。

1カ月以内の予約	当日～1カ月以内を指定
毎日予約	**毎日、同じ番組**を予約 ●毎日（毎週日～土） →月～土（毎週月～土） →月～金（毎週月～金）
毎週予約	**毎週、同じ曜日の同じ番組**を予約 ●毎週日→毎週月→…→毎週土

「毎日予約」、「毎週予約」では、録画先にHDDを選んでいる場合に、オートリニューアル（自動更新）録画の設定ができます。（☞51ページ）

■予約チャンネルの設定

● 必ず表示チャンネルで合わせてください。

［**▲▼**］を押すたびに、下記のように変わります。

UHF/VHF ↔BS ↔CATV↔ 外部入力

■ 録画先を選択するには

[◀▶]で「録画先」を選び、［**▲▼**］で"HDD"または"DVD"を選ぶ

■ 番組のタイトルを入力するには

[◀▶]で「タイトル入力」を選び、［**決定**］を押す（☞58ページ「タイトルを入力する」）

漢字、ひらがな、全角カナ、全角記号：最大22文字
半角英数：最大44文字

❹ 決定 押す

予約内容一覧画面が表示されます。

❺ リターン 押す

予約内容一覧画面が消え、予約待機状態になります。
（本体表示窓に""が点灯）

電源は切れません。節電のため、**[電源](DVD)**を押して電源を「切」にすることをおすすめします。

■ 予約待機状態を設定／解除するには

[⏲]（タイマー切／入）を押す

押すたびに切り換わります

"⏲"が点灯（設定）↔"⏲"が消灯（解除）

■ 予約録画を停止するには

[⏲]（タイマー切／入）を押す

（"⏲"が消灯）

■ 予約の確認や変更、取り消しをする ☞52ページ

お知らせ

● 予約録画の待機中に録画や再生を行っている場合、録画時刻になると、予約録画が実行されます。
● 複数の番組を連続して録画する場合は、2番目以降の番組の始まりが、HDD、DVD-RAMでは数秒間、DVD-Rでは約30秒間録画されません。
● 開始時刻、終了時刻は、**[▲]**または**[▼]**を押し続けると30分単位で変わります。
● 編集やダビング、市外局番チャンネル設定（☞24ページ）のオートサーチ実行中には予約録画は実行できません。（「予約録画待機状態ですが、この動作を実行している間、予約録画は実行されません。」と表示されます）

リリーフ（代替）録画

録画先に"**DVD**"が選ばれていると、録画する番組がディスクに入るか、録画開始前に判別します。番組が入りきらない場合、自動的に録画先を"**HDD**"に変更します。

● HDDの残量が少ない場合、録画できる分のみHDDに録画されます。
● トレイにディスクがないか、録画できないディスクが入っている場合も、HDDへ録画先を変更します。
● 録画モードは変更されません。
● 録画された番組はプログラムナビの番組リスト（☞39ページ）で確認できます。

オートリニューアル（自動更新）録画

ある1つの番組を、「毎週予約」または「毎日予約」を選んで、毎日や毎週繰り返してHDDに予約録画する場合、その録画済みの番組に上書きして録画します。

録画が「毎週予約」または「毎日予約」の場合、手順❹で、

① ［▲▼］で予約を選び、決定 押す

② ［◀▶］で"更新"を選ぶ

③ ［▲▼］で"入"を選び、決定 押す

予約内容一覧画面に戻ります。

お知らせ

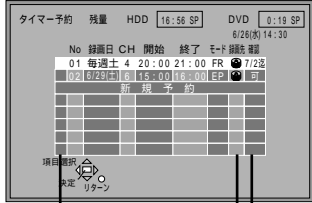
● 自動更新を設定している番組にプロテクトを設定している場合、この番組は自動更新されません。このとき自動更新の対象とする番組は別番組として新たに録画され、次からはその別番組が自動更新されます。
● HDDを再生しているときは、自動更新されません。自動更新の対象とする番組は別番組として新たに録画されます。
● 自動更新される番組から作られたプレイリストのシーンは、自動更新とともに削除されます。
● HDDの残量が少ないときは、同じ予約であっても、最後まで上書き録画されない場合があります。

予約して録画する（つづき）

予約の確認や変更、取り消しをする

予約の確認をするには

予約/確認 押す

予約内容一覧画面が表示され、予約内容の確認ができます。

ディスクフル表示
ディスク残量の不足や録画番組数が一杯のため、録画が完了しなかった番組

コピーガード検出表示
録画禁止の信号が記録されているため、録画が完了しなかった番組

録画失敗表示
F や コピーガード 以外の理由により、録画が完了しなかった番組

録画中表示
録画中の番組

重複予約表示
録画する日付と時刻が重なっている番組

確認
可：現在の残量で、録画が可能な番組
「毎週」、「毎日」の場合は、録画可能な最終日（1ヵ月先まで）を表示

録画中は「確認」の内容は正しく表示されないことがあります。

録画先表示

 HDD

 DVD

オートリニューアル（自動更新）録画表示 HDD
自動で番組が上書き録画される番組

リリーフ（代替）録画表示
残量がないため、HDDに録画先が変更になった番組
予約録画実行中に表示

予約の変更をするには

1. 予約/確認 **を押す**

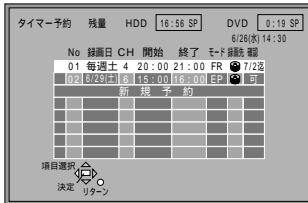
2.［▲▼］を押して予約を選び、 決定 **を押す**

☞50ページ手順❸～❹を行ってください。

予約の取り消しをするには

1. 予約/確認 **を押す**

2.［▲▼］を押して予約を選び、

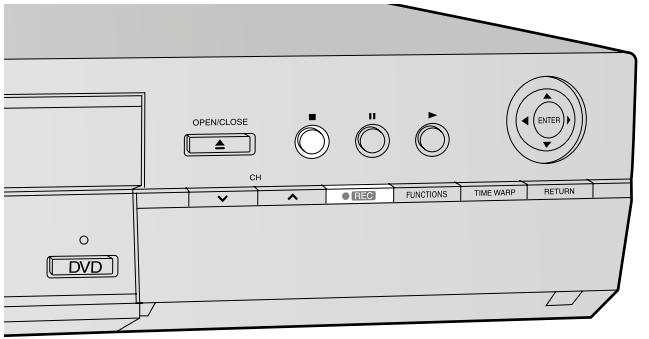
取消し 11 **を押す**

■ **予約内容一覧画面を消すには**
［リターン］を押す

■ **予約待機状態を設定／解除するには**
［🕓］**（タイマー切／入）**を押す
押すたびに切り換わります
"🕓"が点灯（設定）⟷ "🕓"が消灯（解除）

■ **予約録画を停止するには**
［🕓］**（タイマー切／入）**を押す
（"🕓"が消灯）

お知らせ
- 予約録画中の番組以外は、予約録画中に内容の変更、取り消しができます。予約録画中の番組は、録画モードが「FR」以外なら予約終了時刻の変更ができます。
- 電源「切」時でも［予約／確認］を押すと予約の確認ができます。
- 実行できなかった予約は灰色で表示され、翌々日の午前4時には予約一覧確認画面から自動的に消去されます。
- 予約が重複している場合、開始時刻の早い予約が先に実行されます。実行後、次の予約で重複していない部分がある場合、別番組として録画されます。
- ［◀▶］を押すと、予約一覧確認画面でページ送り／戻しができます。
- 予約は**数字ボタン（0、1～9）**でも選ぶことができます。

終了時刻を指定して録画する（終了時刻予約録画）

指定した録画終了時刻になると、自動的に録画が停止し、電源が切れます。急なお出かけの際や、おやすみになる前などに、簡単な予約録画としてお使いください。

本体のみ

録画中
● REC **押す**

押すたびに、30分ずつ録画終了時刻が増えます。

30分先 → 60分先 → 90分先 → 120分先
→ OFF−− −−：−− −−（延長しない）

■ **終了時刻の指定を解除するには**
録画中に、［●］（REC）を数回押し、本体表示窓に"OFF −− −−：−− −−"を表示させる。

■ **録画を停止するには**
［■］（停止）を押す
- 録画が停止し、指定した録画終了時刻も解除されます。

お知らせ
- 予約録画中やぴったり録画時には指定できません。
- 録画の一時停止中に予約の内容（チャンネルや録画モード）を変更した場合、録画終了時刻の設定は解除されます。

HDD、ディスクを編集する (ディスク管理)

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

準備 [HDD]または[DVD]を押して、ドライブを選ぶ

停止中

機能選択 **押す**

[▲▼◀▶] で

を選び、

決定 **押す**

項目選択画面が表示されます。
例）DVD-RAM

DVD ディスク管理 番組数 7 残量 0:42 (SP) 録画時間 0:58 マーカー数 10
ディスクタイトル入力
ディスクプロテクト オフ
全番組消去
フォーマット

[▲▼] で編集する項目を選び、

決定 **押す**

ディスクタイトル入力

☞58ページ「タイトルを入力する」

RAM DVD-R

漢字、ひらがな、全角カナ、全角記号：最大32文字。(DVD-R：最大20文字)
半角英数：最大64文字。(DVD-R：最大40文字)

お願い
ディスクプロテクト（☞下記）やカートリッジのプロテクト（☞76ページ）を設定している場合、解除してください。 RAM

ディスクプロテクト

RAM

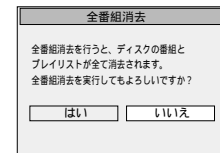
番組を誤って消去しないようにディスクに書き込み禁止（プロテクト）の設定ができます。

[◀] で プロテクト設定 または プロテクト解除 を選び、 決定 **押す**

プロテクト設定すると“ オン ”が表示されます。

全番組消去

HDD RAM

番組とプレイリストをすべて消去します。

お願い
ディスクプロテクト（☞上記）やカートリッジのプロテクト（☞76ページ）を設定している場合、解除してください。 RAM

消去する番組から作られたプレイリストも含み、実行すると元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

[◀] で はい を選び、 決定 **押す**

[◀] で 実行 を選び、 決定 **押す**

消去が始まります。

お知らせ
- パソコンのデータや静止画は消去されません。
- 番組にプロテクトを設定していても消去されます。

HDDフォーマット

HDD

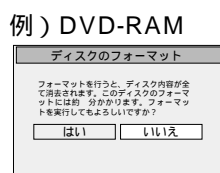
HDDの内容をすべて消去します。

フォーマット

RAM

フォーマットされていないディスクを使う前や、ディスクの内容をすべて消去したいときに行います。

例）DVD-RAM

ディスクのフォーマット
フォーマットを行うと、ディスク内容が全て消去されます。このディスクのフォーマットには約1分かかります。フォーマットを実行してもよろしいですか？
はい いいえ

実行するとディスクに記録された内容（パソコンのデータや静止画も含む）はすべて消え、元に戻すことができません。すべて消してよいか確認してからフォーマットしてください。

[◀] で はい を選び、 決定 **押す**

[◀] で 実行 を選び、 決定 **押す**

フォーマットが始まります。

“ フォーマット中です… ”と表示されているときは、絶対に電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。 ディスクが使えなくなることがあります。
終了すると、メッセージが表示されます。

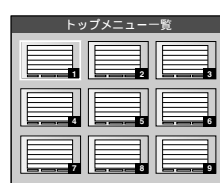
■フォーマット実行中に中止するには RAM
[リターン] を押す
（実行中の時間が2分以上になった場合に中止することができます。ただし、途中でフォーマットを中止したディスクは、再度フォーマットを行わないと使えません。）

お願い
ディスクが汚れている場合は、専用のクリーナーできれいに拭いてからフォーマットしてください。（☞76ページ） RAM

お知らせ
- フォーマットには、DVD-RAMでは最大約70分（HDDでは最大約1分）かかる場合があります。
- フォーマットすると、番組やディスクにプロテクトを設定していても消去されます。 RAM
- DVD-RやCD-R/RWはフォーマットできません。
- カートリッジのプロテクト（☞76ページ）を設定しているとフォーマットできません。 RAM
- フォーマットできないディスクは、本機では使えない場合があります。 RAM

トップメニュー

DVD-R

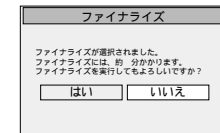
ファイナライズ後に、再生可能機器でDVDビデオのトップメニューとして表示される背景（9種類）が選べます。

[▲▼◀▶] で 背景を選び、

決定 **押す**

項目選択画面に戻ります。

ファイナライズ

DVD-R

ファイナライズ（☞84ページ）すると、対応したDVDプレーヤーで「DVDビデオ」として再生できます。

[◀] で はい を選び、 決定 **押す**

[◀] で 実行 を選び、 決定 **押す**

ファイナライズが始まります。

“ ファイナライズ中です… ”と表示されているときは、絶対に電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。 ディスクが使えなくなります。
ファイナライズは最大約15分かかる場合があります。
終了すると、メッセージが表示されます。

お知らせ
- 本機以外で録画したDVD-Rはファイナライズできません。
- ファイナライズ後のDVD-Rは録画や編集できません。
- マーカーは登録されません。

■ファイナライズを行うと…、
それまでに録画した映像や音声がDVDビデオ規格に準拠して記録され、DVDビデオとなります。
- 5分以上録画した番組は、約5分ごとに「チャプター」として分割されます。
- 本機でファイナライズされたDVD-Rは、当社のDVD-R対応のDVDプレーヤーで再生可能となりますが、すべての再生を保証するものではありません。

ご使用いただくDVDプレーヤー、DVD-Rディスクや記録状態などによっては再生できない場合があります。この場合、DVD-Rディスクは本機でお楽しみください。録画したDVD-Rの再生互換などのDVD関連情報は当社ホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/dvd/index.html)

■途中で終了するには
[リターン] を押す

お知らせ
[▲▼◀▶] で“ キャンセル ”や“ いいえ ”を選び、[決定] を押しても途中でやめることができます。

番組を編集する（プログラムナビ）

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

準備 [HDD]または[DVD]を押して、ドライブを選ぶ

再生中または停止中

プログラムナビ **押す**

例）DVD-RAM

[▲▼] で番組を選ぶ

- **数字ボタン**で番組を選ぶこともできます。（☞10ページ）

[▶]（カーソルボタン）を押す

[▲▼] で編集する項目を選び、

押す

■リスト画面を消すには
[プログラムナビ] を押す

■途中で終了するには
[リターン] を押す

お知らせ

- [▲▼◀▶] で "キャンセル" を選び、[決定] を押しても途中でやめることができます。
- ディスクプロテクト（☞54ページ）やカートリッジのプロテクト（☞76ページ）を設定していると「内容確認」以外は操作できません。解除してください。 RAM

プログラム消去

HDD RAM DVD-R

消去する番組から作られたプレイリストも含み、実行すると元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

[◀] で 消去 を選び、

押す

選んだ番組が消去されます。

お知らせ

- 短い番組を消去したときは、ディスクの残量が増えない場合があります。
- パソコンのデータは消去できません。
- DVD-Rの番組を消去しても、ディスクの残量は増えません。

タイトル入力

☞58ページ「タイトルを入力する」

HDD RAM DVD-R

漢字、ひらがな、全角カナ、全角記号：最大32文字。（DVD-R：最大22文字）
半角英数：最大64文字。（DVD-R：最大44文字）

お願い

- ディスクプロテクト（☞54ページ）やカートリッジのプロテクト（☞76ページ）を設定している場合、解除してください。 RAM
- 入力した文字がすべて表示されない場合があります。

内容確認

HDD RAM DVD-R

番組の内容（録画日など）が表示されます。

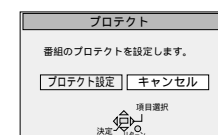
プロテクト

HDD RAM

番組を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定ができます。

[◀] で プロテクト設定 または プロテクト解除 を選び、

押す

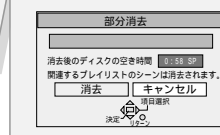
プロテクト設定すると設定した番組に 🔒 が表示されます。

部分消去

HDD RAM

消去する部分から作られたプレイリストのシーンも含み、実行すると元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

消去する部分の開始点（イン点）で **押す**

消去する部分の終了点（アウト点）で **押す**

[▲▼] で 終了 を選び、 **押す**

[◀] で 消去 を選び、 **押す**

[▲▼] で 次へ を選んで [決定] を押し、[◀] で 消去 を選んで [決定] を押す
（消去する部分の数だけ繰り返す。）

- 早送りやスロー再生など、通常の再生時と同様の操作ができます。
- 番組の最後までくると、自動的に一時停止します。
- イン点とアウト点の間が3秒以内の場合は設定されない場合があります。
- イン点はアウト点より後ろには設定できません。アウト点はイン点より前には設定できません。
- 番組中の静止画部分は設定できません。
- 消去した部分が短いときは、ディスクの残量が増えない場合があります。

プログラム分割

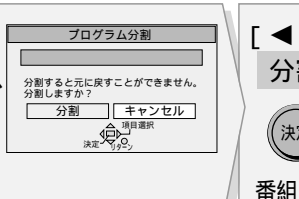
HDD RAM

1番組を分けたい部分（分割点）で2分割できます。

例）DVD-RAM

実行すると元に戻すことができません。分割をしてよいか確認してから行ってください。

分割する部分で **押す**

[▲▼] で 終了 を選び、 **押す**

[◀] で 分割 を選び、 **押す**

番組が分割されます。

■ 分割点を確認するには
[▲▼]で "プレビュー" を選び、[決定] を押す
分割点の前後10秒間を再生します。

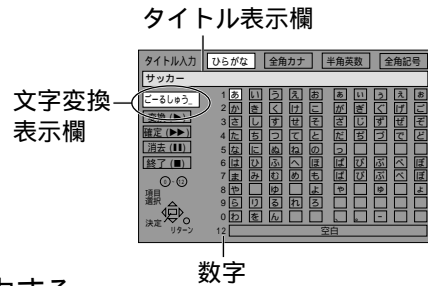
■ 分割点を変更するには
[▲▼]で "分割" を選び、変更したい部分で [決定] を押す

お知らせ

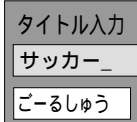
- 分割した番組には分割前のタイトルや録画禁止の情報が反映されます。
- 分割後、前半の番組で、分割点周辺の映像や音声が一部欠ける場合があります。
- 番組数が250番組（HDD）または99番組（RAM）の場合や番組が短い場合、分割できません。

タイトルを入力する

CARD HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

1 タイトル入力画面を表示する
- 「ディスクタイトル入力」(☞54ページ)
- 予約する番組の「タイトル入力」(☞48、50ページ)
- 番組の「タイトル入力」(☞56ページ)
- プレイリストの「タイトル入力」(☞60ページ)
- 静止画フォルダの「タイトル入力」(☞41、63ページ)

タイトル表示欄
文字変換表示欄
数字

2 文字を入力する
(☞右記)
- 「漢字」、「ひらがな」、「全角カナ」、「全角記号」、「半角英数」が入力できます。
- タイトル表示欄では "＿" の部分に文字がそう入されます。

タイトル入力
サッカー_
ごーるしゅう

手順2を繰り返すと、複数の文字を入力できます。

3 [▲▼◀▶] で 終了(■) を選び、 決定 押す

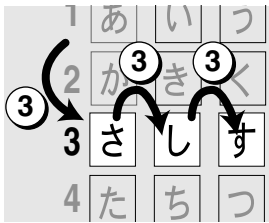
それぞれの画面に戻ります。

お知らせ

ディスクプロテクト(☞54ページ)やカートリッジのプロテクト(☞76ページ)を設定しているとタイトルを入力できません。解除してください。 RAM

■ **カーソルボタンを使わずに文字を入力するには**

数字ボタン(1〜12、0)でも文字を入力できます。
例:ひらがな「す」を選ぶ場合

1. **数字ボタン[3]を押す**
「さ」行に移動します。
2. **数字ボタン[3]を2回押し、[決定]を押す**
「す」が文字変換表示欄に表示されます。

さらに、下記のボタンでは画面の表示を選ばなくても、直接機能が働きます。
[▶] を押す:変換
[▶▶] を押す:確定
[❚❚] を押す:消去
[■] を押す:終了

文字を入力する

■ **ひらがなを入力するには**
1. **[▲▼◀▶]で "ひらがな" を選び、[決定]を押す**
2. **[▲▼◀▶]で文字を選び、[決定] を押す**
文字変換表示欄に文字が表示されます。
3. **[▲▼◀▶]で "確定(▶▶)" を選び、[決定] を押す**
タイトル表示欄にひらがなが表示されます。

■ **漢字を入力するには**
1. **[▲▼◀▶]で "ひらがな" を選び、[決定]を押す**
2. **[▲▼◀▶]で文字を選び、[決定] を押す**
文字変換表示欄に文字が表示されます。
3. **[▲▼◀▶]で "変換(▶)" を選び、[決定] を押す**
文字候補選択画面が表示されます。
4. **[▲▼]で文字を選び、[決定] を押す**
タイトル表示欄に文字が表示されます。
- "前頁" または "次頁" を選び、[決定] を押すと、前または次の文字候補選択画面が表示されます。
- "取消" を選び、[決定] を押すと、タイトル入力画面に戻ります。

■ **全角カナや全角記号、半角英数を入力するには**
1. **[▲▼◀▶]で "全角カナ"、"全角記号" または "半角英数" を選び、[決定]を押す**
2. **[▲▼◀▶]で文字を選び、[決定] を押す**

タイトル表示欄に文字が表示されます。

文字を消去する

1. **[▲▼◀▶]で文字変換表示欄またはタイトル表示欄の文字を選ぶ**
2. **[▲▼]で "消去(❚❚)" を選び、[決定] を押す**
- 文字変換表示欄では末尾の文字が消去されます。
- タイトル表示欄では選んだ文字が消去されます。

プレイリストを作る

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

録画した番組の中から好みのシーンを集めたリスト(プレイリスト)を作ることができます。作成したシーンがもとの番組と別に記録されるわけではありませんので、ディスク容量はほとんど使いません。
プレイリスト:最大99、シーン:最大999

停止中

1 プレイリスト 押す

2 [▲▼] で "－－/－－:－－" を選び、 決定 押す

3 シーンの開始点(イン点)で 決定 押す

例)DVD-RAM

HDD:
番組全体のイン点位置
DVD-RAM:
ディスク全体のイン点位置

4 シーンの終了点(アウト点)で 決定 押す

HDD:
番組全体のアウト点位置
DVD-RAM:
ディスク全体のアウト点位置

[▲▼]で "次へ" を選び、[決定]を押したあと、手順3〜4を繰り返すと、複数のシーンを作成できます。

5 [▲▼]で **を選び、 決定 押す**

選んだシーンの集まりがプレイリストとなります。

■**リスト画面を消すには**
[プレイリスト] を押す
■**途中で終了するには**
[リターン] を押す

お知らせ
- ディスクプロテクト(☞54ページ)やカートリッジのプロテクト(☞76ページ)を設定しているとプレイリストの作成ができません。解除してください。 RAM
- イン点はアウト点より後ろには設定できません。アウト点はイン点より前には設定できません。
- イン点とアウト点の間が3秒以内の場合は設定されない場合があります。
- 手順3、4では、早送りやスロー再生など、通常の再生時と同様の操作ができます。[⏮][⏭]を押すと、同じドライブ内の別の番組を選ぶことができます。
- 最後の番組が終了すると、自動的に一時停止します。
- プレイリストは記録状態によっては最大数より少なくなる場合があります。

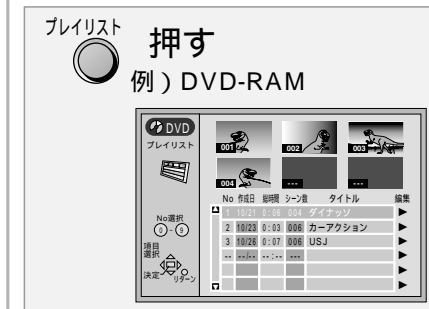
プレイリストを編集する

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

準備 ［HDD］または［DVD］を押して、ドライブを選ぶ

停止中

押す

例）DVD-RAM

［▲▼］でリストを選ぶ

- 「－－」を選び、［決定］を押すとプレイリストを作ることができます。（☞59ページ）

［▶］（カーソルボタン）を押す

［▲▼］で編集する項目を選び、

押す

■リスト画面やシーン一覧を消すには
［プレイリスト］を押す

■途中で終了するには
［リターン］を押す

お知らせ

- ［▲▼◀▶］で“キャンセル”や“いいえ”を選び、［決定］を押しても途中でやめることができます。
- ディスクプロテクト（☞54ページ）やカートリッジのプロテクト（☞76ページ）を設定していると「シーン再生」と「内容確認」以外は操作できません。解除してください。RAM

シーン再生

☞39ページ「プレイリストのシーンを再生する」

シーン編集

［▲▼◀▶］で 追加 移動 再編集 消去 を選び、

決定 押す

数字ボタン（0、1〜9）でページを選ぶこともできます。
例）「5」： ［0］→［0］→［5］
「15」： ［0］→［1］→［5］

■ 追加する（最大999シーン）

［▲▼◀▶］で追加する場所を選び、決定 押す

シーンの開始点（イン点）で 決定 押す

シーンの終了点（アウト点）で 決定 押す

［▲▼］で 終了 を選び、決定 押す

選んだシーンの前に新しいシーンを追加します。

［▲▼］で 次へ を選んで［決定］を押す（追加するシーンの数だけ繰り返す。）

■ 移動する

［▲▼◀▶］で移動するシーンを選び、決定 押す

［▲▼◀▶］で移動先のシーンを選び、決定 押す

移動先のシーンの前に選んだシーンを移動します。

（移動するシーンの数だけ繰り返す。）

■ 再編集する

［▲▼◀▶］でシーンを選び、決定 押す

シーンの開始点（イン点）で 決定 押す

シーンの終了点（アウト点）で 決定 押す

［▲▼］で 終了 を選び、決定 押す

再編集したシーンが新しく上書きされます。

［▲▼］で 前へ または 次へ を選んで［決定］を押す（再編集するシーンの数だけ繰り返す。）

■ 消去する

消去したシーンは消え、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

［▲▼◀▶］でシーンを選び、決定 押す

［◀］で はい を選び、決定 押す

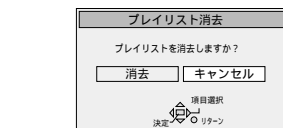
- リストから選んだシーンが消去されます。
- シーンをすべて消去すると、そのプレイリスト自身も消去されます。

（消去するシーンの数だけ繰り返す。）

複製

［◀］で 複製 を選び、決定 押す

最も新しいプレイリストとして複製されます。

消去

消去したプレイリストは、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

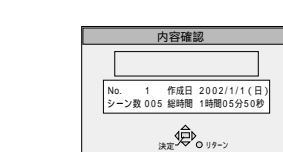
［◀］で 消去 を選び、決定 押す

プレイリストから消去されます。

タイトル入力

☞58ページ「タイトルを入力する」

漢字、ひらがな、全角カナ、全角記号：最大32文字。
半角英数：最大64文字。

内容確認

プレイリストの内容（作成日など）が表示されます。

- 編集画面では、早送りやスロー再生など、通常の再生時と同様の操作ができます。［|◀◀］［▶▶|］を押すと、同じドライブ内の別の番組を選ぶことができます。
- シーン選択画面で ◀前頁 または 次頁▶ を選ぶと、前または次のページ（10以上シーンがある場合）が表示されます。
- イン点はアウト点より後ろには設定できません。アウト点はイン点より前には設定できません。
- イン点とアウト点の間が3秒以内の場合は設定されない場合があります。
- 最後の番組が終了すると、自動的に一時停止します。
- 静止画部分からはシーンを編集できません。
- プレイリストやシーンの数は記録状態によっては最大数より少なくなることがあります。
- HDD内のプレイリストのシーン表示には、右記の絵表示のついたシーンが表示されることがあります。この絵表示は、録画が一世代のみ許された映像に表示されます。

静止画を編集する

CARD HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

停止中

押す

[▲▼◀▶] で

を選び、決定 押す

例）PCカード：1ページ目

[▲▼] で項目を選び、

押す

入力選択で現在表示されているフォルダ以外のフォルダを選ぶ場合は、まず「入力選択」を行ってください。

■PCカードを出し入れするには

☞40ページ「PCカードの出し入れ」

表示窓の CARD 点滅中は、カードの読み込み、書き込みを行っています。電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。本体が正常に動作しない場合や、カードの内容が破壊されたりすることがあります。

■途中で終了するには

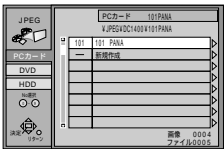
[リターン] を押す

お知らせ

- [▲▼◀▶] で“キャンセル”や“いいえ”を選び、**[決定]** を押しても途中でやめることができます。
- PCカードに書き込み禁止の設定がされている場合（CARD ☞13ページ）やディスクプロテクトが設定されている場合（RAM ☞54ページ）、カートリッジのプロテクト（RAM ☞76ページ）を設定していると「複製」「PCカード全複製」は操作できません。解除してください。

入力選択

CARD HDD RAM

編集するフォルダを選びます。

[◀] と [▲▼] で ドライブを選び[▶]（カーソルボタン）を 押す

[▲▼] で 静止画のフォルダを選び、

押す

- “画像”や“ファイル”の数字は、選択されたフォルダ内での数です。下位にあるフォルダは含みません。
- 上位のフォルダが複数ある場合、[|◀◀] [▶▶|] を押すと、上位のフォルダを切り換えられます。（☞13ページ「表示・保存できるフォルダ構造について」下線部）

■フォルダのタイトルを入力するには

[▶]（カーソルボタン）で“タイトル入力”を選び、[決定] を押す

☞58ページ「タイトルを入力する」

- 漢字、ひらがな、全角カナ、全角記号：最大18文字、半角英数：36文字入力できます。
- 本機で入力したフォルダのタイトルは本機でのみ表示されます。本機で入力したフォルダのタイトルは、「TITLE.DVD」ファイルに書き込まれます。
- 入力先に残量がない場合や、ファイル数の制限をこえる場合（☞13ページ「静止画について」）、タイトルを入力できません。

アルバム表示

☞41ページ「静止画を一覧で表示する（アルバム表示）」

スライドショー

☞41ページ「静止画を次々と表示する（スライドショー）」

複製

CARD HDD RAM

フォルダ全体または静止画を選んで、PCカードやHDD、DVD-RAMに複製できます。（最大300フォルダ、3000ファイル）

[▲▼◀▶] で フォルダまたは 静止画を選び（☞下記）、**決定 押す**

0001

チェックマークが表示されます。

（選択する静止画の数だけ繰り返す。）

[▲▼◀▶] で 複製実行 を選び、決定 押す

複製確認画面が表示されます。

複製先を選ぶ（☞下記）

[▲▼◀▶] で 複製 を選び、決定 押す

静止画が複製されます。

お知らせ

- 複製先にフォルダがない場合は、新規フォルダが作成されます。
- 複製先にフォルダがある場合は、以前の静止画に続けて記録されます。
- フォルダを複製する場合、フォルダ内の静止画以外のファイルも複製されます。
- 複製するフォルダより下位のフォルダは複製されません。
- 複製先の容量がなくなった場合や、複製するフォルダ・ファイルの数が最大値より多くなった場合、途中で複製を中止します。
- 複製先にフォルダのタイトルが入力されていない場合、複製元のタイトルが入力されます。複製元のフォルダにはタイトルを入力しておくことをおすすめします。
- 複製後に複製元の情報を読み込むため、時間がかかる場合があります。
- プリント（DPOF）枚数の設定（☞64ページ）は反映されません。

■ 静止画を1つずつ選ぶには

[▲▼◀▶]で静止画を選び、[決定]を押す

静止画にチェックマークが表示されます。

■ フォルダ内の静止画をすべて選ぶには

[▲▼◀▶]で“フォルダ選択”を選び、[決定] を押す

フォルダ名にチェックマークが表示されます。

（個別に付けたチェックマークは消去されます。）

■ チェックマークを消すには

[▲▼◀▶]でチェックマークを付けたフォルダ名または静止画を選び、[決定] を押す

■ 複製先を選ぶには

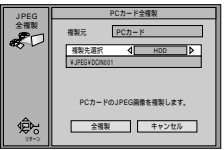
複製確認画面で、

1. **[▲▼]で“複製先選択”を選び、[決定] を押す**
2. **[◀]と[▲▼]でドライブを選ぶ**
3. **[▶]（カーソルボタン）と[▲▼]でフォルダを選び、[決定] を押す**

- 複製先として選べないフォルダがあります。（☞13ページ「表示・保存できるフォルダ構造について」の※印部分）

PCカード全複製

CARD

PCカードの内容をすべて、HDDまたはDVD-RAMに複製します。（最大300フォルダ、3000ファイル）

[◀▶] で “HDD”または“DVD”を選ぶ

[▲▼◀▶] で 全複製 を選び、

押す

静止画がすべて複製され、全複製画面にもどります。

静止画が複製されますが、対応したフォルダ以外のフォルダやファイルは複製されません。（☞13ページ「表示・保存できるファイル構造について」）

お知らせ

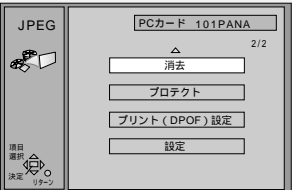
- 複製先には、新規フォルダが作成されます。
- フォルダ内の静止画以外のファイルも複製されます。
- 複製するフォルダより下位にあるフォルダは複製されません。
- 複製先の容量がなくなった場合や、複製するフォルダ・ファイルの数が最大値より多くなった場合、途中で複製を中止します。
- 複製後に複製元の情報を読み込むため、時間がかかる場合があります。
- プリント（DPOF）枚数の設定（☞64ページ）は反映されません。

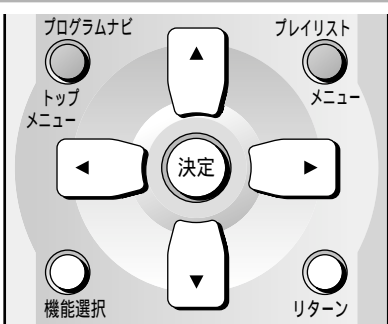
「消去」、「プロテクト」、「プリント(DPOF)設定」☞64ページ、「設定」☞41ページ（スライドショー間隔）、☞64ページ（PCカードフォーマット）

停止中

機能選択 **押す**

[▲▼◀▶] で **を選び、** 決定 **押す**

例）PCカード：2ページ目

[▲▼] で項目を選び、
決定 **押す**

現在表示されているフォルダ以外のフォルダを選ぶ場合は、まず「入力選択」(☞62ページ) を行ってください。

■PCカードを出し入れするには
☞40ページ「PCカードの出し入れ」
表示窓のCARD点滅中は、カードの読み込み、書き込みを行っています。電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。本体が正常に動作しない場合や、カードの内容が破壊されたりすることがあります。

■途中で終了するには
[リターン] を押す

お知らせ
- [▲▼◀▶] で "キャンセル" や "いいえ" を選び、[決定] を押しても途中でやめることができます。
- PCカードに書き込み禁止の設定がされている場合（CARD ☞13ページ）やディスクプロテクトが設定されている場合（RAM ☞54ページ）、カートリッジのプロテクト（RAM ☞76ページ）を設定していると、「消去」、「プロテクト」「プリント（DPOF）設定」「PCカードフォーマット」は操作できません。解除してください。

静止画を編集する（つづき）

CARD HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

「入力選択」「複製」、「PCカード全複製」☞62ページ
「アルバム表示」☞41ページ「静止画を一覧で表示する（アルバム表示）」
「スライドショー」☞41ページ「静止画を次々と表示する（スライドショー）」

消去

CARD HDD RAM

フォルダ全体または静止画を選んで、消去できます。

お知らせ
- フォルダを消去する場合、フォルダ内の静止画以外のファイルも消去されます。
- 消去するフォルダより下位にあるフォルダは消去されません。
- 静止画以外のファイルを消去するには、ファイルの入ったフォルダを選んで消去してください。

実行するとプロテクトを設定した静止画も含み、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

1. **[▲▼◀▶] で静止画を選び、決定 押す**
 静止画にチェックマークが表示されます。
 （消去する静止画の数だけ繰り返す。）
2. **[▲▼◀▶] で 消去実行 を選び、決定 押す**
 消去確認画面が表示されます。
3. **[◀] で 消去 を選び、決定 押す**
 選んだ静止画が消去され、静止画選択画面にもどります。

■ フォルダ内の静止画をすべて選ぶには
[▲▼◀▶]で"フォルダ選択"を選び、[決定] を押す
フォルダ名にチェックマークが表示されます。
（個別に付けたチェックマークは消去されます。）

■ チェックマークを消すには
[▲▼◀▶]でチェックマークを付けたフォルダ名または静止画を選び、[決定] を押す

プロテクト

CARD HDD RAM

フォルダ全体または静止画を選んで、プロテクトの設定や解除ができます。

1. **[▲▼◀▶] で静止画を選び、決定 押す**
 チェックマークが表示されます。
 （設定する静止画の数だけ繰り返す。）
2. **[▲▼◀▶] で 設定 または 解除 を選び、決定 押す**
3. **[◀] で プロテクト設定 または プロテクト解除 を選び、決定 押す**
 設定すると静止画に 🔒 が表示されます。

■ フォルダ内の静止画をすべて選ぶには
[▲▼◀▶]で"フォルダ選択"を選び、[決定] を押す
フォルダ名にチェックマークが表示されます。
（個別に付けたチェックマークは消去されます。）

■ チェックマークを消すには
[▲▼◀▶]でチェックマークを付けたフォルダ名または静止画を選び、[決定] を押す

プリント（DPOF）設定

CARD

フォルダ全体または静止画を選んで、プリント枚数の設定ができます。（最大999ファイル）

お知らせ
- DCF規格に準拠していないフォルダやファイルには設定できません。
- 本機で設定したプリント（DPOF）設定は他の機器で見られない場合があります。
- PCカードに残量がない場合は設定できません。
- 他の機器で設定したプリント枚数以外の設定は解除されます。

1. **[▲▼◀▶] で静止画を選び、決定 押す**
 チェックマークが表示されます。
 （設定する静止画の数だけ繰り返す。）
2. **[▲▼◀▶] で 設定 を選び、決定 押す**
3. **[◀▶] で枚数（0〜9）を選ぶ**
4. **[▲▼◀▶] で 設定 を選び、決定 押す**
 1枚以上設定した場合、DPOFマークが表示されます

■ フォルダ内の静止画をすべて選ぶには
[▲▼◀▶]で"全選択"を選び、[決定] を押す
フォルダ名にチェックマークが表示されます。
（個別に付けたチェックマークは消去されます。）

■ プリント（DPOF）設定を変更するには
1. **[▲▼◀▶]で"全選択"またはDPOFマークのついた静止画を選び、[決定] を押す**
2. **[▲▼◀▶]で"設定"を選び、[決定] を押す**
3. **[◀▶]で枚数を設定を変更する**
 - 枚数を"0"にすると設定が解除されます。
4. **[▲▼◀▶]で"設定"を選び、[決定] を押す**

設定

スライドショー間隔

CARD HDD RAM

☞41ページ「静止画を次々と表示する（スライドショー）」

PCカードフォーマット

CARD

PCカードに記録した静止画をすべて消去します。

実行すると記録された内容（プロテクトを設定した静止画やパソコンのデータも含む）はすべて消え、元に戻すことができません。すべて消してよいか確認してからフォーマットしてください。

1. **[◀] で はい を選び、決定 押す**
2. **[◀] で 実行 を選び、決定 押す**
 フォーマットが始まります。

お知らせ
本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えない場合があります。

静止画を編集する（つづき）
編集

画面設定を使って操作する

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

画面設定の操作方法

❶ 画面設定 押す

ディスク / 再生 / 映像 / 音声 — 音声情報 1 LPCM 2ch 48k 16b / 字幕情報 切 / 音声チャンネル LR

メニュー 項目 内容

❷ [▲▼]で
メニューを選び、[▶](カーソルボタン)を押す

❸ [▲▼]で
項目を選び[▶](カーソルボタン)を押す
内容については66〜68ページをご覧ください。

❹ [▲▼]で
内容を変更する
変更が実行されないときは、決定 押してください。

数字ボタン(0、1〜9)で変更できるものもあります。

■ 画面を消すには

表示が消えるまで**[リターン]**を押す

お知らせ

- 表示内容はディスクによって異なります。
- ディスクや再生状態(停止中など)によっては選択や操作のできないものがあります。

■ 字幕、音声やアングルについて

- ディスクにそれらが複数収録されていない場合は変更できません。(下記は複数収録されている例です。)

音声 字幕 アングル

- ディスクのメニュー画面でのみ切り換えができるディスクもあります。

ⓐ 音声属性

LPCM/DDDigital/DTS/MPEG:信号タイプ
ch:チャンネル数 (「チャンネル(DVD用語)」☞84ページ)
k:サンプリング周波数(kHz) **b**:ビット数(bit)

ⓑ 音声/字幕言語

日:日本語	**伊**:イタリア語	**露**:ロシア語
英:英語	**西**:スペイン語	**韓**:韓国語
仏:フランス語	**蘭**:オランダ語	**✱**:その他
独:ドイツ語	**中**:中国語	

ディスクメニュー

ディスク / 再生 / 映像 / 音声 — 音声情報 1 LPCM 2ch 48k 16b / 字幕情報 切 / 音声チャンネル LR

CDでは項目が表示されません。

音声情報 HDD RAM DVD-R DVD-V
番号を選ぶとその音声を再生します。

音声チャンネル HDD RAM VCD

カラオケボーカル DVD-V
デュエットディスクの場合、「V1」または「V2」を選ぶとデュエットできます。

字幕情報 HDD RAM DVD-R DVD-V
「入」を選ぶと字幕を表示します。

字幕番号 DVD-V
字幕「入」表示中に、
番号を選ぶとその言語で再生します。

アングル DVD-V
番号を選ぶとそのアングルで再生します。

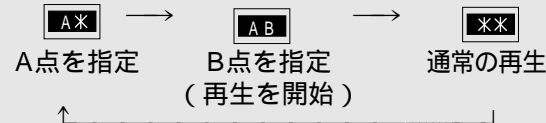
PBC VCD
PBC付きビデオCDでメニューの「入」、「切」が確認できます。(内容変更はできません。)

画面内に文字情報が記録され、字幕と重なる場合は字幕を「切」にしてください。

再生メニュー

ディスク / 再生 / 映像 / 音声 — ABリピート ✱✱ / リピート 切 / マーカー ✱✱✱✱✱

A-Bリピート再生 HDD RAM DVD-R DVD-V
好みの2点(A点とB点)を指定し、その2点間を繰り返し再生
再生中**[決定]**を押すたびに切り換わります。

A✱ → AB → ✱✱
A点を指定 → B点を指定(再生を開始) → 通常の再生

- B点を指定する前に番組やタイトルが終わったときは、その終点がB点として指定されます。
- A点とB点の前後では、字幕が表示されないことがあります。
- 経過時間の表示されないディスクやプレイリスト再生中は働きません。
- 再生中はダビングボタンや消去ボタンは働きません。

リピート再生
繰り返し再生
再生中**[▲▼]**を押すたびに切り換わります。
(「切」を選ぶと通常の再生になります)

HDD RAM DVD-R
PG:番組 PL:プレイリスト(HDD、DVD-RAM)
All:ディスク全体

DVD-V
Chapter:チャプター Title:タイトル全体

CD VCD
Track:トラック All:ディスク全体

- PBC付 VCD は停止中(テレビ画面に右のマークが出ているとき)に**数字ボタン**で(☞10ページ)トラックを選んでから上記操作を行ってください。
- DVDビデオでは、ディスク全体の繰り返し再生は選べません。
- 経過時間の表示されないディスクでは働きません。
- 再生中はダビングボタンや消去ボタンは働きません。

マーカー設定
再び楽しみたい位置にマーカーを付け、後でそこから再生できます。
HDD RAM DVD-R (最大999カ所)
DVD-V CD VCD (最大5カ所)
操作方法☞42ページ

再生モード情報(操作はできません。) CD VCD
再生の状態(通常再生、プログラム再生、ランダム再生)を表示します。

映像メニュー

CDでは項目が表示されません。

画質選択(再生時のみ働きます。)
- **ノーマル**
- **ソフト**:ざらつきの少ない柔らかな画質
- **ファイン**:輪郭の強調されたくっきりした画質
- **シネマ**:映画鑑賞向け
- **ユーザー**:さらに画質を調整(☞下記「詳細画質設定メニュー」)

MPEG-DNR設定
(画質選択が"ユーザー"以外の場合のみ表示)
3D-NR、ブロックNR、モスキートNRを本機が推奨する設定値で同時にはたらかせます。

プログレッシブ※1
入:プログレッシブ映像を出力するとき
切:プログレッシブ映像の横縦比が正しくない場合

変換モード※1※2
プログレッシブ出力変換方式を素材(☞84ページ)に合わせて選ぶ。
- Auto1(標準):フィルム素材に適した変換
- Auto2:Auto1に加え、30コマ/秒で記録されたプログレッシブ映像にも対応。
- Video:ビデオ素材に適した変換

※1 「TVタイプ」で「プログレッシブ(525P)対応」を選んだ場合のみ設定できます。(☞71ページ「接続」)
※2 「プログレッシブ」で「入」を選んだ場合のみ設定できます。

詳細画質設定メニュー

画質選択「ユーザー」選択時に、**[◀]と[▲▼]で「詳細画質設定」を選び、[決定]を押す**と表示されます。

コントラスト(−7〜+7)
映像の白い部分と黒い部分に強弱をつける

ブライトネス(0〜+15)
画面全体を明るくする

シャープネス(−6〜+6)
映像の水平方向の鮮やかさを高める

カラー(−7〜+7)
色の濃さを変化させる

ガンマ(0〜+5)
映像の中間明度を強調し、暗くて見えにくい場面でも輪郭を忠実に再現する

3次元NR(0〜+4)
画面全体のノイズを取り除く

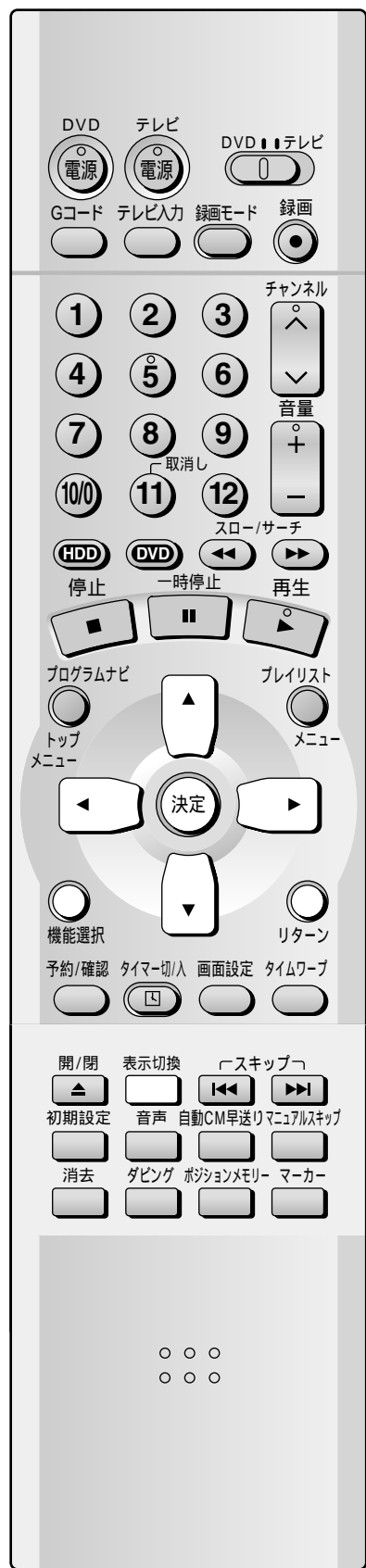
ブロックNR(0〜+3)
動画モザイク状ノイズを取り除く

モスキートNR(0〜+3)
文字の周辺など、周囲とのコントラストがはっきりした部分に見える、もやのようなにじみを補正する

■ 映像メニューの画面に戻るには

[リターン]を押す

画面設定を使って操作する

さらに

画面設定を使って操作する（つづき）

音声メニュー

ディスク	
再生	V.S.S. 切
映像	D.エンハンサー 切
音声	

CDとビデオCDでは項目が表示されません。

V.S.S. HDD RAM DVD-R DVD-V

（ドルビーデジタルで2ch以上のディスク）
フロントスピーカー（L／R）だけでサラウンド効果を楽しむことができます。
サラウンド信号があるディスクの場合、さらにスピーカーの存在しない横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。
標準←→ 強←→ 切

- ディスクによってはサラウンド効果が出にくいものや、出ないもの（カラオケディスクなど）があります。
- 音声がひずむ場合、V.S.S.を「切」にしてください。（接続した機器のサラウンド機能も確認してください。）
- V.S.S. が働いているときはフロント（L/R）の音声のみ出力されます。
- 本機のチューナーで録音した二重音声には働きません。

ダイアログエンハンサー DVD-V

（ドルビーデジタルでセンターチャンネルを含むディスク）
爆発音など大きな効果音が収録されたソフトのセリフ部を聞き取りやすくする。
入 ←→ 切

機能選択を使って操作する

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

ディスクの種類に応じて、使える機能を絵表示から選ぶことができます。

停止中

1 機能選択 **押す**

例）DVD-RAM

2 **[▲▼◀▶] で絵表示を選ぶ**

機能の詳細はそれぞれのページをご覧ください。

絵表示	詳細	ページ
ディスク管理	「HDD、ディスクを編集する」	54
タイマー予約	「予約の確認や変更、取り消しをする」	52
初期設定	「初期設定を変える」	70
DV入力自動録画	「DV入力自動録画」	47
プログラムナビ	「プログラムナビ再生」	39
	「番組を編集する」	56
続き再生	「再生する」	36
再　生	「再生する」	34
頭から再生	「再生する」	34
ダビング	「ダビング」	44
プレイリスト新規作成	「プレイリストを作る」	59
プレイリスト	「プレイリスト再生」	39
	「プレイリストを編集する」	60
ぴったり録画	「ぴったり録画」	32
トップメニュー／メニュー	「メニュー画面が表示されたら」	35
プログラム再生	「プログラム再生」	43
ランダム再生	「ランダム再生」	43
静止画（JPEG）	「静止画再生」	40
	「静止画を編集する」	62

3 決定 **押す**

項目が決定され、画面が消えます。さらに選択する必要がある場合は、次の画面が表示されます。

■ 機能選択画面を消すには

[機能選択]または**[リターン]**を押す。

お知らせ

- ディスクによって選べない項目は絵表示が表示されません。
- 「プロテクトを設定している」など条件によって選べない項目は灰色で表示されます。
- 「頭から再生」では、先頭の番組やタイトル、トラックから再生します。

情報表示を切り換える

HDD RAM DVD-R DVD-V CD VCD

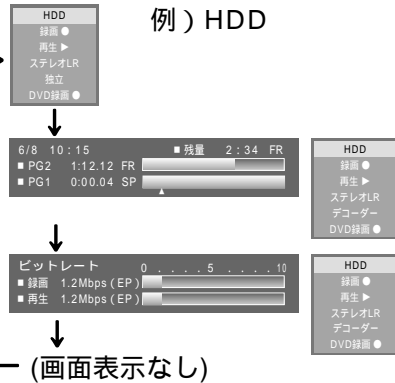
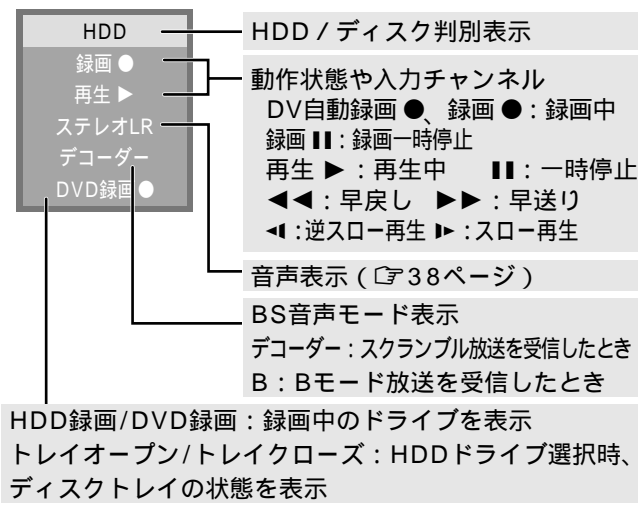
本機を操作したとき、テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

表示切換 **押す**

押すたびに切り換わります。

例）HDD

（画面表示なし）

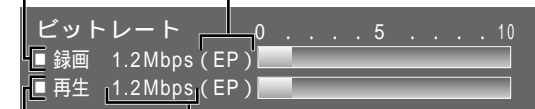
情報表示の例（HDD）

- **HDD／ディスク判別表示**
- **動作状態や入力チャンネル**
  - **DV自動録画 ●、録画 ●**：録画中
  - **録画 ❚❚**：録画一時停止
  - **再生 ▶**：再生中　**❚❚**：一時停止
  - ◀◀：早戻し　▶▶：早送り
  - ◀❚：逆スロー再生 ❚▶：スロー再生
- **音声表示**（☞38ページ）
- **BS音声モード表示**
  - **デコーダー**：スクランブル放送を受信したとき
  - **B**：Bモード放送を受信したとき
- **HDD録画/DVD録画**：録画中のドライブを表示
- **トレイオープン/トレイクローズ**：HDDドライブ選択時、ディスクトレイの状態を表示

日付と現在時刻　録画モード　HDD/ディスク残量（めやす）と現在の録画モード

6/8　10:15　■ 残量　2:34　FR
■ PG2　1:12.12　FR
■ PG1　0:00.04　SP

再生経過時間　番組の再生位置
録画経過時間(HDDの場合、録画量のめやすを表示)

録画時の映像ビットレート　録画モード（一時停止時は I/P/B（☞85ページ）を表示）

ビットレート　0 . . . . 5 10
■ 録画　1.2Mbps (EP)
■ 再生　1.2Mbps (EP)

再生時の映像ビットレート　ビットレート表示※ Mbps（再生中、録画中）または kbit（一時停止時）で表示

※ビットレート表示は、再生と録画の計算方式が異なるため、同じ数値にならない場合があります。（数字はめやすです）

初期設定を変える

初期設定一覧をご覧になり、必要であれば、設定を変更してください。(☞72ページ「設定方法」)
設定内容は、電源を切っても保持されます。下線部はお買い上げ時の設定です。

初期設定一覧

	設定項目	設定内容
チャンネル	**市外局番チャンネル設定**(☞24ページ)	● 市外局番入力
チャンネル	**マニュアルチャンネル設定**(☞25ページ)	● Po ● CH ● 表示 ● ガイド ● 微調整
チャンネル	**BSアンテナ設定**(☞22ページ)	● BS電源 ● ウェザーポジション ● BSチャンネル ● BSシステム
設置	**自動電源〔切〕** !? 節電のため、操作しないときに電源を自動的に切る時間を設定します。	● 2H ● 6H ● 切
設置	**リモコンモード**(☞74ページ)	● リモコン1 ● リモコン2 ● リモコン3
設置	**ワイドモード** テレビのS映像入力に合わせて設定します。	● S1 ● S1/S2 ● 切:S映像入力に接続しない場合に選ぶ
設置	**時刻合わせ**(☞73ページ)	●(年/月/日/時/分) ● 自動時刻チャンネル
設置	**設定の初期化** 初期設定をお買い上げ時の設定に戻します。(チャンネルの設定、BSアンテナ、時刻と視聴制限の4項目以外)	● する ● しない
ディスク	**音声言語** DVD再生時の音声が選べます。	● 日本語 ● 英語 ● オリジナル:ディスクの最優先言語で再生 ● その他∗∗∗∗ (∗には数字ボタンで言語番号(☞72ページ)を入力(選んだ言語がディスクに記録されていない場合や、言語があらかじめディスク内で決められている場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。))
ディスク	**字幕言語** DVD再生時の言語(字幕)が選べます。	● オート:"音声言語"で選んだ言語で再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示 ● 日本語 ● 英語 ● その他∗∗∗∗
ディスク	**メニュー言語** メニューなど、テレビ画面に表示される言語が選べます。	● 日本語 ● 英語 ● その他∗∗∗∗
ディスク	**視聴制限** お子さまなどに見せたくないDVDの視聴が制限できます。暗証番号を入力しない限り設定の変更や再生はできません。 ●制限するには暗証番号の入力が必要です(「視聴制限を設定する」☞73ページ)	●レベル8 :すべてのディスクが視聴可 ●レベル7〜レベル1 :制限レベルの記録されているディスク(成人向けや暴力シーンを含むもの)が視聴不可 ●レベル0 :すべてのディスクが視聴不可 / ● ロック解除 ● 暗証番号変更 ● レベル変更 ● 一時解除
映像	**3次元Y/C**	● 入:受信した映像信号を正確にY/C分離して録画 ● 切 :動きの早い映像を録画すると、残像現象を軽減
映像	**ハイブリッドVBR**	● アドバンス:映像に合わせて、録画時の解像度を自動で切り換え、MPEGブロックノイズの発生を軽減 ● ノーマル:VBR記録時に解像度を固定し、素材の解像度を落とさず録画
映像	**スチルモード** 静止画像の表示方法が選べます。	● オート ● フィールド:粗めの静止画像を表示。"オート"時にブレが生じるときや、動きのある映像で選びます。 ● フレーム:画質のよい静止画像を表示。"オート"時に細かい絵柄などがはっきり見えないときに選びます。
映像	**シームレス再生** 編集したプレイリストの再生状態が選べます。	● 入:シーンのつなぎ目をなめらかに再生。つなぎ目の位置がずれる場合があります。(LPCM音声の再生中には働きません) ● 切 :シーンのつなぎ目を精度よく再生 つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります。
映像	**ダビング時のアスペクト設定** 4:3テレビに表示させる映像の横縦比を設定できます。設定内容はダビング先に反映されます。(高速モードでは働きません。)	● スクイーズ:画面いっぱいに表示 上下にのびた映像になります。 ● レターボックス:画面上下に黒帯のついた状態で表示

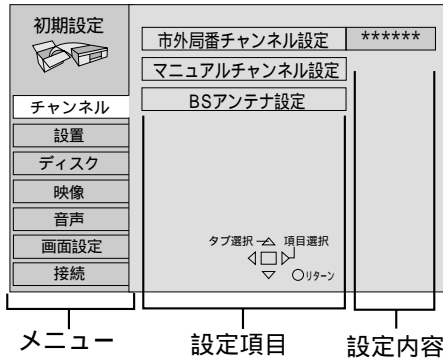
	設定項目	設定内容
音声	**早送り時の音声**	● 入:早送り1速時に音声が聞こえる ● 切:聞こえない
音声	**音声のダイナミックレンジ圧縮** 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	● 入:(ドルビーデジタルのみ働きます。) ● 切
音声	**DVD-R、LPCM二重放送音声記録の設定** !? ●DVD-Rに記録する二重放送の音声を選べます ●LPCMで記録する音声の種類を選べます	● 主音声 ● 副音声 (本機のチューナーから録音する場合やダビング時、DV入力からの録音時にのみ働きます。)
音声	**DVD-RAM ダビング音声の設定** DVD-RAMに複製する音声の種類を選べます。	● 主音声+副音声 ● 主音声 ● 副音声 (高速モードでは働きません。)
音声	**DV入力時の音声の設定**(☞73ページ) DV入力(☞47ページ)から録音する音声の種類を選べます。	● ステレオ1 ● ステレオ2 ● MIX
音声	**記録音声モードの設定〔XP時〕** 録画モードがXP時の、記録する音声の種類を選べます。	● Dolby Digital ● LPCM (「LPCM」に設定しても録画モードXP時以外では音声は「Dolby Digital」になります。)
音声	**デジタル出力**	→[決定]を押して、さらに設定します。
音声	**PCM ダウンサンプリング変換** サンプリング周波数 96 kHzで収録された音声を48 kHz/16 bitに変換する(入)かしない(切)かを選べます。	● 入:96kHzに対応していない機器と接続 ● 切:96kHzに対応した機器と接続 ただし、ディスクに著作権保護が記録されている場合は、音声が出力されません。"入"を選んでください。
音声	**Dolby Digital** ドルビーデジタルの信号を、接続した機器側で処理を行う"Bitstream"で出力するか、"PCM(2CH)"で出力するかを設定します。	● Bitstream:ドルビーデジタルデコーダーを搭載している機器に接続 ● PCM:ドルビーデジタルデコーダーを搭載していない機器に接続 (接続する機器がドルビーデジタルやDTSのデコーダーを搭載しない場合、必ず「Dolby Digital」を「PCM」に、「DTS」を「切」に設定してください。正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MDなどに正しく録音できません。)
音声	**DTS** DTSの信号を、接続した機器側で処理を行う"Bitstream"で出力するか、出力しない(切)かを設定します。	● Bitstream:DTSデコーダーを搭載している機器に接続 ● 切:DTSデコーダーを搭載していない機器に接続
画面設定	**オンスクリーン表示〔オート〕** !? 操作時の表示をテレビ画面に自動で表示するか、しないか選べます。	● 入 ● 切
画面設定	**ブルーバック** !? 「切」を選ぶとチャンネル受信の信号が弱いときに画面背景を表示しないように設定できます。	● 入 ● 切
画面設定	**FLディマー** !? 表示窓の明るさを調節します。「オート」に設定すると、全消灯時には消費電力が約0.9Wになり、節電になります。	● 常時 明 ● 常時 暗 ● 再生時 暗:再生中と電源「切」時のみ暗くなる ● オート:再生中は暗くなり、電源「切」時は全消灯します。ボタン操作をすると一時的に明るくなります。
接続	**TVアスペクト**(☞28ページ) !?	● 4:3 ● 16:9
接続	**TVタイプ**(☞28ページ) !?	● インターレース(525I) ● プログレッシブ(525P)対応
接続	TVアスペクト(4:3)設定 **DVD-Video** !? 16:9の映像での4:3テレビへの映り方を選べます。	● パン&スキャン:左右の切れた映像(パン&スキャン)で再生 ただし、パン&スキャンで再生することが指定されていないソフトは、レターボックスで再生します。 ● レターボックス:上下に帯のある映像(レターボックス)で再生
接続	TVアスペクト(4:3)設定 **DVD-RAM** !? 16:9の映像での4:3テレビへの映り方を選べます。	● スルー:録画された映像の横縦比で再生。 ● パン&スキャン:パン&スキャンで再生 ● レターボックス:レターボックスで再生
接続	**外部入力3の端子設定** 後面の外部入力3(L3)に接続する機器に合わせて設定します。	● ライン:BSデコーダー以外と接続 ● BSデコーダー:BSデコーダーと接続

初期設定を変える（つづき）

設定方法

停止中

押す

❷ **［▲▼］で**
メニューを選び［▶］（カーソルボタン）を押す

❸ **［▲▼］で**
設定項目を選び、決定 押す

設定内容画面が表示されます。

❹ **［▲▼］で**
設定内容を選び、決定 押す

操作方法が異なる場合もあります。その場合、画面の指示に従ってください。

■ ひとつ前の画面に戻るには

[リターン]を押す。

■ 設定を終了するには

[初期設定]を押す

言語番号一覧

言語	番号
アイスランド	：7383
アイマラ	：6588
アイルランド	：7165
アゼルバイジャン	：6590
アッサム	：6583
アファル	：6565
アフリカーンス	：6570
アブハジア	：6566
アムハラ	：6577
アラビア	：6582
アルバニア	：8381
アルメニア	：7289
イタリア	：7384
イディッシュ	：7473
インターリングア	：7365
インドネシア	：7378
ウェールズ	：6789
ウォロフ	：8779
ヴォラピュック	：8679
ウクライナ	：8575
ウズベク	：8590
ウルドゥー	：8582
英語	：6978
エストニア	：6984
エスペラント	：6979
オーリヤ	：7982
オランダ	：7876
カザフ	：7575
カシミール	：7583
カタロニア	：6765
ガリチア	：7176
韓国（朝鮮）語	：7579
カンナダ	：7578
カンボジア	：7577
キルギス	：7589
ギリシャ	：6976
クルド	：7585
クロアチア	：7282
グアラニー	：7178
グジャラト	：7185
グリーンランド	：7576
グルジア	：7565
ケチュア	：8185
ゲール（スコットランド）	：7168
コーサ	：8872
コルシカ	：6779
サモア	：8377
サンスクリット	：8365
ショナ	：8378
シンド	：8368
シンハラ	：8373
ジャワ	：7487
スウェーデン	：8386
スロバキア	：8375
スロベニア	：8376
スワヒリ	：8387
スンダ	：8385
スペイン	：6983
ズールー	：9085
セルビア	：8382
セルボクロアチア	：8372
ソマリ	：8379
タイ	：8472
タタール	：8484
タミル	：8465
タガログ	：8476
タジク	：8471
チェコ	：6783
中国語	：9072
チベット	：6679
ティグリニア	：8473
テルグ	：8469
デンマーク	：6865
トウイ	：8487
トルクメン	：8475
トルコ	：8482
トンガ	：8479
ドイツ	：6869
ナウル	：7865
日本語	：7465
ネパール	：7869
ノルウェー	：7879
ハウサ	：7265
ハンガリー	：7285
バシキール	：6665
バスク	：6985
パシュト	：8083
パンジャブ	：8065
ヒンディー	：7273
ビハール	：6672
ビルマ	：7789
フィジー	：7074
フィンランド	：7073
フェロー	：7079
フランス	：7082
フリジア	：7089
ブータン	：6890
ブルガリア	：6671
ブルターニュ	：6682
ヘブライ	：7387
ベトナム	：8673
ベロルシア（白ロシア）	：6669
ベンガル（バングラ）	：6678
ペルシャ	：7065
ポーランド	：8076
ポルトガル	：8084
マオリ	：7773
マケドニア	：7775
マライ（マレー）	：7783
マラッタ	：7782
マラヤーラム	：7776
マルタ	：7784
マダガスカル	：7771
モルダビア	：7779
モンゴル	：7778
ヨルバ	：8979
ラオ	：7679
ラテン	：7665
ラトビア（レット）	：7686
リトアニア	：7684
リンガラ	：7678
ルーマニア	：8279
レトロマンス	：8277
ロシア	：8285

DV入力時の音声設定について

ステレオ1：DV録画時の音声（L1、R1）を録音します。
ステレオ2：編集などであとから追加した音声（L2、R2：ナレーションなど）を録音します。
MIX：ステレオ1とステレオ2の音声を録音します。

● LにはL1+L2、RにはR1+R2が記録されます。
ただし、二重音声の場合で、DVD-R記録時またはLPCM記録時にステレオ1が記録されます。録音される内容は「DVD-R、LPCM二重音声記録の設定（☞71ページ「音声」）に従います。

視聴制限を設定する

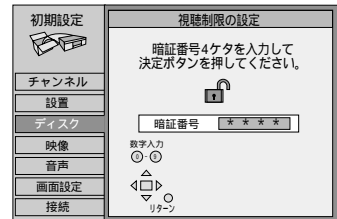
❶ **［▲▼◀▶］で「ディスク」の「視聴制限」を選び、決定 押す**

❷ **［▲▼］で“7”～“0”を選び 決定 押す**

❸ **数字ボタンで4ケタの数字（暗証番号）を入力する**

［◀］を押すと、取り消せます。

暗証番号は忘れないでください。

❹ **決定 押す**

❺ **決定 押す**

（暗証番号が確定し、ロックがかかります。）

視聴制限をこえるDVDを再生すると、テレビ画面にメッセージが出ます。画面の指示に従ってください。

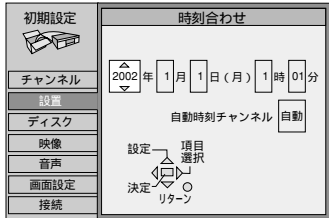
時刻合わせ

本機はNHK教育テレビの時報（毎日12時、19時）を利用し自動的に時刻を合わせており、2分以内の誤差を自動修正します。
誤差が2分以上ある場合、下記の方法で正しい時刻に設定してください。

❶ **［▲▼◀▶］で「設置」の「時刻合わせ」を選び、**

押す

❷ **［◀▶］で“年”、“月”、“日”、“時”、“分”を選び、［▲▼］で日付や時刻を合わせる**

● “年”の設定は西暦2087年までです。
● “時”は24時間表示です。

❸ **［◀▶］で“自動時刻チャンネル”を選び、［▲▼］で「NHK教育テレビ」に合わせる**

● 表示チャンネル（☞25ページ）で合わせてください。
● **“自動”にすると、本機が自動的にNHK教育テレビをさがし出します。**
ただし、地域により、さがし出すまでに数週間かかる場合もあります。NHK教育テレビに合わせておくことをおすすめします。

❹ **決定 押す**

“時刻合わせ”の画面が消え、時計が動き始めます。

■自動時刻合わせは、次のようなときは働きません。

・「自動時刻チャンネル」を“ーー”にしているとき
（自動時刻合わせ機能が解除されます。）
・時報が放送される時刻に本機の電源が入っているとき
・時報のバックに音楽が流れているとき
・「ポッポッポッポーン」の「ポーン」のみの時報のとき
・電源コードを抜いたときや停電したとき

お願い

12時、19時の時報以外に、番組の中で時報が放送されると、本機はそれを12時または19時と誤って検出し、正しい時刻に設定されません。時計の誤差が2分以上あるときは、正しい時刻に合わせ直してください。

リモコンモードを変更する

本機を含め、当社製のDVDレコーダー／プレーヤーなどはほとんどが同じ方式のリモコンを使用しているため、同じ場所で使うと、お互いのリモコンの影響で正しく操作できません。本体とリモコンのリモコンモードを変更しておくと、リモコンどうしの干渉を防ぐことができます。
（通常は、変更する必要はありません。）

停止中

❶ 本体のモードを変更する

初期設定 **押す**

❷ ［▲▼］で「設置」を選ぶ

❸ ［▶］（カーソルボタン）と［▲▼］で「リモコンモード」を選び、決定 押す

❹ 本機の「リモコンモード」を“リモコン2”または“リモコン3”に変更し、

決定 **押す**

本体でリモコンモードが設定されます。

❺ リモコンのモードを変更する

決定 **押しながら**

2（手順❹で“リモコン2”に変更した場合）

または

3（手順❹で“リモコン3”に変更した場合）

を押す

リモコンでリモコンモードが設定されます。

■ ひとつ前の画面に戻るには

本体の**[RETURN]**を押す

■ 設定を終了するには

本体の**[RETURN]**を数回押す

■ 表示窓に“U12”が表示されたら

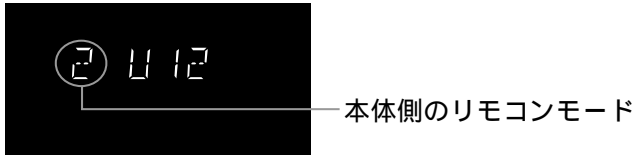
手順❺を行ってください。

表示される数字（本体側のリモコンモード）に合わせてください。

2 U12

本体側のリモコンモード

別売品のご紹介

別売品の品番は、2003年3月現在のものです。
品番は変更されることがあります。

■ 音声／映像出力関連商品

コード/ケーブル名	品番	
音声コード	RP-CAP3G05	(0.5 m)
	RP-CAP3G10	(1.0 m)
	RP-CAP3G15	(1.5 m)
	RP-CAP3G20	(2.0 m)
	RP-CAP3G30	(3.0 m)
	RP-CAP3G50	(5.0 m)
	RP-CAP3G100	(10.0 m)
モノラル/ステレオピンコード	RP-CA29A	(3.0 m)
光デジタルケーブル	RP-CA2010A	(1.0 m)
	RP-CA2020A	(2.0 m)
	RP-CA2030A	(3.0 m)
映像コード	RP-CVP0G05	(0.5 m)
	RP-CVP0G10	(1.0 m)
	RP-CVP0G15	(1.5 m)
	RP-CVP0G20	(2.0 m)
	RP-CVP0G30	(3.0 m)
	RP-CVP0G50	(5.0 m)
	RP-CVP0G100	(10.0 m)
S映像コード	RP-CVS0G10	(1.0 m)
	RP-CVS0G20	(2.0 m)
	RP-CVS0G30	(3.0 m)
	RP-CVS0G50	(5.0 m)
コンポーネントビデオコード	RP-CVPCG10	(1.0 m)
	RP-CVPCG20	(2.0 m)
	RP-CVPCG50	(5.0 m)
D端子ケーブル	RP-CVDG15	(1.5 m)
	RP-CVDG30	(3.0 m)
D端子ピンケーブル	RP-CVCDG15	(1.5 m)
	RP-CVCDG30	(3.0 m)
i.LINKケーブル(IEEE1394)	RP-CDE4G15	(1.5 m)
	RP-CDE4G30	(3.0 m)

■ ホームシアター関連商品

- **AVコントロールアンプ** :SA-XR10
- **スピーカーシステム** :SB-TP50

■ 放送・通信関連商品

- **75Ω同軸ケーブル** :VUA7051※(1.4 m)
- **75Ωアンテナプラグ** :VSQ1035※
- **アンテナプラグ** :VUA7050※
- **混合器** :VUA7053※
- **分波器** :VUA7052F※
- **BS同軸ケーブル** :VW-KBS1
- **BS・CS／UV分波器** :TY-6S7BCS

■ ディスク関連商品

- **TYPE4カートリッジDVD-RAMディスク**
  :LM-AD240（9.4 GB：両面、1枚）
  :LM-AD240P3（9.4 GB：両面、3枚組）
- **TYPE2カートリッジDVD-RAMディスク**
  :LM-AB120（4.7 GB：片面、1枚）
  :LM-AB120S3（4.7 GB：片面、3枚組）
- **DVD-RAMディスク**（カートリッジなし）
  :LM-AF120（4.7 GB：片面、1枚）
  :LM-AF120P5（4.7 GB：片面、5枚組）
- **DVD-Rディスク**（カートリッジなし）
  :LM-RF120（4.7 GB：片面、1枚）
  :LM-RF120W（4.7 GB：片面、1枚、プリンタブル）
  :LM-RF120P5（4.7 GB：片面、5枚組）
- **DVD-RAM/PDディスククリーナー** :RFKZ0093※
  :LF-K200DCJ1
- **DVD-RAM/PDレンズクリーナー** :JZSLFK123LC1※

■ カード関連商品

- **SDメモリーカード用PCカードアダプター**
  （マルチメディアカードにも対応しています。）
  :BN-SDAAP3
- **SDメモリーカード**
  :RP-SD064(64MB) :RP-SD032(32MB)
  :RP-SD016(16MB) :RP-SD008(8MB)
- **マルチメディアカード**
  :VW-MMC16(16MB) :VW-MMC8(8MB)

※ サービスルート扱いでご用意しています。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です。また、その使用はマクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されます。この製品を分解したり、改造することも禁じられています。

Gコードは、ジェムスター社の登録商標です。Gコードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

「DTS」および「DTSデジタルアウト」はDTS社の商標です。

本機がテレビ画面に表示する半角文字には、平成丸ゴシック™W4を使用しています。

この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。

あなたが作成した作品や撮影した映像以外から複製したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録画補償金が含まれております。
お問合せ先：（社）私的録画補償金管理協会
☎ 03-3560-3107（代）

使用上のお願い・お手入れについて

きれいな音声・映像をお楽しみいただくために、下記の点をお守りください。

お手入れ

■ 録画/再生用レンズが汚れたとき

長期間使用していると、録画/再生用レンズにほこりなどが付着して正常に録画・再生できなくなる場合があります。
使用環境や使用回数にもよりますが、**DVD-RAM/PD レンズクリーナーJZSLFK123LC1**（サービスルート扱い）で約1年に一度、クリーニングすることをおすすめします。クリーニングのしかたは、レンズクリーナーの説明書をお読みください。

- クリーニングが終わると、表示窓に“NO READ”が表示されます。
- クリーニング中に音がすることがありますが、本機の故障ではありません。

■ 前面パネルのハーフミラー部分が汚れたとき

クリーニングクロス（付属）でふいてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。

■ 上記以外の部分が汚れたとき

柔らかい布でふいてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

ディスクの保管

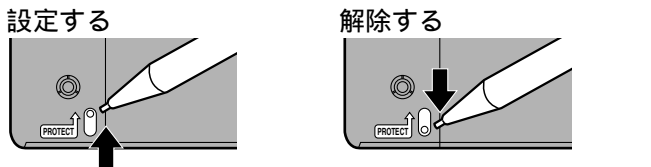
次のような場所は避けてください。

- 直射日光の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接当たるところ

カートリッジのプロテクト

録画した番組などの保護のため、カートリッジ付ディスクの場合、録画後、プロテクトを設定することをおすすめします。

設定する

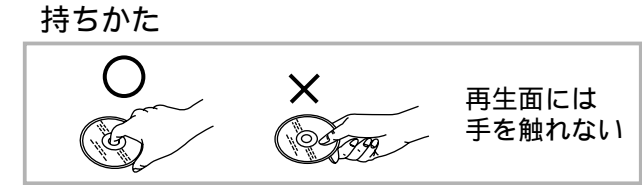
解除する

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です

音のエチケット
シンボルマーク

ディスクについて

■ 持ちかた

再生面には
手を触れない

■ 汚れたときや、つゆがついたときは

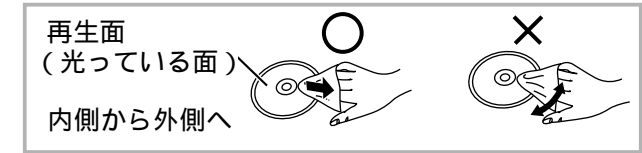
RAM DVD-R

- 必ず専用の**DVD-RAM/PDディスククリーナーRFKZ0093**（サービスルート扱い）、**LF-K200DCJ1**（別売）でふいてください。使いかたについては、ディスククリーナーの説明書をお読みください。
- 布やCD用クリーナーなどは絶対に使わないでください。

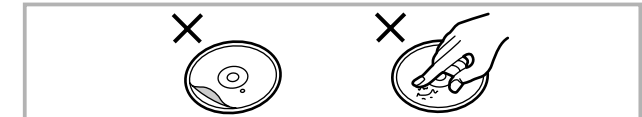
DVD-V CD VCD

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

推奨品: クリーニングクロス（品番 VUA7091）
（サービスルート扱い）

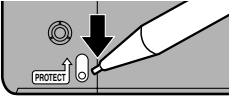
再生面
（光っている面）
内側から外側へ

■ 取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- 紙やシール、ラベルを貼らない。
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない。

- ラベル面をプリンターで印刷できるタイプのディスクを使う場合は、当社製のものをお使いください。（当社製以外のディスクを使うと、機器の故障の原因になることがあります。）
- ハート型など、特殊形状のディスクはご使用にならないでください。（機器の故障の原因となります。）

- そりの大きなディスク、割れたりひびの入っているディスクはご使用にならないでください。

Q&A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
設置／接続	**ドルビーデジタルやDTSの5.1chサラウンド音声を楽しみたいが、どのような機器が必要か**	本機のみでは5.1chのサラウンド音声は楽しめません。ドルビーデジタルやDTSのデコーダー搭載アンプへデジタル接続し、アンプに6本のスピーカーを接続すると、5.1chサラウンド音声が楽しめます。	21
設置／接続	**ヘッドホンやスピーカーを直接つなげるか**	本機には直接接続できません。アンプなどを通して接続してください。	21
設置／接続	**テレビにS端子とコンポーネント端子の両方がある場合、どちらに接続したらいいのか**	コンポーネント端子は、DVDに記録されたままの状態で信号を出力するため、S端子より、さらに忠実に色を再現します。	17
設置／接続	**D端子とコンポーネント端子では、どちらが良いのか**	どちらの端子に接続しても映像の質に差はありません。	17
設置／接続	**LDを接続できるか**	外部入力（L1～L3）に接続できます。	21
設置／接続	**引っ越しても使えるか**	東日本、西日本に関係なく使えます。	―
設置／接続	**海外でも使えるか**	本機は日本国内専用です。海外では電源電圧などが異なるため使用できません。	―
使いかた	**海外で買ったDVDビデオやビデオCDは再生できるか**	映像方式がNTSCであれば再生できます。さらに、DVDは、リージョン番号が**「ALL」**もしくは**「2」**を含んでいなければ再生できません。ディスクのジャケットをご確認ください。	―
使いかた	**リージョン番号がないディスクは再生できるか**	DVDのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることも表しています。規格を満たしていないDVDは再生できません。	―
使いかた	**ビデオに録画できるか**	ほとんどのDVDは録画禁止処理がされており、録画できません。	―
使いかた	**ビデオやDVDから録画できるか**	録画禁止処理がされていなければ、録画できます。 市販されているほとんどのDVDは録画禁止処理がされており、録画できません。	―
使いかた	**DVD-RやDVD-RWは使えるか**	DVD-Rは使用できます。（ただし、ディスクの状態により使えないことがあります。）DVD-RWは使用できません。	―
録画や録音	**VHF/UHF放送の録画中に、BS放送を見ることはできるか**	BSチューナー内蔵テレビであれば、見ることができます。	―
録画や録音	**BS放送を見ることができるか**	● 本機ではBS放送（アナログの無料放送）を見ることができます。（BS9チャンネルは見ることはできません。） ● 他の放送や有料放送を見るには放送会社との、（複数のBS放送を見るには放送局ごとに）受信契約が必要な場合があります。	― ―
録画や録音	**本機で録画したDVD-Rが、他の機器で再生できるか**	本機で録画したDVD-Rを他の再生可能機器で再生するには、「ファイナライズ」を行い、DVDビデオにすることが必要です。ただし、すべての機器で再生を保証するものではありません。記録状態によって再生できない場合があります。	54
録画や録音	**デジタル録音できるか**	本機にはデジタル録音できません。本機からはMDなどに録音できます。（ただしDVDの場合、制約があります。）	15
録画や録音	**DVD-RAMは何回録画できるか**	使用状況により異なりますが、10万回程度まで録画できます。	―
録画や録音	**録画中、音声多重放送の音声を切り換えて聞くことはできるか**	HDD、DVD-RAMは**［音声］**で切り換えられます。	38
録画や録音		DVDドライブを選択し、DVD-Rがディスクトレイにあるとき、またはLPCMで録画中は、音声を切り換えることはできません。DVD-Rの音声や、LPCMの音声は録画時に「DVD-R、LPCM 二重放送音声記録の設定」で切り換えられます。	71

エラーメッセージ

テレビ画面	調べるところ・原因・対策	ページ
ディスクが入っていません	● ディスクが入っていない。 ● ディスクが裏返しになっている。→両面ディスクの場合、再生や録画したい側のラベルを上にしてください。	30、34 30、34
記録できないディスクが入っています このディスクは規定のフォーマットがされていません。記録するにはディスク管理でフォーマットしてください	● 本機で記録できない方式のディスクやファイナライズ後のDVD-R、DVDビデオ、音楽CD、ビデオCDが入っている。 ● フォーマットされていないDVD-RAMが入っている。	12 54
フォーマットが選択されました。ディスクの内容はプロテクトされていますが、フォーマットを実行してもよろしいですか？	ディスクや番組にプロテクトを設定している。 →フォーマットするときは、「実行」を選んでください。	54
非対応ディスクが入っています	本機で使用できないディスクが入っている。	12
フォーマットできません 記録できないディスクが入っています	本機で使用できないディスクの場合があります。.	12
カートリッジにライトプロテクトされたディスクが入っています	カートリッジのプロテクトを解除してください。	ー
プロテクトされたディスクが入っています	● 番組にプロテクトがかかっている。 ● ディスクプロテクトがかかっている。	56 54
録画を正常に終了できませんでした	● 録画した番組にコピーガードがかかっている。 ● HDD、DVD-RAMやDVD-Rの残量がなくなった。 ● DV機器などの外部入力機器からの接続が、録画途中で切れた。 ● 上記以外の理由で予約録画を正常に終了できなかった。	ー ー ー ー
ディスクがいっぱいで記録できません。	HDD、DVD-RAMやDVD-Rの残量がなくなった。 →不要な番組を消去し、容量を確保してください。HDD RAM	56
番組数がいっぱいで記録できません	● 不要な番組を消去する（HDD、DVD-RAMのみ） ● 新しいディスクを使う	56 ー
ディスクへの書き込みができません	● ディスクに傷が付いている。 ● ディスクが汚れている。	ー 76
このディスクからはダビングできません。	ダビングが許可されないディスクが入っている。 →HDDへダビングはできません。	ー
時刻が設定されていません	本機の時刻が正しく設定されていない。	73
予約チャンネルを合わせてください	ガイドチャンネルが正しく設定されていないため、Gコード予約ができません。	48
再生できない地域番号のディスクです	本機で指定されたリージョン（地域）番号（「2」、「ALL」、「2」を含むもの）以外は再生できません。	ー
このタイトルはレコーダーの視聴制限レベルをこえています	視聴制限が設定されています。 →視聴制限を変更してください。	73
互換再生にはファイナライズを行ってください。	他の機器で再生するには、ファイナライズを行ってください。	54

テレビ画面	調べるところ・原因・対策	ページ
本機では再生できません	● 非対応の画像を再生しようとした。 （TIFF画像やMOTION JPEGは再生できません。） ● 本体の電源を切り、PCカードを入れなおしてください。	13 40
対応PCカードが入っていません	● PCカードが入っていない。 対応したPCカードが入っているのにメッセージが表示された場合は、本体の電源を切り、PCカードを入れなおしてください。 ● PCカードのフォーマットが異なっている。 ● 非対応のPCカードが入っている。	40 13 13
対応ディスクが入っていません	● DVD-RAMが入っていない。 ● DVD-RAMがフォーマットされていない。 （メッセージが表示されている場合でも、動画部分は再生できる場合があります。）	ー 54
カートリッジにライトプロテクトされています。	● PCカードのプロテクトを解除してください。 ● DVD-RAMのプロテクトを解除してください。	13 54、76
フォルダがありません	本機で対応したフォルダがありません。	13
複製の制限をこえましたので、中断しました。	● 本機で記録できるフォルダは300まで、ファイル（静止画）は3000までです。 ● 残量がなくなった。 →不要なファイル（静止画）を消去してください。	ー 64
書き込みができません	● PCカードにプロテクトが設定されています。→解除してください。 ● 残量がなくなったため、プリント（DPOF）設定ができません。 →不要なファイル（静止画）を消去してください。	13 64

本体表示窓	調べるところ・原因・対策	ページ
NO READ	● ディスクに傷が付いている。 ● ディスクが汚れている。 ● DVD-RAM/PDレンズクリーナーでクリーニングをした。 →レンズのクリーニングが終了しました。[⏏]を押して、レンズクリーナーを取り出してください。	ー 76 ー
UN SUPPORT	本機では録画や再生できないディスクを入れている。	12
RECOVER	停電がおこったり、電源「入」のときに電源コードを抜いた。 →本機が復旧動作を行っています。表示が消えるまでお待ちください。	ー

本体表示窓	調べるところ・原因・対策	ページ
1 U12 2 U12 3 U12	本機とリモコンのリモコンモードが異なっている。→リモコンモードを合わせてください。	74
U13	BSアンテナ線がショートしているため、本機が自動的にBS電源を切ります。 →BSアンテナ線を正しく接続し直した後、「BS電源」を再設定してください。	22
U14	本機の内部温度が上昇している。 →安全のため強制的に電源が切れ、動作させることができません。この表示が消えるまで（約30分間）お待ちください。 →できるだけ風通しのよいところに設置してください。 →後面の冷却用ファンをふさがないでください。	ー ー ー
U99	本機が正常に動作しない。 →本体の［POWER］（⏻/I）を押し、電源を切／入する。	ー

故障かな !?

「ここをお確かめください」に関係する項目は該当ページの中に で示しています。

修理を依頼される前に、以下の内容で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、以下に記されていない症状の場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
電源	電源が入らない	電源プラグがコンセントから外れている。	22
電源	電源が、自動的に切れた	●「自動電源〔切〕」が「2H」や「6H」になっている。 →［電源］（DVD）を押し、電源を入れる。 ●各種安全装置がはたらいている場合があります。 →本体の［POWER］（⏻/I）を押し、電源を入れる。	70 —
表示窓	表示が暗い	「FLディマー」設定で明るさを変える。	71
表示窓	時刻表示が「0:00」で点滅している	時刻が合っていない。	73
表示窓	録画時間が実際よりも少なく表示される	表示窓のメイン表示はノンドロップフレーム方式に対応しているため、実際の録画時間よりも若干少なく表示されることがありますが、実際の録画には影響ありません。	—
ボタン操作	操作できない	●ディスクによってはその操作を禁止している場合があります。 ●ドライブを正しく選んでいない。 ●EXT LINK録画の待機中になっている。(表示窓の“ EXT Link ”と“ ”が点灯)→本体の［EXT LINK］を押し、表示窓の“ EXT Link ”と“ ”を消灯させる。 ●本体内部の温度が上昇している。(表示窓に“ U14 ”が点灯) →“ U14 ”が消灯するまで待つ。 ●各種安全装置が働いている場合があります。以下の手順を行ってください。 →1. 本体の［POWER］(⏻/I) を押し、電源を切る。電源が切れない場合は、約10秒押し続けると強制的に切れます。(または、電源プラグをコンセントから外し、約1分後再びコンセントに差し込む。) 2. 本体の［POWER］(⏻/I) を押し、電源を入れる。	— 30、34 47 79 —
再生	再生が始まらない、またはすぐに停止する	●ラベル面を上にして正しく入れる。 ●対応していないディスクが入っている。 ●ディスクが汚れている。 ●大きな傷やそりがあるディスクが入っている。 ●未記録のDVD-RAM、DVD-Rが入っている。	30、34 12 76 — —
再生	タイトル/チャプターを選んでも再生が始まらない	DVDで視聴制限が設定されていると、再生できないタイトルやチャプターがあります。→視聴制限を変更してください。	73
再生	早送り/早戻しすると画像が乱れる	多少乱れることがありますが、故障ではありません。	—
再生	音声言語や字幕言語が切り換えられない	●ディスクに複数の言語が収録されていない。 ●画面設定の「音声設定」、「字幕設定」ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。	— 35
再生	字幕が出ない	●ディスクに字幕が収録されていない。 ●画面設定の「字幕設定」が「入」になっていない。	— 66
再生	アングルを切り換えられない	マルチアングルが収録された場所以外では切り換わりません。	—
再生	視聴制限の設定をしたときの暗証番号を忘れた	初期設定の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。 →［DVD］を押し、[⏏]を押してトレイが開いている状態で、本体の［⏮／◀◀］と［▶▶／⏭］を同時に5秒以上押す。	—
再生	テレビが操作できない	メーカー番号を合わせる。(メーカーや機種により操作できない場合があります。)	29
再生	リモコンが働かない	本体とリモコンのモードが合っていない。→リモコンモードを合わせる。	74

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
録画や予約	録画できない	●ディスクが入っていない。または対応していないディスクが入っている。 ●フォーマットされていない。 ●ディスクプロテクトやカートリッジのプロテクトが設定されている。 ●録画に制限のある番組を録画しようとした。 ●HDDやディスクの容量がいっぱい、またはそれに近い状態になっている。 →不要な番組や静止画を消去するか、新しいディスクを使う。 ●ファイナライズ後のDVD-Rには録画できません。	12 54 54、76 31 56、64 —
録画や予約	Gコード予約が正しくできない	●ガイドチャンネルが正しく設定されていない。 ●複数のチャンネルポジションに、同じガイドチャンネルが設定されている。 →不要なチャンネルを削除する。	25 25
録画や予約	予約録画が正しくできない	●予約内容が間違っている。 ●予約録画の待機状態になっていない。(本体表示窓の“ ”が消灯) →［ ］（タイマー切/入）を押し、本体表示窓の“ ”を点灯させる。 ●予約録画の時間帯が重なっている。 ●時刻が合っていない。 ●フォーマットやダビング、一部の静止画編集中に中断できない操作の実行中は予約録画は実行されません。	52 48、50 — 73 —
録画や予約	予約録画が終わっても、予約内容が消えない	毎日・毎週予約の場合は消えません。	50
録画や予約	[■]（停止)を押しても、予約録画やEXT LINK録画が停止できない	予約録画やEXT LINK録画は、[■]（停止）では停止できません。 →予約録画の場合は［ ］（タイマー切/入）、EXT LINK録画の場合は［EXT LINK］を押し、本体表示窓の“ ”を消灯（EXT LINK録画の場合は“ EXT Link ”も消灯）させる。	47、 49、 51
録画や予約	録画した番組をプログラムナビで全て消去しても、ディスクの残量が増えない	DVD-RAMドライブなどで記録したパソコンのデータや、静止画はプログラム消去では消去できませんので、ディスクの残量は増えません。 →必要であれば、フォーマットしてください。	54
録画や予約	EXT LINK録画が正しく働かない	●CSチューナーなどが外部入力1（L1）に正しく接続されていない。 ●CSチューナーなど接続した機器側で予約設定がされていない。	20 —
録画や予約	録画した番組の一部、またはすべてが消失した	録画時や編集時に、停電になったり電源コードを抜いたりした場合、番組が消失したり、ディスクが使えなくなる場合があります。 →消失した番組内容やディスクは保証できません。フォーマット（HDD、DVD-RAM）するか、新しいディスクを使ってください。	—
音声	音が出ない、小さいまたは音がおかしい	●正しく接続していない。 →アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確認する。 ●V.S.S.が「標準」や「強」になっている。→音声メニューの「V.S.S.」を「切」にする。	— 68
音声	聞きたい音声が聞こえない	●正しい音声を選んでいない。→リモコン扉内の［音声］で正しい音声を選ぶ。 ●外部入力から録音した二重音声を切り換えようとした →音声メニューの「V.S.S.」を「切」にする。	38 38
音声	音声が切り換えられない	●DVDドライブ選択時、DVD-Rがディスクトレイにあると再生の音声を切り換えられません。 ●再生時のLPCMの音声は切り換えられません。録画時には「DVD-R、LPCM二重放送音声記録の設定」で録画する音声を選ぶことができます。	— 71
プログレッシブ映像	4：3の画角を持った映像が左右方向に引き伸ばされる	テレビに合わせて、正しい画角に調節してください。	29
プログレッシブ映像	映像の一部が二重にぶれて見える	本機の故障ではなく、ディスク側の映像の状態によるものです。 →「プログレッシブ」を「切」にしてください。	67
プログレッシブ映像	「映像メニュー」で画質を調整しても映像が変わらない	映像によっては効果が得られない場合があります	—

故障かな !? (つづき)

「ここをお確かめください」に関係する項目は該当ページの中に !? で示しています。

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
静止画	PCカードの内容が読めない	● PCカードのフォーマットが本機で対応していない。 →他の機器ではFAT12またはFAT16で、本機では「PCカードフォーマット」で、フォーマットしてください。 ● 本機で対応していないフォルダ階層にある静止画ファイルを表示しようとした。 ● 静止画ファイルの拡張子が「JPG」でない。 →本機ではDCF規格に準拠した静止画(JPEG)を表示できます。 ● 本機の電源を入れ直してください。	64 13 13 —
静止画	複製や消去、プロテクトに時間がかかる	● ファイル数やフォルダ数が多い場合、数時間かかることがあります。 ● 複製、消去を繰り返していると、時間がかかる場合があります。ディスクやPCカードをフォーマットしてください。	— 54、64
静止画	トレイの開閉ができない	静止画の再生や編集の画面を表示している間はトレイの開閉はできません、**[リターン]**を数回押し、画面を消してください。	—
静止画	PCカードが取りだせない	必ず、PCカードを奥まで差し込んでから取り出してください。	40
静止画	予約録画が始まり、静止画の編集が中断された	予約録画の実行時刻になると、予約録画が実行される場合があります。	—
テレビ画面	映像が出ない	● テレビの入力切り換えが正しくない。 →本機を接続した入力(ビデオ1など)に切り換える。 ● 初めて再生するHDDには何も記録されていません。まず録画してください。 ● プログレッシブ映像に対応していないテレビに接続した。 →本体の**[■](停止)**と**[❚❚]**を同時に5秒以上押す。 (「TVタイプ」が「インターレース(525I)」に戻ります。)	— 30 —
テレビ画面	本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった	● テレビと本機に電波を分けたためです。→ブースター(市販)などを使用すると改善される場合があります。(お買い上げの販売店にご相談ください。) ● HDDの特性上、画像が乱れることがありますが、故障ではありません。	— —
テレビ画面	画面サイズがおかしい	● テレビ側の画面モードを確認する。 ●「TVアスペクト」、「DVD-Video」や「DVD-RAM」の設定が正しくない。	— 71
テレビ画面	操作すると、テレビの入力が切り換わり、本機以外の映像が映る	今すぐ再生が働いたため、テレビの入力が「ビデオ1」に切り換った。 →今すぐ再生を「切」にする。	29
テレビ画面	再生画面が上下にゆれる	テレビの垂直同期を調整してみる。(テレビの説明書を確認するか、お買い上げの販売店にご相談ください。)	—
テレビ画面	画面メッセージが出ない	「オンスクリーン表示〔オート〕」を「入」にしていない。	71
テレビ画面	ブルーバック(青い画面)にならない	「ブルーバック」を「入」にしていない。	71
テレビ画面	画像に残像が多く映る	詳細画質設定の「3次元NR」「ブロックNR」「モスキートNR」の設定値を「0」にするか、「MPEG-DNR設定」を「切」にしてください。	67
BS放送	チャンネルを設定したが、BSチャンネルが設定できなかった WOWOW放送が映らない 映像も音声も出ない	● BSアンテナを正しく接続していない。 ●「BSアンテナ設定」をしていない。 ● WOWOWを見るには、放送局ごとに機器と受信契約が必要です。 ● BSデコーダーの電源が「入」になっていない。 ● 放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止している。 →放送が再開されるまでお待ちください。 ● St.GIGAを受信している→本機では独立音声の切換えはできません。	18 22 — — — —
BS放送	映像の映りが悪い、または音声にノイズ(雑音)が出る	● BSアンテナが正しい方向を向いていない。 →正しい方向から少しでもずれると、BS放送を受信できません。 ● 豪雪、豪雨、雷雲などで電波が減衰したり、強風でBSアンテナがゆれている。→気象条件による一時的な障害は、本機の故障ではありません。 ● BSアンテナ線が劣化している。→詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。	— — —
BS放送	ハイビジョン放送(BS9)が映らない	本機はハイビジョン放送に対応していないため、見ることはできません。	—

ディスク使用時に周期的な動作音(ディスクの回転音)がすることがありますが、本機の故障ではありません。

主な仕様

電源	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力	約38 W 待機時:約3.0 W※1(電源「切」時) 〔約3.5 W(時刻表示点灯時) 約0.9 W(時刻表示消灯時)〕
外形寸法	430 (幅)×306 (奥行)×79 (高さ) mm
質量	約4.5 kg
許容周囲温度	+5〜40℃
許容相対湿度	10〜80%RH(結露なきこと)
記録可能ディスク	● DVD-RAM 12 cm(4.7 GB/9.4 GB) ● DVD-RAM 8 cm(2.8 GB) ● DVD-R(4.7 GB for General Ver.2.0)
記録方式	●DVD-RAM:DVDビデオレコーディング規格準拠 ●DVD-R:DVD ビデオ規格準拠
記録時間	最大6時間(4.7 GBディスク使用時) XP:約1時間、 SP:約2時間、 LP:約4時間、 EP:約6時間 最大160時間(内蔵HDD使用時) XP:約26時間、SP:約52時間、 LP:約104時間、EP:約160時間 (連続録画時間:最大6時間)
再生可能ディスク	● DVD-RAM 12 cm(4.7 GB/9.4 GB) ● DVD-RAM 8 cm(2.8 GB) ● DVD-R(4.7 GB for General Ver.2.0) ● DVD-Video ● 音楽用CD(CD-DA) ● ビデオCD(VCD) ● CD-R/RW(CD-DA、VCDフォーマットのディスク)
内蔵HDD容量	120 GB
時計	クォーツ制御 24時間表示 デジタル表示
プログラム数	1カ月 32プログラム
停電保証期間	約5年

■ 音声方式

記録圧縮方式	**Dolby Digital** :2 ch記録 **リニアPCM** :2 ch記録 (XPモードのみ切換可)
アナログ入力	**入力端子** :ピンジャック(LINE) **端子数** :3系統 **基準入力レベル**:309 mVrms **入力レベル**:FS 2 Vrms(1 kHz、0 dB) **入力インピーダンス**:47 kΩ
アナログ出力	**出力端子** :ピンジャック(LINE) **端子数** :2系統(2 ch) **基準出力レベル**:309 mVrms **出力レベル**: FS 2 Vrms(1 kHz、0 dB) **出力インピーダンス**:1 kΩ **負荷インピーダンス**:10 kΩ
デジタル出力	**出力端子** :光コネクター (PCM、ドルビーデジタル、DTS対応) **端子数** :1系統

■ テレビジョン方式

映像方式	NTSC方式 525本 60フィールド
アンテナ受信入力	**VHF** :1〜12 CH 75Ω **UHF** :13〜62 CH 75Ω **CATV** :C13〜C63 CH 75Ω **BS**:1・3・5・7・9※2・11・13・15CH 75Ω **アンテナ用電源出力**:DC 15 V、最大4 W **検波入力/出力**:0.67 Vp-p(75Ω) **ビットストリーム入力/出力** :0.5 Vp-p(75Ω)

■ 映像方式

記録圧縮方式	MPEG2(Hybrid VBR)
映像入力	**入力レベル** :1 Vp-p(75Ω) **入力端子** :ピンジャック(3系統)
S映像入力	**Y入力レベル** :1 Vp-p(75Ω) **C入力レベル** :0.286 Vp-p(75Ω) **入力端子** :S端子(3系統)
DV入力	**入力端子** :4 pinタイプ(1系統) (IEEE1394準拠)
映像出力	**出力レベル** :1 Vp-p(75Ω) **出力端子** :ピンジャック(2系統)
S映像出力	**Y出力レベル** :1 Vp-p(75Ω) **C出力レベル** :0.286 Vp-p(75Ω) **出力端子** :S端子(2系統)
コンポーネント映像出力(525 P/525 I)	**Y出力レベル** :1 Vp-p(75Ω) **C_B出力レベル** :0.7 Vp-p(75Ω) **C_R出力レベル** :0.7 Vp-p(75Ω) **出力端子** :ピンジャック(1系統) (**Y:** 緑、**P_B/C_B:** 青、**P_R/C_R:** 赤)
D1/D2映像出力(525 P/525 I)	**Y出力レベル** :1 Vp-p(75Ω) **P_B/C_B出力レベル** :0.7 Vp-p(75Ω) **P_R/C_R出力レベル** :0.7 Vp-p(75Ω) **出力端子** :D端子(1系統)

■ カードスロット

スロット	PCカード(TYPEⅡ、前面:1系統)
対応カード	PCカードスタンダードに準拠したメモリーカード、PCカードアダプター(SDメモリーカード、マルチメディアカード、コンパクトフラッシュ、スマートメディア、メモリースティック)
フォーマット	FAT12、FAT16

■ 静止画方式 (JPEG)

画像ファイル形式	● JPEGベースライン方式[DCF(Design rule for Camera File system)準拠] ● DPOF対応(PCカードのみ)
画素数	320×240〜6144×4096 サブサンプリング、4:2:2、4:2:0
解凍時間※3	約7秒(200万画素)

※1 VTRの省エネ法に定める計算式による待機時消費電力値を示す
※2 本機ではハイビジョン放送(BS9チャンネル)を見ることはできません。
※3 解凍時間は使用環境(ファイル数・圧縮率など)によって多少長くなることがあります。

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

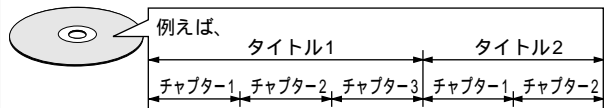
用語解説

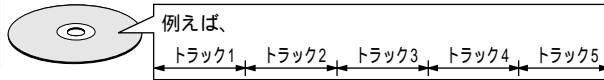
ア インターレース出力／プログレッシブ出力
従来の映像信号は525I（I：インターレース＝飛び越し走査）といわれるのに対し、その525I信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525P（P：プログレッシブ＝順次走査）といいます。

カ コンポーネント映像出力
輝度（Y）、コンポーネント（P_B/C_B、P_R/C_R）信号が、それぞれ独立して出力されるため、色をより忠実に再現します。また、本端子はプログレッシブ映像（525P）にも対応しているため、インターレース（525I）信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。

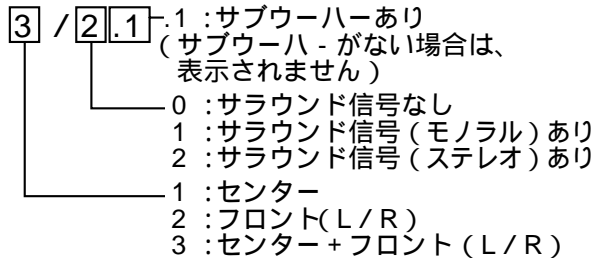
サ サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、回数が多いほど原音に近い音を再現できます。

タ タイトル、チャプター、トラック
DVDは、いくつかの大きな区切り（タイトル）と小さな区切り（チャプター）に分けられており、それぞれの区切りの番号を、タイトル番号、チャプター番号と呼びます。

例えば、
タイトル1　タイトル2
チャプター1　チャプター2　チャプター3　チャプター1　チャプター2

ビデオCDやCDは、いくつかの区切り（トラック）に分けられており、これらの区切りの番号をトラック番号と呼びます。

例えば、
トラック1　トラック2　トラック3　トラック4　トラック5

チャンネル（DVD用語）
出力される音域や特性によって分けられた音の種類です。
例）5.1チャンネル
- フロントスピーカー［L（1CH）／R（1CH）］
- センタースピーカー（1CH）
- サラウンドスピーカー［L（1CH）／R（1CH）］
- サブウーハー［1CH×0.1※= 0.1CH］

※出力される音声全体に対して低音が占める割合
画面設定では以下のように示されます。

3／2.1
.1：サブウーハーあり（サブウーハーがない場合は、表示されません）
0：サラウンド信号なし
1：サラウンド信号（モノラル）あり
2：サラウンド信号（ステレオ）あり
1：センター
2：フロント(L／R)
3：センター＋フロント（L／R）

デコーダー
DVDビデオなどに符号化して記録したデータを解読し、映像や音声の信号に戻す装置のことです。この処理をデコードといいます。

ドライブ
本機では、ハードディスク（HDD）とDVDのことです。データの読み書きを行います。本機では**［HDD］**や**［DVD］**を押してどちらかを選びます。

ハ ハードディスクドライブ（HDD）
パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置の一つです。表面に磁性体を塗った円盤（ディスク）を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

パン＆スキャン／レターボックス
DVDビデオの多くは、ワイドテレビ画面（画面の横縦比が16：9）を前提に制作されているため、横縦比が4：3のテレビ画面に映し出そうとすると、16：9の映像が4：3の画面におさまらなくなります。4：3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

パン＆スキャン：
映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。

レターボックス：
画面の上下に黒い帯を入れて、4：3の画面で16：9の映像を再現します。

ファイナライズ
録音・録画されたCD-R、CD-RWやDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理すること。本機ではDVD-Rのファイナライズが可能です。

フィルム素材／ビデオ素材
一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。
- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ／秒で記録されているもの。（映画撮影で使われるフィルムには、24コマ／秒で画像が記録されています。）最近では30コマ／秒で記録されたプログレッシブ映像も登場しつつあります。
- **ビデオ素材**
  映像情報が30コマ／秒で記録されているもの。

フレーム／フィールド
フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

フレーム　フィールド　フィールド

 = +

- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でブレを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCDを再生する方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。（本機は、バージョン2.0および1.1に対応しています。）

プレイリスト
自分で作成したお好みのシーンを順番に再生したり、連続して再生したりすることができます。また、特定のシーンを直接、頭出しすることも可能です。

プログラムナビ
テレビ画面に表示される、録画した番組の一覧です。その中から見たい番組を頭出ししたりすることができます。

ラ リニアPCM（LPCM）
圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた信号です。CDでは、44.1 kHz／16 bitで記録されているのに対し、DVDでは48 kHz／16 bit〜96 kHz／24 bitで記録されていますので、CDよりも高音質での再生が可能です。
本機では、デジタル音声出力端子からのリニアPCM音声は2chで出力されます。
録画モードXPで録画する場合、LPCMで録画することができます。

A Bitstream（ビットストリーム）
圧縮され、デジタル信号に置き換えられた信号です。デコーダーにより、5.1chなどのマルチチャンネル音声にデコードされます。

CPRM (シーピーアールエム：Content Protection for Recordable Media)
一度だけ録画が許可された放送（例：一部のBSデジタル放送）を録画することができる著作権保護技術のことです。

Dolby Digital（ドルビーデジタル）
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2ch）はもちろん、マルチチャンネル音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）
デジタルカメラなどで撮影した静止画を写真店や、家庭用プリンタで自動プリントするため、静止画のプリント情報を標準化した記録フォーマットです。

DTS（ディーティーエス）
映画館で多く採用されているマルチチャンネルシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

D1/D2映像出力
S映像よりもさらに鮮明な、コンポーネント映像と同等の映像を得ることができます。また、本端子はプログレッシブ映像出力（525P）にも対応しているため、525I信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。

I／P／B
DVDでは、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは各画面ごとに記録しています。

I-picture：共用データの基準として単独で記録されるフレーム
P-picture：過去のI-picture、またはP-pictureを元につくられるフレーム
B-picture：I／P両方を元につくられ、両者の間をうめるフレーム

I-pictureの画質がもっとも良く、画質調節をするときは、I-pictureを選ぶことをおすすめします。

JPEG（Joint Photographic Experts Group）
カラー静止画像を圧縮、展開する規格の一つ。
デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10〜1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

S映像出力
映像信号をカラー（C）信号と輝度（Y）信号に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。
本機は自動的にワイドテレビの画面設定を切り換えるS1/S2規格に対応していますので、テレビのS映像入力端子の種類にあわせて、信号が出力できます。

本体	テレビ
● S映像出力端子S1：	S1のみに対応
● S映像出力端子S1/S2：	S1とS2に対応

■ S1映像信号
4：3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16：9のサイズに戻して映します。

ディスク内の映像　画面の映像

■ S2映像信号
S1の機能に加え、レターボックスのソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。

ディスク内の映像　画面の映像

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、DVD ビデオレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
注） 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

80～82ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
品名	DVD ビデオレコーダー	お買い上げ日	年　　月　　日
品番	DMR-E90H	故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

窓口	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

窓口	所在地	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

窓口	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6011
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

窓口	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

窓口	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

窓口	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

窓口	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

窓口	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸宇上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

窓口	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0902

保証とアフターサービス
ご参考